タカラシステムバス

ぴったりサイズ
シャワーユニット
設置説明書

（ホーローパネルタイプ）

作業される方へのお願い

〇設置工事の前にこの説明書をよくお読みの上、正しく設置してください。

〇設置工事のタイミングは、ドアが取り付く面の造作壁（間柱含む）が入る前が最適です。

〇取扱説明書は必ずご使用されるお客様にお渡しください。

タカラスタンダード株式会社

2013年11月発行

〈もくじ〉

Ⅰ はじめに …… 1
Ⅱ 安全上のご注意 …… 1
Ⅲ 搬入時期 …… 2
Ⅳ 搬入計画 …… 2
Ⅴ 開梱 …… 2
Ⅵ 設置場所への搬入 …… 2
Ⅶ 現場受入準備事項
7-1. 工事区分の明確 …… 3
7-2. 工事店への依頼 …… 3
7-3. 設置スペースの確認 …… 4
7-4. システムバスの基礎 …… 4
7-5. 入口踏込み高さ …… 4
Ⅷ 必要工具一覧 …… 5
Ⅸ 下台部品構成図
洗面器置きカウンター仕様 …… 6
壁付け水栓仕様 …… 7
Ⅹ 上台部品構成図
10-1. AR/AL …… 8
10-2. BL/BR …… 9
XI 商品構成表 と梱包明細
11-1. 下台商品構成表 …… 10
11-2. 架台セット梱包明細 …… 10
11-3. 排水配管梱包明細 …… 11
11-4. 上台商品構成表 …… 12
11-5. 小物 商品構成表・梱包明細 …… 13
11-6. その他基本部材 …… 13
XII 設置手順
12-1. 設置工程 …… 14
12-2. ﾊｰﾌﾕﾆｯﾄの設置手順（壁ﾊﾟﾈﾙ組付まで）
1. 床の納まり（設備工事） …… 15
2. 給水給湯管の立上げ（設備工事） …… 15
3. 外部排水管の設置（設備工事） …… 16
4. 墨出し …… 17
5. 架台の組立 …… 19
6. 架台の設置 …… 22
7. 排水配管の設置 …… 23
8. 洗場パンの設置 …… 27
9. 洗場トラップの取付 …… 29
10. 洗場トラップ取付部の漏水チェック …… 29
11. パッキンの貼り付け …… 30
12. 非硬化コーキングの塗布 …… 31
13. 壁パネルの設置手順 …… 33
14. 壁パネルの組付 …… 42
12-3. 天井・ドア・目地材の設置手順
1. 天井の組付準備 …… 51
2. 天井接続アングルの取付 …… 51
3. センターチャンネル固定金具の取付 …… 52
4. 天井目地パッキンの貼付け …… 53
5. 天井の組み付け …… 54
6. 換気扇の取付 …… 56
7. ドアの取付 …… 56
8. 打ち込み目地の組み付け …… 56
12-4. ﾊｰﾌﾕﾆｯﾄの組付手順（壁ﾊﾟﾈﾙ組付後）
1. 洗面器置きｶｳﾝﾀｰ時　水栓・ｶｳﾝﾀｰの取付
①. 水栓の取付 …… 60
②. 内部給水給湯管の取付 …… 60
③. 水栓配管カバー等の取付 …… 60
④. 給水給湯管の漏水チェック …… 61
⑤. カウンターの取付 …… 61
⑥. 点検口蓋の取付 …… 62
⑦. カウンター下カバー取付金具PBの取付 …… 63
⑧. カウンター下カバー本体の取付 …… 63
⑨. カウンター周りのパッキン挿入 …… 64
2. 壁付水栓時　水栓・ｶｳﾝﾀｰの取付
①. 水栓の取付 …… 65
②. 外部給水給湯管の取付および漏水検査 …… 66
③. 点検口蓋11TNの取付 …… 66
12-5. 照明・シャワーフックの設置手順 …… 67
12-6. 最終シリコン仕上げ …… 68
12-7. 配線の固定 及び 結線 …… 71
12-8. 設置完了 …… 72
12-9. 内部清掃 …… 73
12-10. 検査・引渡し …… 73
付属書（完成検査報告書） …… 74

タカラシャワーユニット設置説明書

Ⅰ　は　じ　め　に

この説明書は、シャワーユニットを正しく組立、設置していただくために、商品の搬入、組立、検査引渡しまでの手順を図解入りで掲載したものです。

シャワーユニットは、現場設置までの準備と設置時の建物との取合いが非常に重要となりますので、施工の前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。

Ⅱ　安全上のご注意

安全のために必ずお守りください。

◇ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告	誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷を負う可能性が想定される内容

⚠ 注意	誤った取り扱いをしたときに、傷害を負う可能性及び物的傷害の発生が想定される内容

図記号の意味は次の通りです。

⃠	このような図記号は、「禁止行為」を告げるものです。絶対に行わないでください。
❗	このような図記号は、「行為の指示」を告げるものです。必ず指示に従い、行ってください。
⚠	このような図記号は、「注意・確認事項」を告げるものです。注意・確認してください。

⚠ 警告	
⏚	浴室暖房乾燥機・防曇ミラー等アース（D種接地）工事が必要な製品は、必ずアース（D種接地）工事を行ってください。 ●故障や漏電のときに感電するおそれがあります。
❗	電気工事は、必ず電気工事士の資格者が行ってください。 ●電気回路容量不足や工事不備があると感電、火災の原因になります。

⚠ 注意	
❗	給水・給湯管、排水管の配管工事は設置説明書通り工事してください。 ●水もれにより家財を汚したり腐らせるおそれがあります。
❗	シリコンコーキングは指定位置に正しく行ってください。 ●工事に不備があると、水もれにより家財を汚したり、腐らせるおそれがあります。
❗	開梱後、不要になった梱包材はすみやかに処分してください。 ●木枠、釘および締付バンドなどでケガをするおそれがあります。また、ビニール袋などは子供などがかぶって遊び、思わぬ事故につながるおそれがあります。
❗	シャワーユニットの部材を運んだり取扱う場合は手袋等をして正しい姿勢で行ってください。 ●手をケガしたり、腰を傷めたりするおそれがあります。
❗	穴あけ作業を行う場合は、保護めがねなどによって目の保護を行ってください。 ●切粉が目に入り、目に傷害がおきるおそれがあります。
❗	狭い場所へ搬入する場合は建屋を傷つけないように養生を行ってください。
⃠	カウンターの上に乗って作業をしないでください。 ●足をすべらせてケガしたり、製品に傷をつけるおそれがあります。

Ⅲ　搬　入　時　期

シャワーユニットの受注時には、受注チェックシートに基づき、打合せが行われます。受注チェックシートには、現場名、機種、工期、搬入月日が記載されていますので、事前に必ず確認しておいてください。搬入のタイミングは、各室持込みの搬入通路を確保する関係上、戸建住宅については、棟上げ直後、集合住宅については、サッシ取付前に搬入を計画してください。

Ⅳ　搬　入　計　画

搬入日が決まりますと、製品倉庫から現場までの輸送経路、時間、荷降ろし場所、ストック等を考慮した搬入計画が必要です。

4-1.　輸送経路、時間について

製品倉庫からの積出しは、通常フォークリフトを使って積込みされます。輸送距離は片道２時間、５０～６０ｋｍ程度、１日２往復を目安として計画します。
走行中の衝撃、荷くずれ等により、商品を損傷しますと致命的なクレームとなりますので、慎重に輸送してください。

4-2.　荷降ろし場所、ストックヤードの確保

シャワーユニットは多くの部材から構成されており、広い面積を必要とするため、あらかじめ荷降ろし場所及びストックヤードの確保が必要となります。

4-3.　荷降ろし、保管養生

シャワーユニットの部材は洗場パンやパネル等最大120ｋｇ程度の重量があり、一人で無理な荷降ろしをすると製品を傷める恐れがあります。必ず２名以上で慎重に荷降ろししてください。特に角をつけてねじったり、地面に落して強い衝撃をあたえたりしますと、クレームの原因となりますので取り扱いは慎重にしてください。
屋外に保管する場合は無理な段積みは避け、雨露があたらないよう必ずシート等で養生してください。

Ⅴ　開　　梱

開梱は、梱包ごとに部品リストと照合して員数の確認をしてください。
壁パネル、天井パネルは、開梱時、床面に段ボールを敷き、壁面等に立て掛けて保管してください。

Ⅵ　設置場所への搬入

シャワーユニットはドア部分の出入口部分の開口幅は620㎜以上あれば搬入可能です。
廊下などの狭い通路の曲がり角では通路幅740㎜あれば搬入可能です。
あらかじめ搬入時期と搬入経路を確認しておいてください。

Ⅶ 現場受入準備事項

7-1.作業区分の明確

シャワーユニットの設置は、組付け前後に建築工事や設備工事（水道、電気等）が必要です。
事前に工事区分を明確にするために、現場責任者と十分打合せを行ってください。

工事区分		工事内容
事前準備工事	建築工事関係	●既設浴室部材の撤去（リフォーム工事の場合） ●シャワーユニット据付基礎工事 ●窓周りの胴縁、窓台まぐさ等の取付工事
	設備工事関係	●排水配管枝管工事（シャワーユニットルーム内で接続する場合には所定位置まで配管） ●給水給湯管枝管工事（所定位置まで立上げ） ●シャワーユニット電気機器用配線工事（シャワーユニット天井裏まで）
シャワーユニット設置工事	シャワーユニット設置関係	●シャワーユニット部材の搬入 ●シャワーユニット据付用墨出し ●シャワーユニット本体組立設置工事 ●照明器具、換気機器等の取付（配線は天井裏の端子台まで） ●浴室内リモコンの取付 ●ドア取付枠、ドアサッシの取付 ●窓取付枠、窓サッシの取付 ●清掃、検査、残材整理
事後仕上げ工事	設備工事関係	●給水給湯管接続工事 ●排水配管接続工事（注） ●換気機器ダクト工事、フード取付工事 ●照明器具、換気機器、防曇ミラー等電気機器のスイッチ取付工事 ●シャワーユニット外リモコン取付、配線工事 ●電気配線接続工事、アース工事
	建築工事関係	●ドア額縁、納め工事 ●窓部外壁仕上げ工事 ●シャワーユニット外装工事（脱衣室クロス仕上げ等）

（注）排水配管をユニット内に立ち上げる場合には、原則としてSU工事に含みます。

7-2. 工事店への依頼

（1）電気工事店へ

・防曇ミラーのスイッチは照明用とは別にパイロットランプ付のスイッチを設置してください。
・天井裏の端子台から各一次側電源の接続工事を行ってください。
・アースが必要な機器については、必ずアース工事を行ってください。
・漏電遮断機を必ず取付けてください。特に浴室暖房乾燥機には専用の漏電遮断機を設置してください。
・換気ダクトは屋外フードに向かって1/100～1/50程度下り勾配になるように取付けてください。

（2）設備工事店へ

・雑排水配管はVU50以上の配管を使用してください。
・二重トラップにしないでください。
・配管途中で配管径を狭めないでください。（例：VU50 →VU75→VU50、VU50→VU30→VU50等）
・排水勾配は 1/100～1/50設けてください。

7−3. 設置スペースの確認

ユニット外形寸法と設置空間のスペースを確認してください。

(1) 平面納まりスペース

外形寸法から壁までのクリアランスは、カウンター面（正面）側で最低**40㎜以上、その他の面で15㎜以上**確保してください。

(2) 高さ納まりスペース

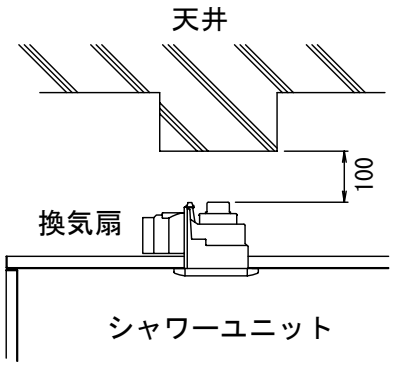
換気扇上面と、天井又は梁とのクリアランスは、**100㎜以上**設けてください。

（換気口の場合）

換気口上面と、天井又は梁とのクリアランスは、**200㎜以上**設けてください。

(3) 設置作業スペース

ドアが取り付く面の造作壁（間柱含む）が入る前の設置が最適です。



7−4. シャワーユニットの基礎

土間コンクリート工事は、建築工事に含まれますが、架台固定用モルタル工事及び高さ調整用ブロック工事は、ユニット工事に含まれます。

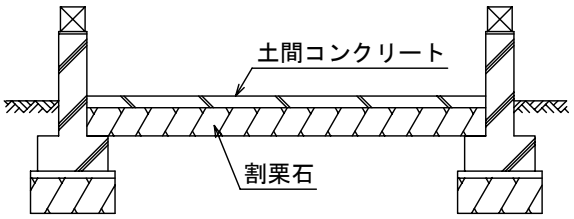
架台には、**約200～300kg**の重量が掛かりますので、基礎工事には充分配慮してください。

(1) 1階設置の場合

1階土間コンクリート工事の基礎は、割栗石を敷き詰め、よく突き固めた上でコンクリート打ちをしてください。

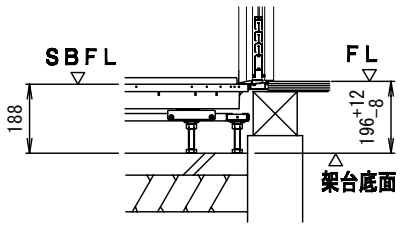
(2) 2階設置の場合

設置床面は、重量に耐えられる床構造にしてください。



7−5. 入口踏込み高さ

ハーフユニットをスラブ上に設置した時の踏込み高さは下図の通りです。



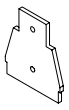
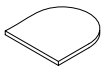
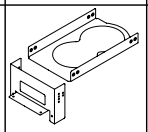
Ⅷ　必要工具一覧

(1) 測定器具

1. 水準器（400㎜）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ レベル調整
2. レーザー投光器 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ レベル・建ちの調整
3. スケール（2m以上） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 位置出し
4. 墨つぼ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 位置墨付け
5. 水糸（10m）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 通り芯調整
6. 下げ振り（3m） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 建ちの調整

(2) 組立工具

1. ＋電気ドライバー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ネジ用
2. フレキシブルドライバー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ネジ用
3. スパナ・メガネレンチ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 六角ボルト用
4. ソケットレンチ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 六角ボルト用
5. ハンマー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ライナー打込み
6. 塩ビカッター、プラノコ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 塩ビ管のカット
7. コーキングガン ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ シリコン塗布用
8. カッターナイフ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 開梱
9. トラップシメツケコウグX（専用工具） ・・・・・・・・・・・・・・ 洗場トラップの締付
10. ハイカンシメツケジグ（専用工具）・・・・・・・・・・・・・・・・ 給水給湯管の取付
11. ハイスイコウカバーMG（専用工具）・・・・・・・・・・・・・・・ 洗場排水口の鉄粉除去
12. 脚立
13. 電気ドリル ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ パネル・浴槽の穴あけ
14. ドリル刃（φ3.5、φ5、φ6.5～7、φ10）
15. ホルソー（φ18、φ31、φ33、φ50）
16. ジグソー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ パネルのカット
17. カベメジウチコミジグ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 打ち込み目地用
18. プラスチックハンマー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 打ち込み目地用
19. はさみ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 目地材カット用

トラップシメツケコウグX	ハイスイコウカバーMG	トラップホルダーSHE	カベメジウチコミジグ	ハイカンシメツケジグ
				
(10146919)	(10151184)	(※2)	(1013F186)	(10140854)

※1. 専用工具は、商品には同梱されていません。
部品センターに在庫されていますので
別途手配（購入）してください。
（ ）内の数字は部品コードを示しています。
※2. 部品センターに在庫していないので、
三島工場へ手配依頼してください。

(3) 必要部材

1. ライナー（架台ライナー及び樹脂スペーサー）
2. マスキングテープ
3. 角材
4. シールテープ

(4) 道具

1. ヘルメット
2. 投光器
3. 延長コード
4. 手袋
5. 手ほうき
6. 小型掃除機

(5) 清掃用具

1. 中性洗剤
2. ウエス

(6) 接着剤等

1. 塩ビ管接着剤（色つき）
2. モルタル
3. コンクリートボンド

(7) その他

1. 新聞紙

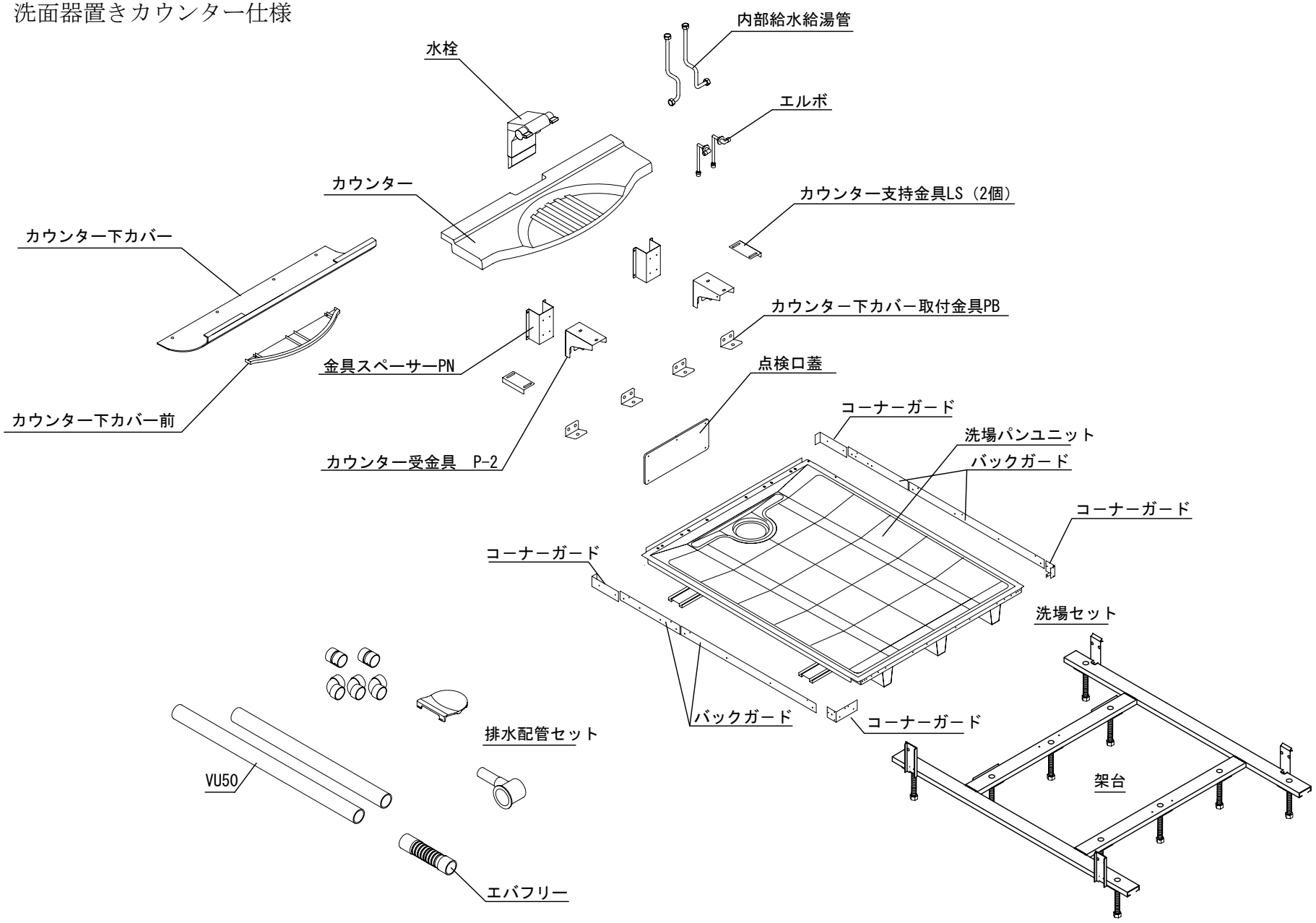
(8) 専用検査器具（最寄りの事業所に問い合わせください。）

1. 水圧テストポンプ
2. 水圧検査済証
3. ＳＢ漏水検査ポンプ（市販品）

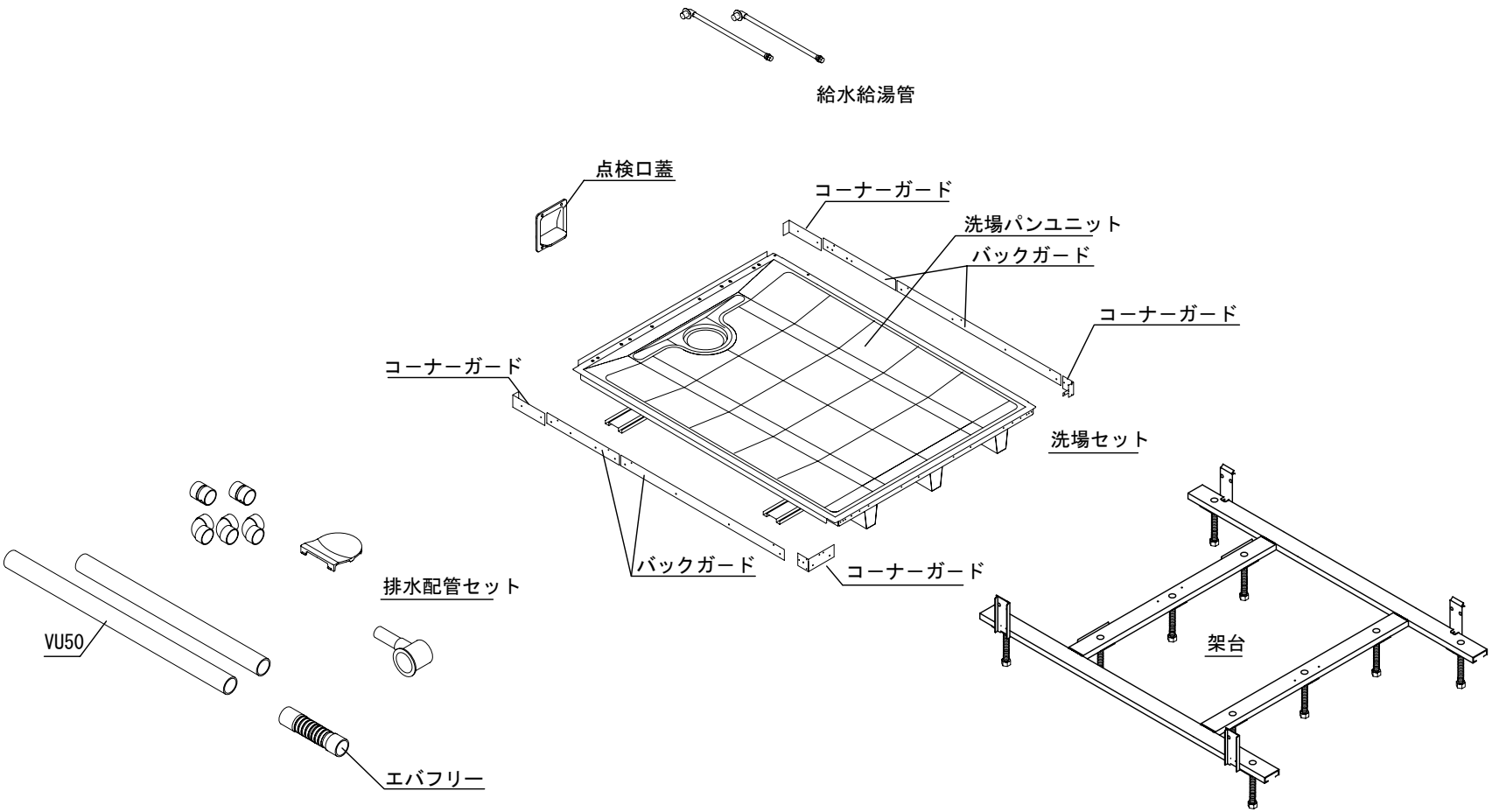
シャワーユニット設置後、余った小部品・ネジ類は保管しておいてください。

Ⅸ. 下台部品構成図

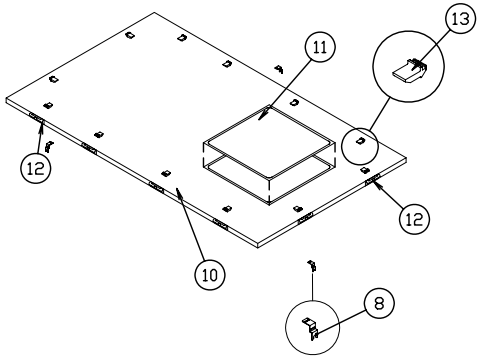
洗面器置きカウンター仕様

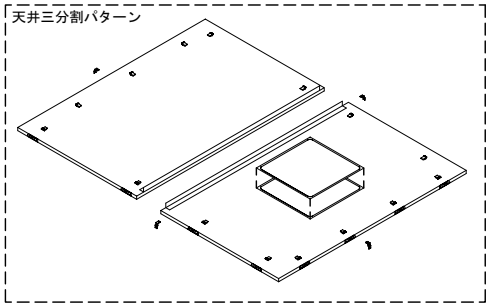


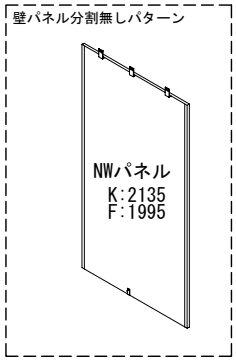
壁付け水栓仕様

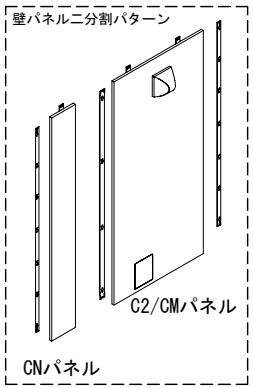

給水給湯管
点検口蓋
コーナーガード
洗場パンユニット
バックガード
コーナーガード
コーナーガード
洗場セット
バックガード
コーナーガード
排水配管セット
VU50
エバフリー
架台

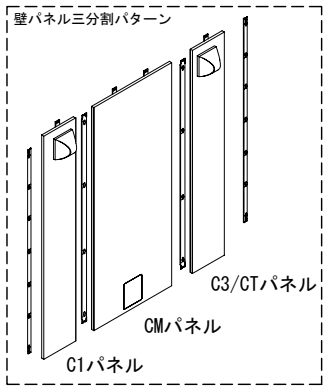
10-1. AR/AL勝手

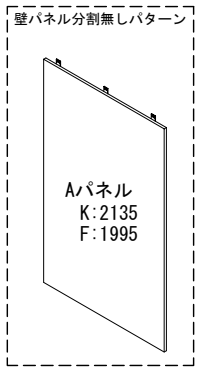


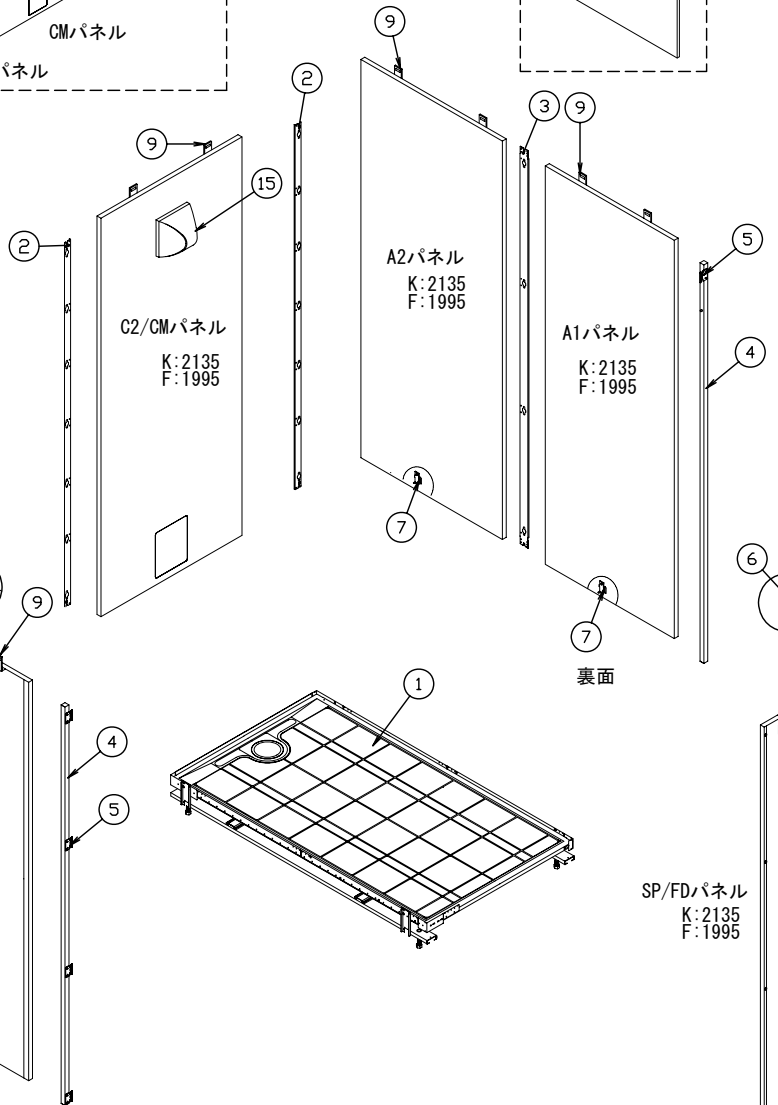












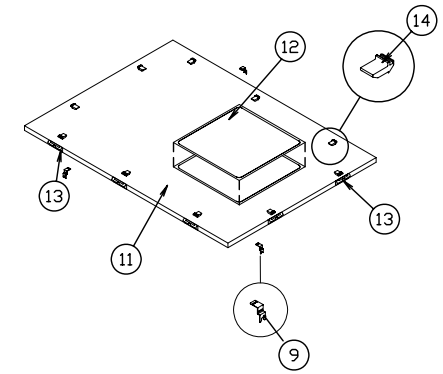
No.	部　品　名　称
1	ﾊｰﾌﾕﾆｯﾄ AR/AL
2	コーナーチャンネル EHK/EHF
3	センターチャンネル EHK/EHF
4	コーナーアングル ER-4/FP
5	中横桟 E
6	パネルフックネジ E
7	ガイド金具
8	センターチャンネル固定金具
9	天井固定板
10	天　井（特寸）
11	天井点検口フタ
12	天井サイド金具 E
13	天井固定ピース
14	AWX折戸
15	ショウメイUVN

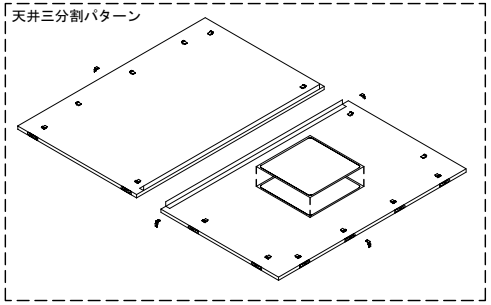
この図はＡＲタイプを示します。
ＡＬタイプは左右対称です。

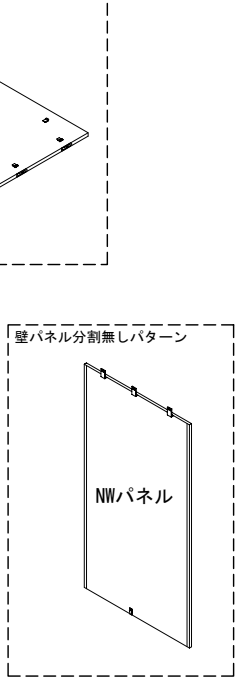
壁パネルの照明穴の有無

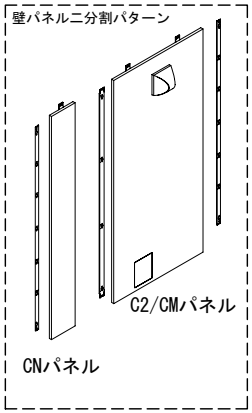
照明穴有	C1/C2/C3パネル
照明穴無	CM/CN/CTパネル

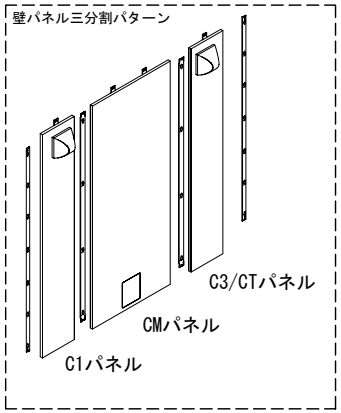
10-2. BL/BR勝手

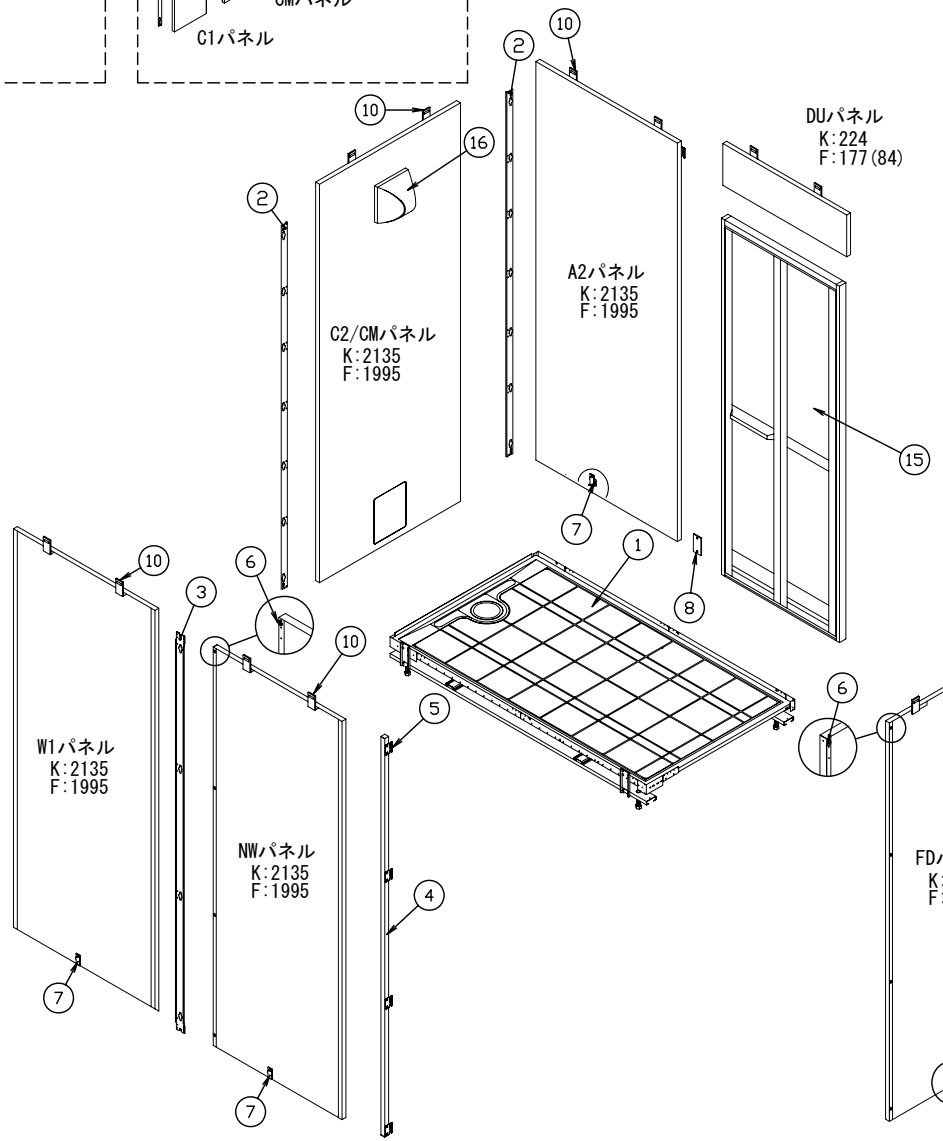


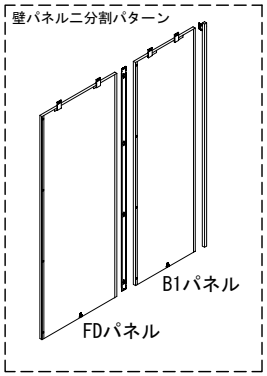












No.	部　品　名　称
1	ﾊｰﾌﾕﾆｯﾄ BL/BR
2	コーナーチャンネル EHK/EHF
3	センターチャンネル EHK/EHF
4	コーナーアングル ER-4/FP
5	中横桟 E
6	パネルフックネジ E
7	ガイド金具
8	ドアヨコパネル接続金具P
9	センターチャンネル固定金具
10	天井固定板
11	天　井（特寸）
12	天井点検口フタ
13	天井サイド金具 E
14	天井固定ピース
15	AWX折戸
16	ショウメイUVN

この図はＢＬタイプを示します。
ＢＲタイプは左右対称です。

壁パネルの照明穴の有無

照明穴有	C1/C2/C3パネル
照明穴無	CM/CN/CTパネル

XI 商品構成表 と 梱包明細

11-1. 下台商品構成表

部材名	品番		
洗場	特寸		○
ｶｳﾝﾀｰｾｯﾄ	特寸		△
※架台	特寸		○
※排水配管ｾｯﾄ	特寸		○
腰壁点検口フタ	ｶｳﾝﾀｰ有	ﾃﾝｹﾝｺｳﾌﾀLZE	△
	ｶｳﾝﾀｰ無	ﾃﾝｹﾝｺｳﾌﾀ11TN	△
排水口目皿	ｱﾗｲﾊﾞﾒｻﾞﾗXH G		○
内部給水給湯管	ｶｳﾝﾀｰ有	QﾄｳｶﾝFLXSH	△
	ｶｳﾝﾀｰ無	QﾄｳｶﾝZXSH	△

※印の付いたセットの梱包明細は、後項に記載しています。

11-4.架台セット梱包明細

	AR/AL勝手		BL/BR勝手	
部品名称	W=824～1399	W=1424～1744	W=824～1399	W=1424～1744
架台桁FSHE-1	②	②	②	②
架台桁FSHE-2 L	①	①	①	①
架台桁FSHE-2 R	①	①	①	①
洗場連結金具SHE	④	④	②	②
架台クリップ16ZF			②	②
六角ナット M16	⑩	⑩	⑩	⑩
六角ボルトPX L90	⑩	⑩	⑩	⑩
トラスタッピンネジ 4×16 クロメート	㉔	㉔	㉔	㉔
架台設置手順書	①	①	①	①
ボルト脚用接着材	①	①	①	①
計量スプーン	①	①	①	①
紙コップ	①	①	①	①
ボルト脚用接着材使用注意書	①	①	①	①

11-5.排水配管セット梱包明細

※○印の中に員数が記されています。

部品名称	W=824～899	W=929～999	W=1024～1299	W=1324～1744
配管FSHE-TL		①		①
配管FSHE-TS	①		①	
エバフリー（L=300）	①	①	①	①
DL50	①	①	①	①
VU-DL50	④	④	④	④
VU-DS50	②	②	②	②
VU50（L=995）	②	②	②	②
非硬化コーキング	①	①	①	①
配管設置手順書FSHE	①	①	①	①
SBシール	①	①	①	①
ＳＢシール施工注意書	①	①	①	①

11-6. 上台商品構成表

ｱﾝｸﾞﾙｾｯﾄの商品構成・梱包明細

Kタイプ 品番:HPｱﾝｸﾞﾙ SHE-K	Fタイプ 品番:HPｱﾝｸﾞﾙ SHE-F	
ｾﾝﾀｰﾁｬﾝﾈﾙEHK	ｾﾝﾀｰﾁｬﾝﾈﾙEHF	3
ｺｰﾅｰﾁｬﾝﾈﾙEHK	ｺｰﾅｰﾁｬﾝﾈﾙEHF	2
HPｱﾝｸﾞﾙ ER-4	ｺｰﾅｰﾁｬﾝﾈﾙFP	2
ﾊﾟﾈﾙ連結金具 N	ﾊﾟﾈﾙ連結金具 N	2

11-7. 小物 商品構成・梱包明細

梱包明細

ｺﾓ/SHE	個数
中横桟 E	6
ﾊﾟﾈﾙﾌｯｸﾈｼﾞ E	46
ｶﾞｲﾄﾞ金具	5
ﾊﾟﾈﾙ固定金具EP	2
ﾄﾞｱﾖｺﾊﾟﾈﾙ固定金具P	1
ｾﾝﾀｰﾁｬﾝﾈﾙ固定金具E	5
天井ｻｲﾄﾞ金具P	16
天井固定板E	16
天井固定ﾋﾟｰｽE	16
天井固定ﾋﾟｰｽ	6
天井固定ﾋﾟｰｽ設置注意書	1
ｽｸﾘｭｰｸﾞﾛﾒｯﾄ	4
ｼﾘｺﾝ(指定色)	2
ｺﾈｸﾀｰ	3
2層ﾊﾟｯｷﾝFPN	7m
ﾊﾟｯｷﾝ (t2xw16)	4m
天井目地ﾊﾟｯｷﾝ18E	1.8m
ﾊﾟﾈﾙﾊﾟｯｷﾝE R	6
ﾊﾟﾈﾙﾊﾟｯｷﾝE L	6
ﾏｽｷﾝｸﾞﾃｰﾌﾟ	3
SBｽﾍﾟｰｻｰt3	12
SBｽﾍﾟｰｻｰt5	12
SBｽﾍﾟｰｻｰt10	12
ｶﾞｲﾄﾞﾋﾟﾝN	4
ｶﾞｲﾄﾞﾋﾟﾝD	1
Sﾀｲﾄ薄皿ﾈｼﾞ	4
ﾄﾗｽﾃﾞﾙﾀｲﾄ小ﾈｼﾞ SWCH (M4x12)	63
ﾄﾗｽﾀｯﾋﾟﾝﾈｼﾞ SWCH (4x10)	93
ﾄﾗｽﾀｯﾋﾟﾝﾈｼﾞ SWCH (4x16)	37
皿ﾀｯﾋﾟﾝﾈｼﾞ SWCH (4x30)	2
皿ﾀｯﾋﾟﾝﾈｼﾞ SUS (4x35)	5
平座金	1
部材取付位置一覧SHE	1
取扱説明書	1

11-8. その他基本部材

	カウンター有仕様	カウンター無仕様	
水栓	KVK KF800VSN (樹脂ﾎｰｽ仕様)	SB1104D-T (樹脂ﾎｰｽ仕様)	
照明	ｼｮｳﾒｲUVN(K)		
換気扇	VD-10ZC9-TK		
ドア	Kタイプ	Mタイプ	Fタイプ
	AWXｵﾚﾄﾞN(WK)	AWXｵﾚﾄﾞN(WK)	AWXｵﾚﾄﾞN(WF)

XII．設置手順

12-1．設置工程

（1）0912/0916/1216/1616タイプ

〈設備側工事〉

基礎工事

給水給湯管の立上げ

外部排水管の設置

〈システムバス設置工事〉

墨出し

架台の組立

架台の設置

排水配管の設置

◎専用工具 トラップシメツケコウグX
◎専用工具 トラップホルダー SHE

排水配管の漏水チェック

洗場パンユニットの設置

壁パネルの組付け準備

壁パネルの組付

天井の組付

ドアの取付

目地材の打ち込み

◎専用工具 カベメジウチコミジグ

水栓の取付

カウンターの取付

カウンター下カバー取付金具PBの取付

カウンター下カバーの取付

点検口蓋の取付

照明の取付

シャワーフックの取付

最終シリコン仕上げ

配線の固定 及び 結線

設置完了

内部清掃

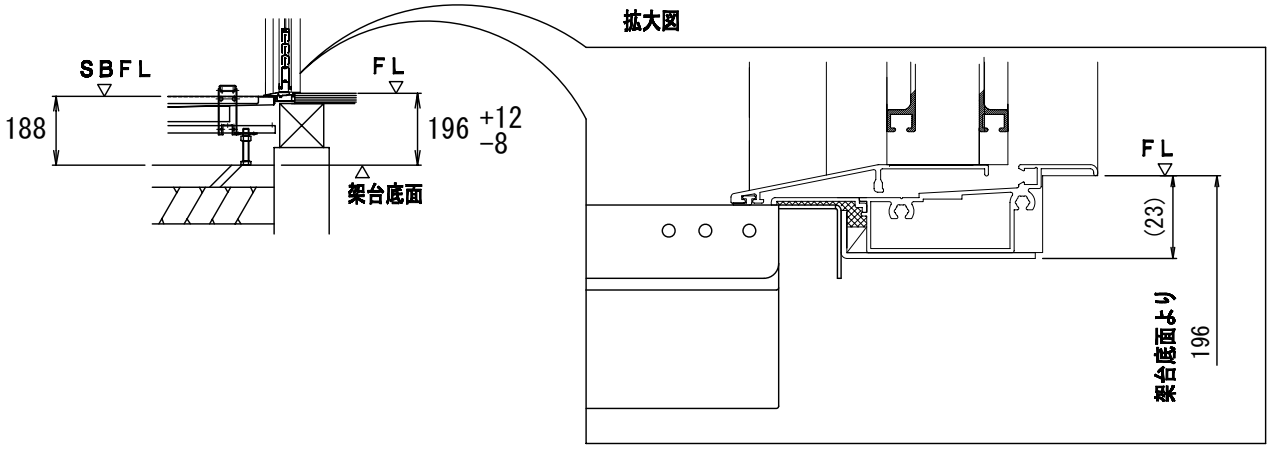
検査・引渡し

12-2. ハーフユニットの設置手順（壁パネル組付まで）

1. 床の納まり(基礎工事)

※この項目は設備側の工事区分になりますので
事前に依頼してください。

・浴室入口の踏み込み高さ調整のためにシステムバスをかさ上げする必要がある場合には下図のように全体をかさ上げして基礎を築いてください。

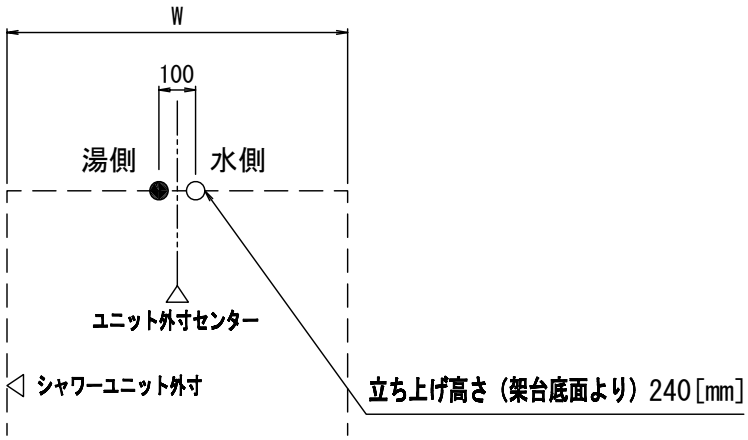


2. 給水給湯管の立上げ

※この項目は設備側の工事区分になりますので
事前に依頼してください。

・給水、給湯管とも断熱材を巻き、下図の位置に立ち上げてください。

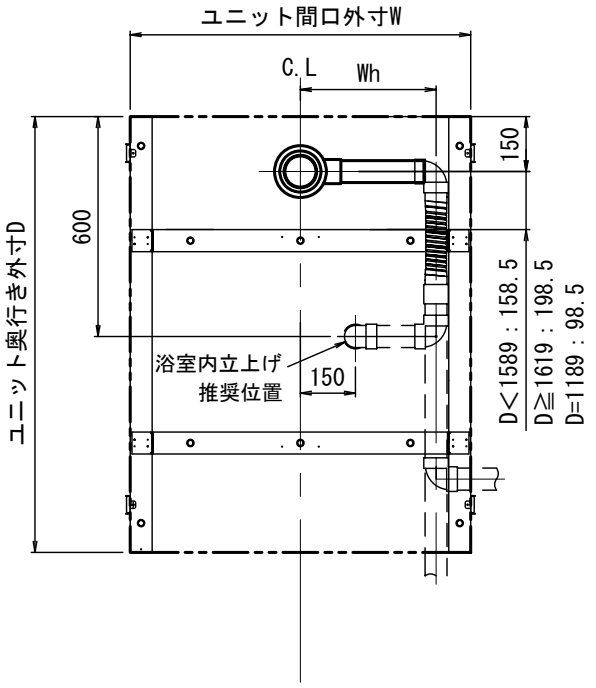
・給水給湯管の立ち上げは、排水管と重ならないように注意してください。
・給水給湯管は、できるだけ基礎にそわせて立ち上げてください。



3. 外部排水管の設置

※この項目は設備側の工事区分になりますので
事前に依頼してください。

・下図は、ユニット側排水配管取出し可能位置を示します。
下図を参照の上、外部排水管を設置してください。
・ユニット側の使用配管は、VU-50 です。



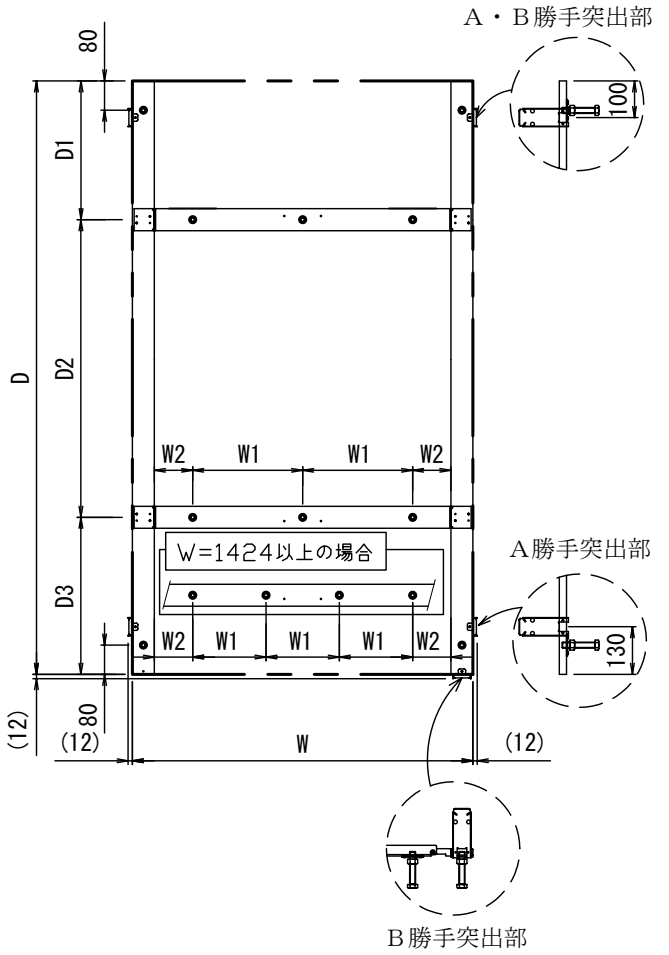
ﾕﾆｯﾄ間口 外寸W	Wh
824	315
849	
874	
899	
929	365
949	
974	
999	
1024	315
1049	
1074	
1099	
1124	
1149	
1174	
1199	
1224	
1249	
1271	
1299	

ﾕﾆｯﾄ間口 外寸W	Wh
1324	365
1349	
1374	
1399	
1424	
1449	
1474	
1499	
1524	
1549	
1574	
1599	
1624	
1651	
1674	
1699	
1724	
1744	

4. 墨出し

※ここからがシステムバス設置作業です。

下図を参照し、架台の水平位置を決定してください。

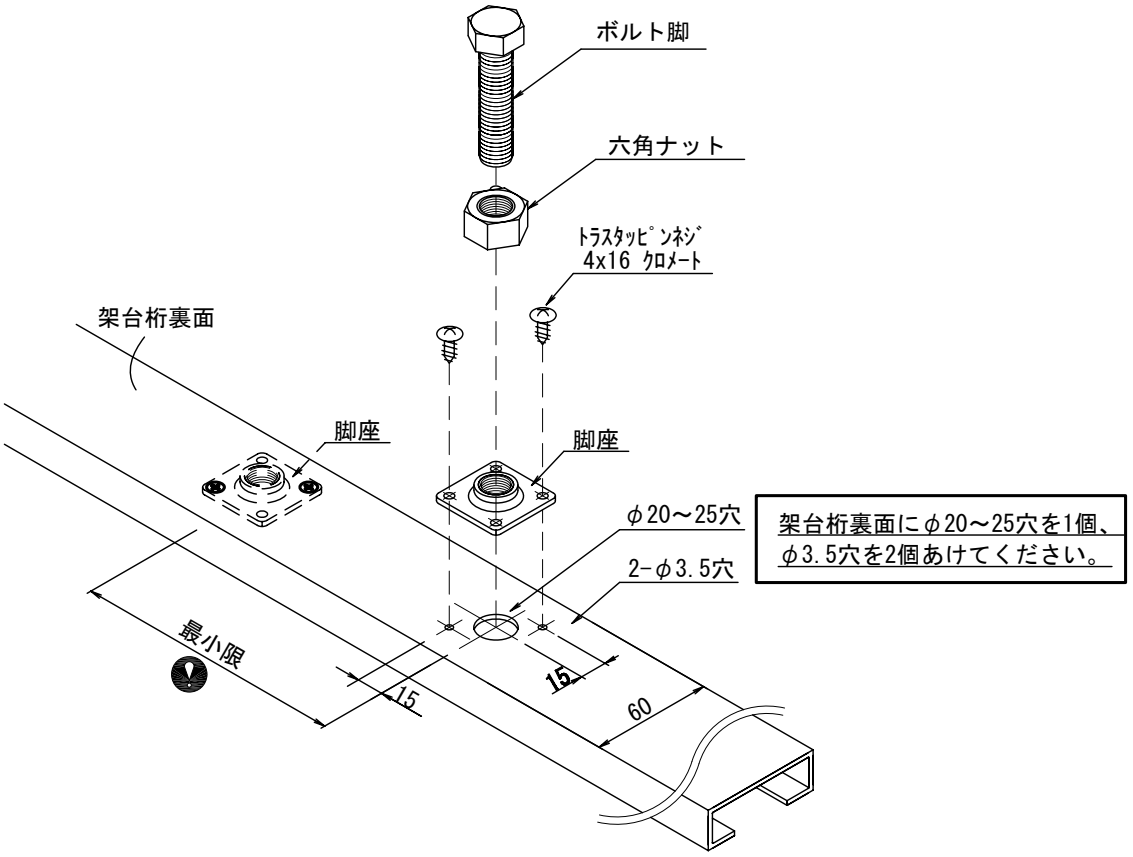


D	D1	D2	D3
1014	338.5	502	173.5
1039			198.5
1064			223.5
1089			248.5
1114			273.5
1139		552	248.5
1164			273.5
1189	278.5	582	328.5
1214	338.5	552	323.5
1239			348.5
1274		682	243.5
1289			268.5
1314			293.5
1339			318.5
1364			343.5
1389			368.5
1414			393.5
1439		812	288.5
1464			313.5
1489			338.5
1514			363.5
1539			388.5
1564			413.5
1589			438.5
1619	378.5		428.5
1639			448.5
1664		982	303.5
1689			328.5
1714			353.5
1739			378.5
1764			403.5
1789			428.5
1814			453.5

W	W1	W2
824	250	102
849		114.5
874		127
899		139.5
929	300	104.5
949		114.5
974		127
999		139.5
1024	370	82
1049		94.5
1074		107
1099		119.5
1124	400	102
1149		114.5
1174		127
1199		139.5
1224	450	102
1249		114.5
1271		125.5
1299		139.5
1324	500	102
1349		114.5
1374		127
1399		139.5
1424	366.7	102
1449		114.5
1474		127
1499		139.5
1524	400	102
1549		114.5
1574		127
1599		139.5
1624	433.3	102
1651		115.5
1674		127
1699		139.5
1724	466.7	102
1744		112

[ボルト脚の移動方法]

・ボルト脚がガス管などの転がし配管に干渉する場合は、
付いている脚座の位置を変更し、干渉を避けてください。

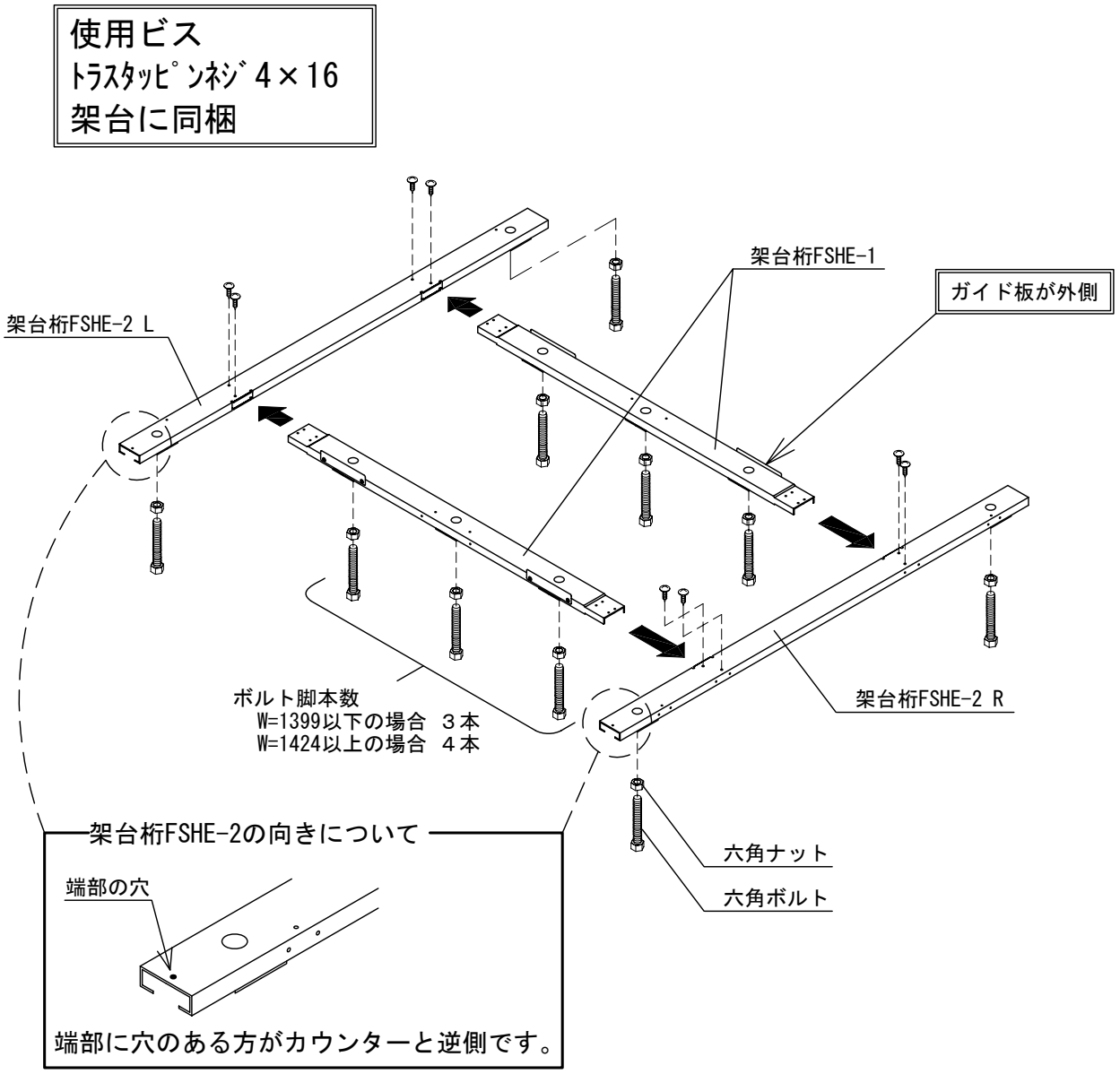


ボルト脚はシャワーユニットの総重量を無理なく
支持できるよう考慮された位置に配置されて
いますので、移動は最小限に抑えてください。

5. 架台の組立

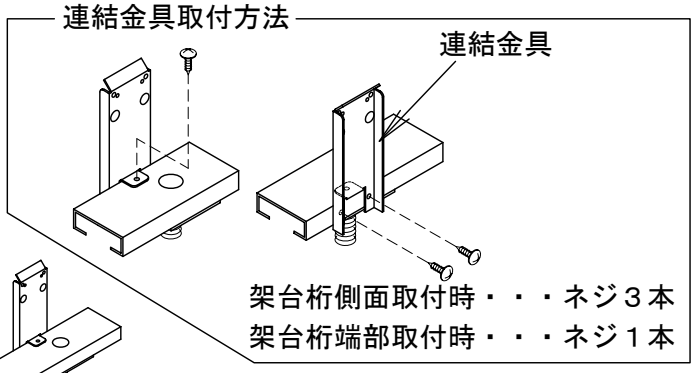
AR/ALとBL/BRで金具取付位置が異なります

1）架台桁の養生テープ貼付面を上にし、下図の要領で組み立てます。



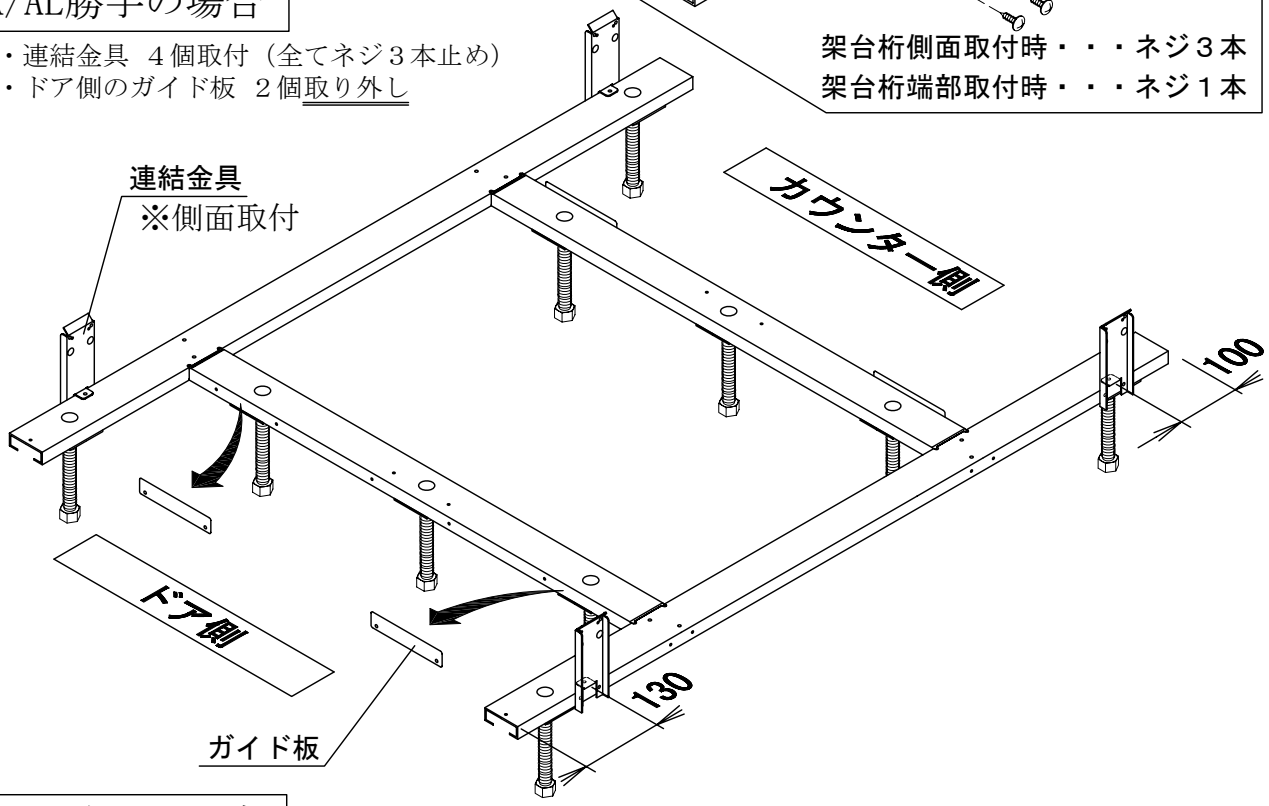
2）部品の取付

使用ビス
ﾄﾗｽﾀｯﾋﾟﾝﾈｼﾞ 4×16
架台に同梱



AR/AL勝手の場合

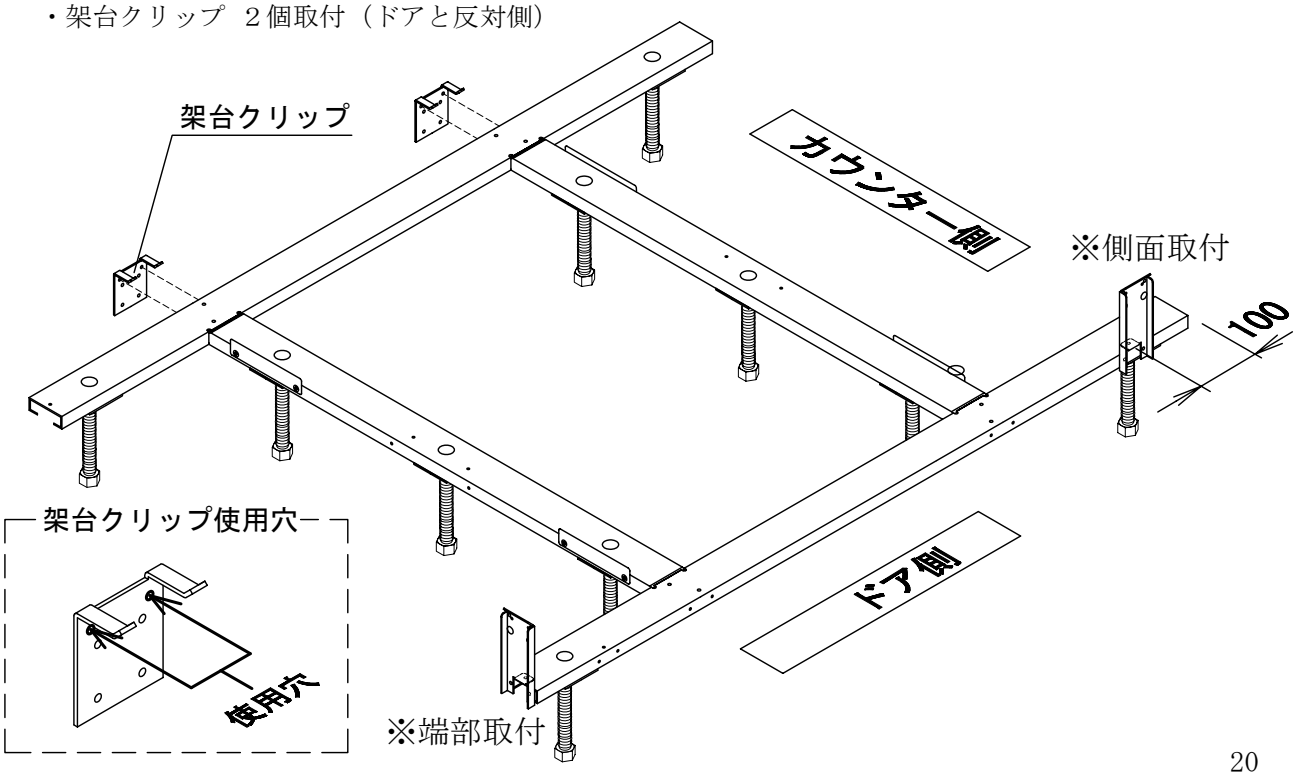
・連結金具 ４個取付（全てネジ３本止め）
・ドア側のガイド板 ２個取り外し



BL/BR勝手の場合

※下図はBL勝手を示します。BR勝手は対称です。

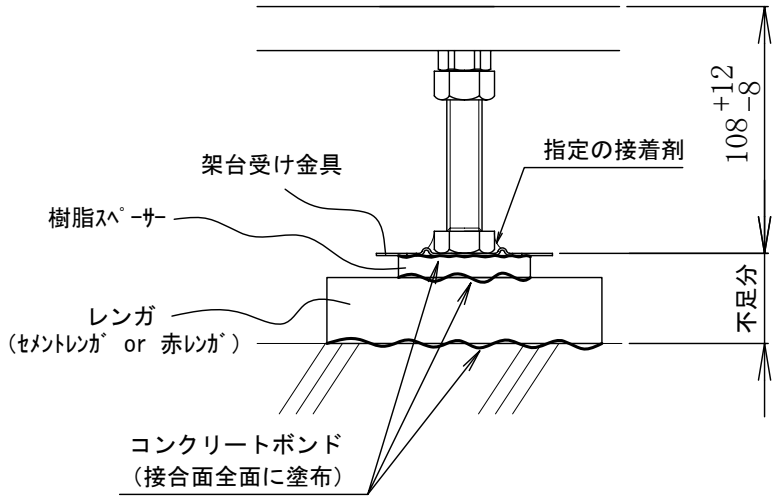
・連結金具 ２個取付（ドア側）
・架台クリップ ２個取付（ドアと反対側）



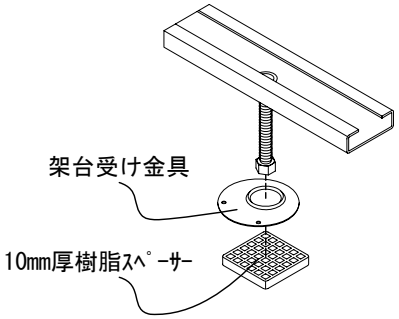
[架台の嵩上げ方法]

・架台下寸法108[㎜]の不足分は、下記に従って嵩上げしてください。

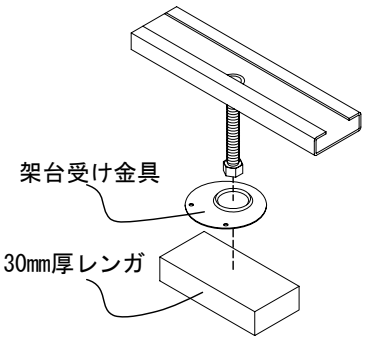
・「架台受け金具」、「樹脂ｽﾍﾟｰｻｰ」は商品センターに別途手配してください。
　レンガは現地にて手配してください。
・10㎜樹脂ｽﾍﾟｰｻｰが不足した場合は、5㎜ｽﾍﾟｰｻｰを2枚重ねて使用してください。
・ボルト脚と架台受け金具の接合面は指定の接着剤を使用しますが、架台受け金具・樹脂ｽﾍﾟｰｻｰ・
　レンガの接合面はコンクリートボンドにて接着固定してください。



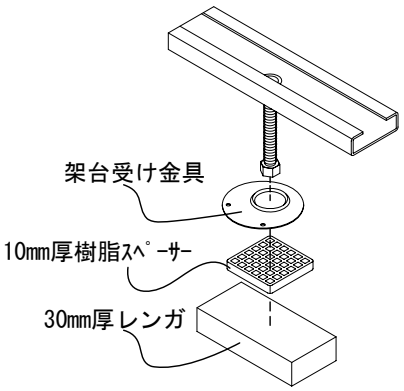
(1)不足分が 1～11㎜の場合



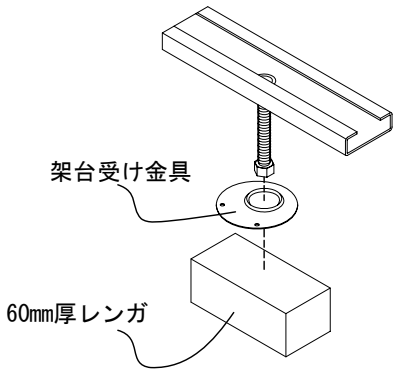
(2)不足分が 12～31㎜の場合



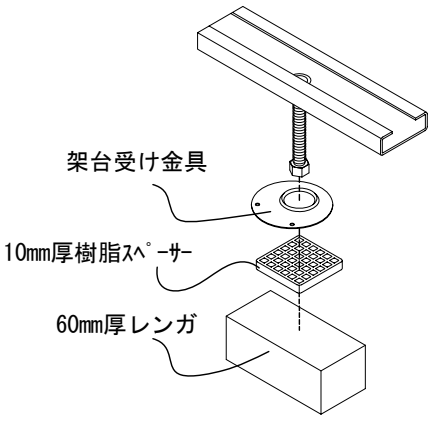
(3)不足分が 32～41㎜の場合



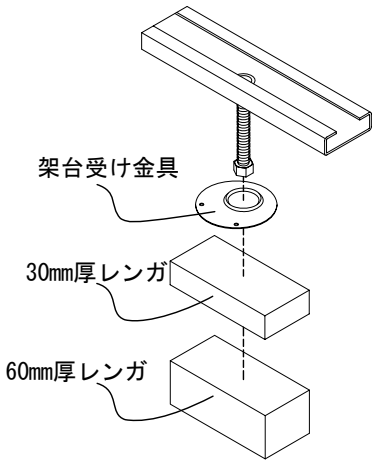
(4)不足分が 42～61㎜の場合



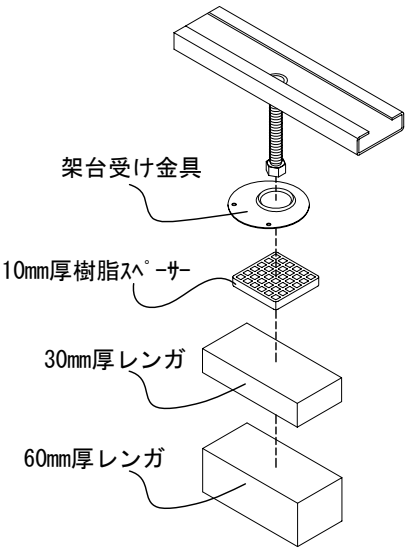
(5)不足分が 62～71㎜の場合



(6)不足分が 72～91㎜の場合

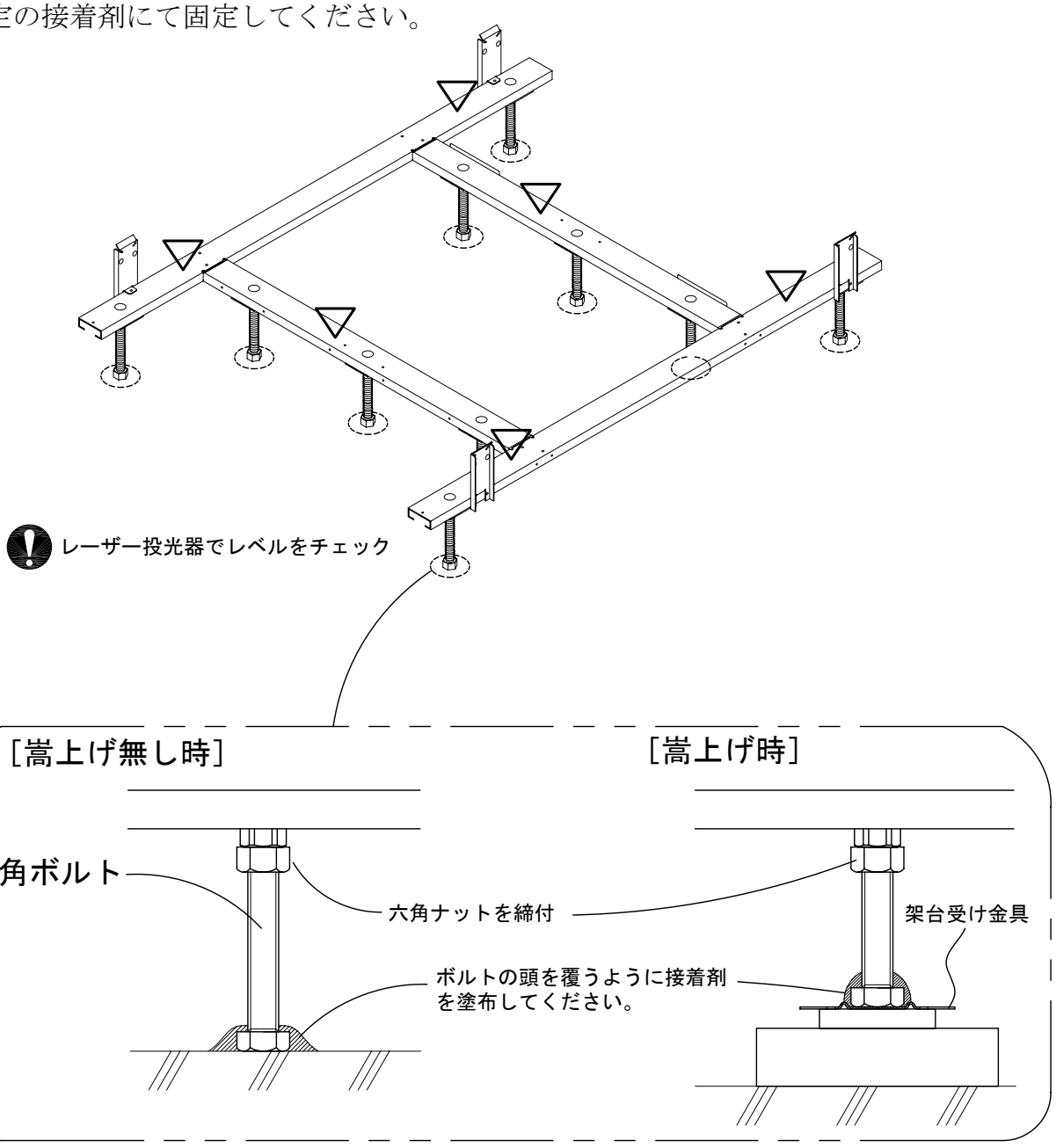


(7)不足分が 92～101㎜の場合



6. 架台の設置

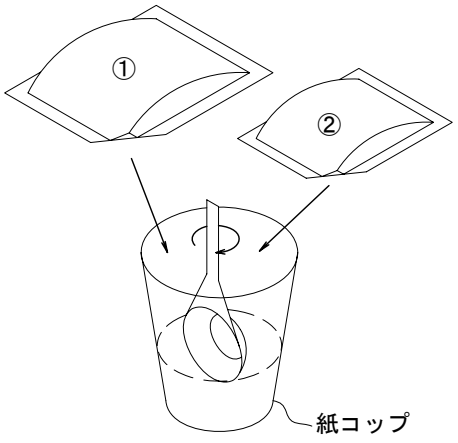
架台の高さ寸法が決まりましたら、架台のレベルをチェックし、六角ナットを締めて六角ボルトを固定してください。
また、六角ボルトの頭部と、コンクリートスラブ（又は架台受け金具）を、指定の接着剤にて固定してください。



［ボルト脚用接着剤の使用方法］

接着剤は2液性となりますので先に大袋の方を紙コップに全部入れ、次に小袋の方を全部入れてしっかりと混ぜ合わせてください。

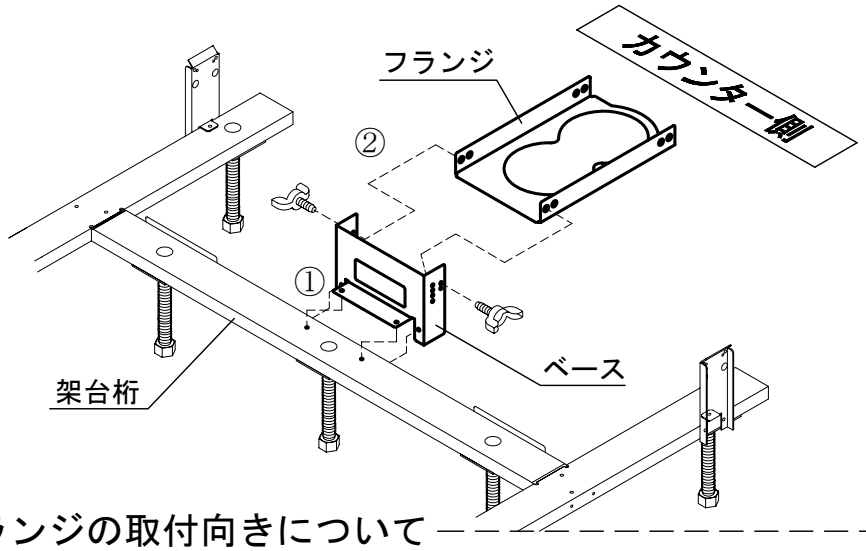
※その他詳細につきましては
付属の注意書をご覧ください。



7. 排水配管の設置

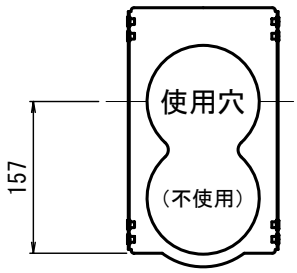
(1)排水配管設置

①トラップホルダーの「ベース」をカウンター側の架台桁に取付けます。
※使用ネジ＝トラスタッピンネジ4x16（架台に同梱）
②ベースの使用穴とフランジの取付向きを確認し、トラップホルダーの「フランジ」を取付けます。
※使用ネジ＝チョウボルト（トラップホルダーに同梱）

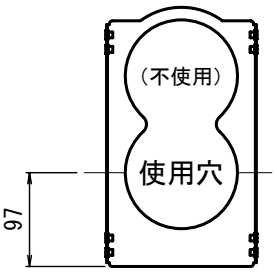


フランジの取付向きについて

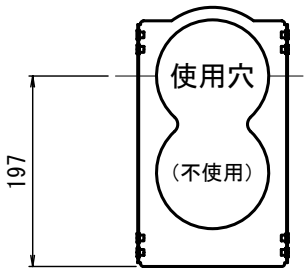
D=1014～1589の場合
※但し、D=1189は除く



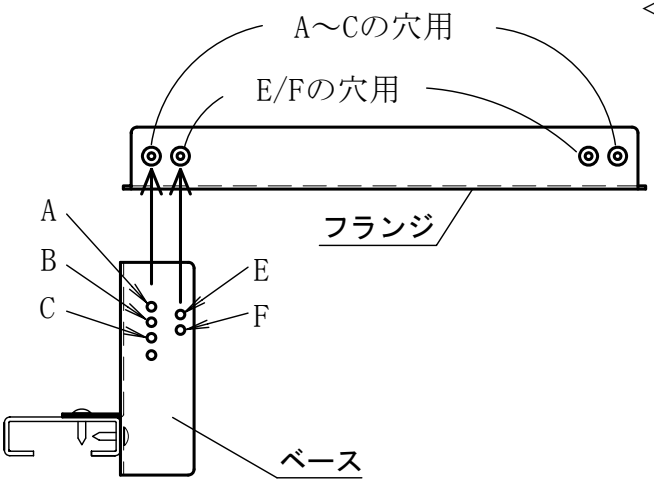
D=1189の場合



奥行　D=1619～1814の場合



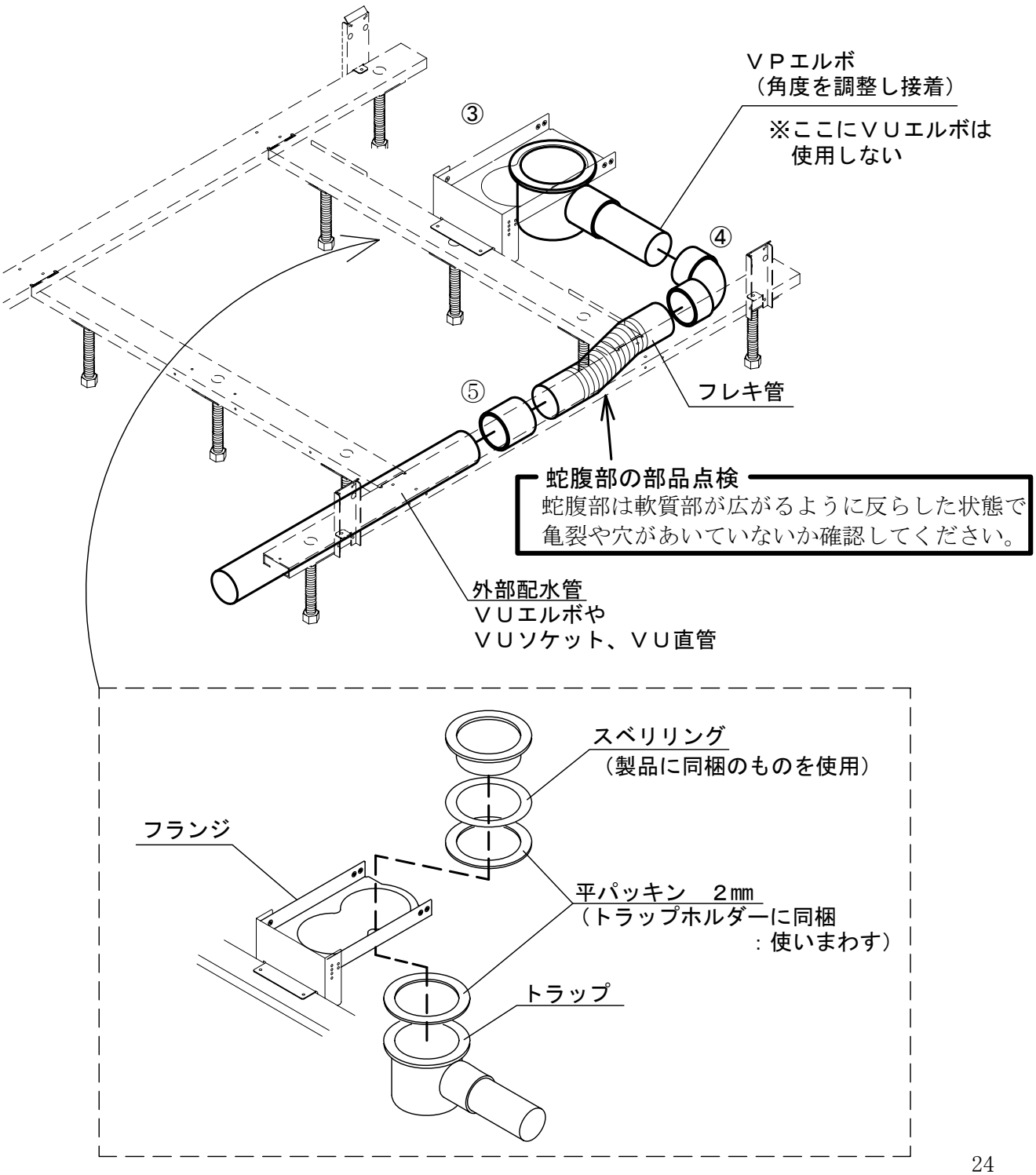
ベース・フランジ側面の使用穴について



＜A～Fの使用穴表＞

	間口 W=824～1399		間口 W=1424～1744	
奥行D	1014～1189	A	1014～1064	A
	1214～1389	E	1089～1264	E
	1414～1589	B	1289～1464	B
	1619～1789	F	1489～1664	F
	1814	C	1689～1814	C

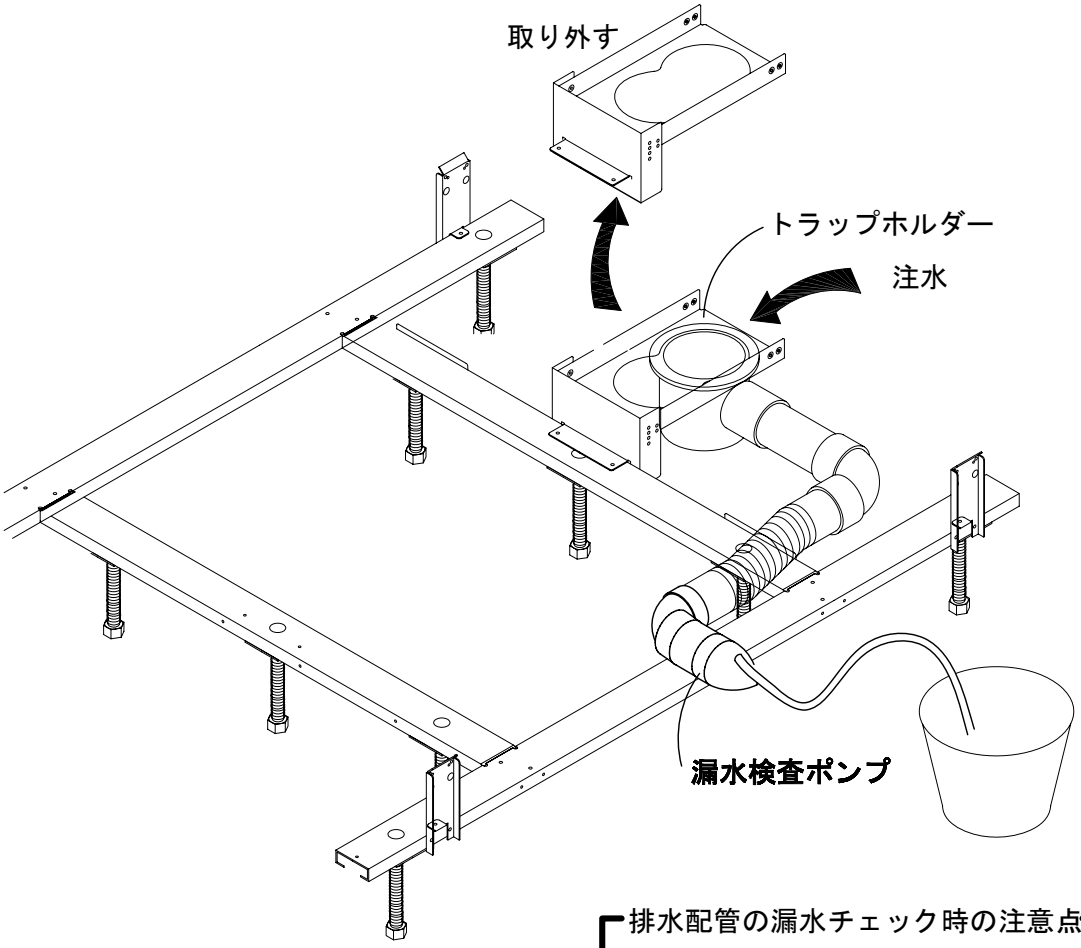
③平パッキンをフランジの上下にはさみ、スベリリングを介して
フランジにトラップを仮締めし位置出しをします。
※平パッキン２枚・・・トラップホルダーに同梱
（洗場設置後は配管に同梱のUパッキンを使用）
※スベリリング・・・配管に同梱
（洗場設置後も同じものを使用）
④フレキ管が架台桁の切り欠きのすぐ下を通るように、
ＶＰエルボの角度を調整して接着します。
⑤勾配（1/50～1/100）を確認しながら外部排水管を接着します。



(2)排水配管の漏水チェック

①下図のように注水を行い、漏水していないか検査してください。
　漏水していなければ水を抜き取ってください。
②トラップホルダーを取り外してください。

> 排水配管と一次側排水管が確実に接着され、漏水がないか確認してください。（設置範囲に含まれる場合）



排水配管の漏水チェック時の注意点

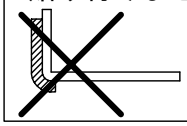
配管内部が満水になるよう浴槽側トラップの開口すれすれまで注水してください。満水検査をしないと漏水事故につながりますので確実に行ってください。
満水にするためには最低でも５リットル以上の水が必要です。
常に多めの水を準備してください。

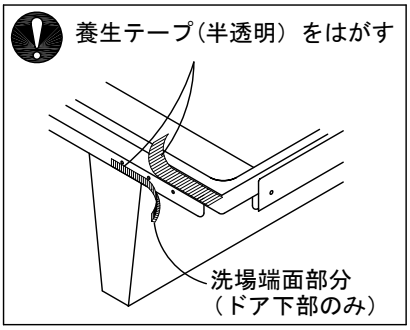
③ドアが取付部分の洗場側面に、ドア下アングルを取付けてください。

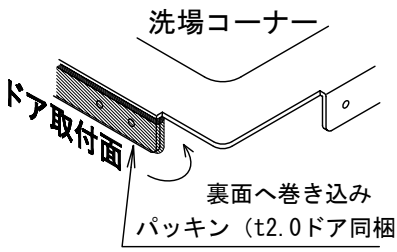
(1) 取付ける前に、取り付いているコーナーガードを一旦外し、
下図に従いドアに同梱のパッキンを貼り付けてください。

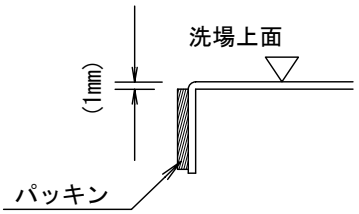
Aタイプの場合、洗場フランジ面のドアコーナー側の
養生テープをはがしてください。
※３枚引戸の場合、パネルの下部からはみ出す分も
同様に養生テープをはがしてください。

ドア下アングルには
貼り付けません。

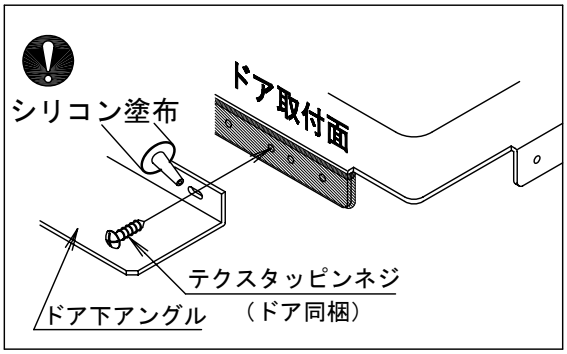


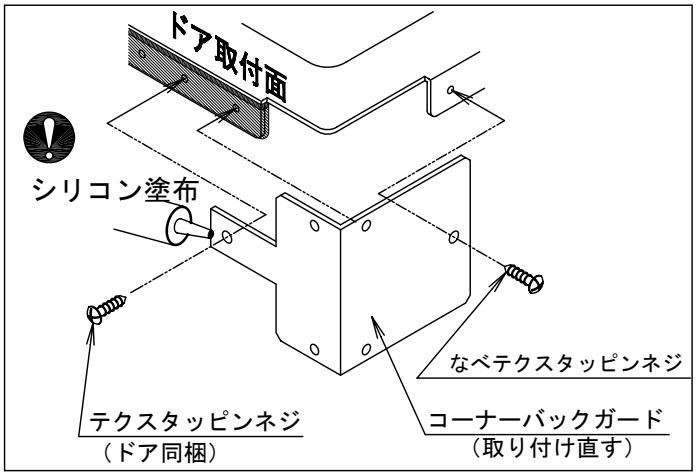




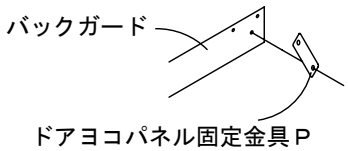


(2) ドアに同梱されているネジを使用してアングルを取付けてください。
また、コーナーガードを取り付けてください。



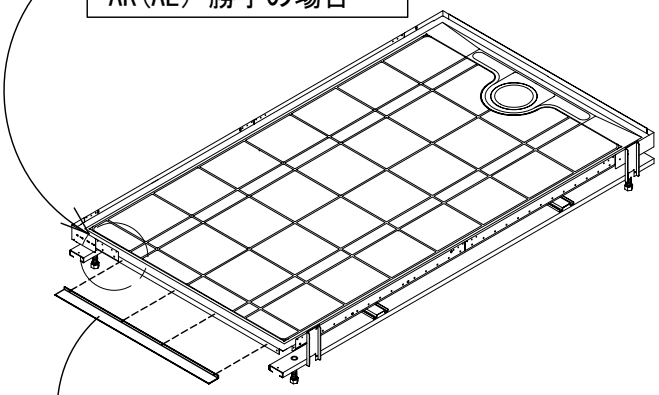


一旦ドア横のバックガードを
取り付けているネジを外し、
ドアヨコパネル固定金具Ｐと
バックガードを共締めしてください。



使用ビス
テクスタッピンネジ （ドアに同梱）

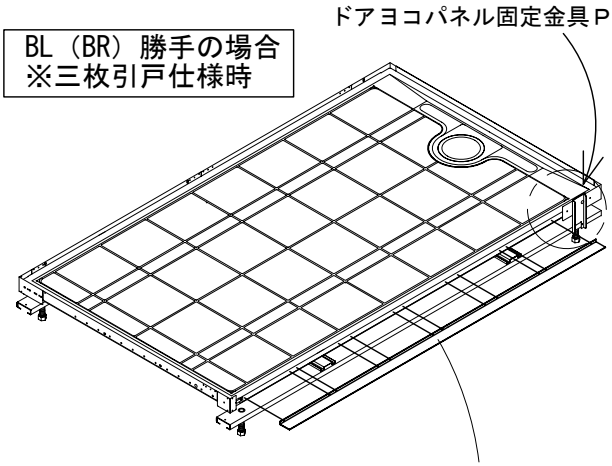
AR(AL) 勝手の場合



ドア下アングル
（ドアに同梱）

折戸・開き戸・片引戸－４個所 ビス止め
三枚引戸（20Aタイプ用）－１０個所 ビス止め

BL（BR）勝手の場合
※三枚引戸仕様時



ドア下アングル
（ドアに同梱）

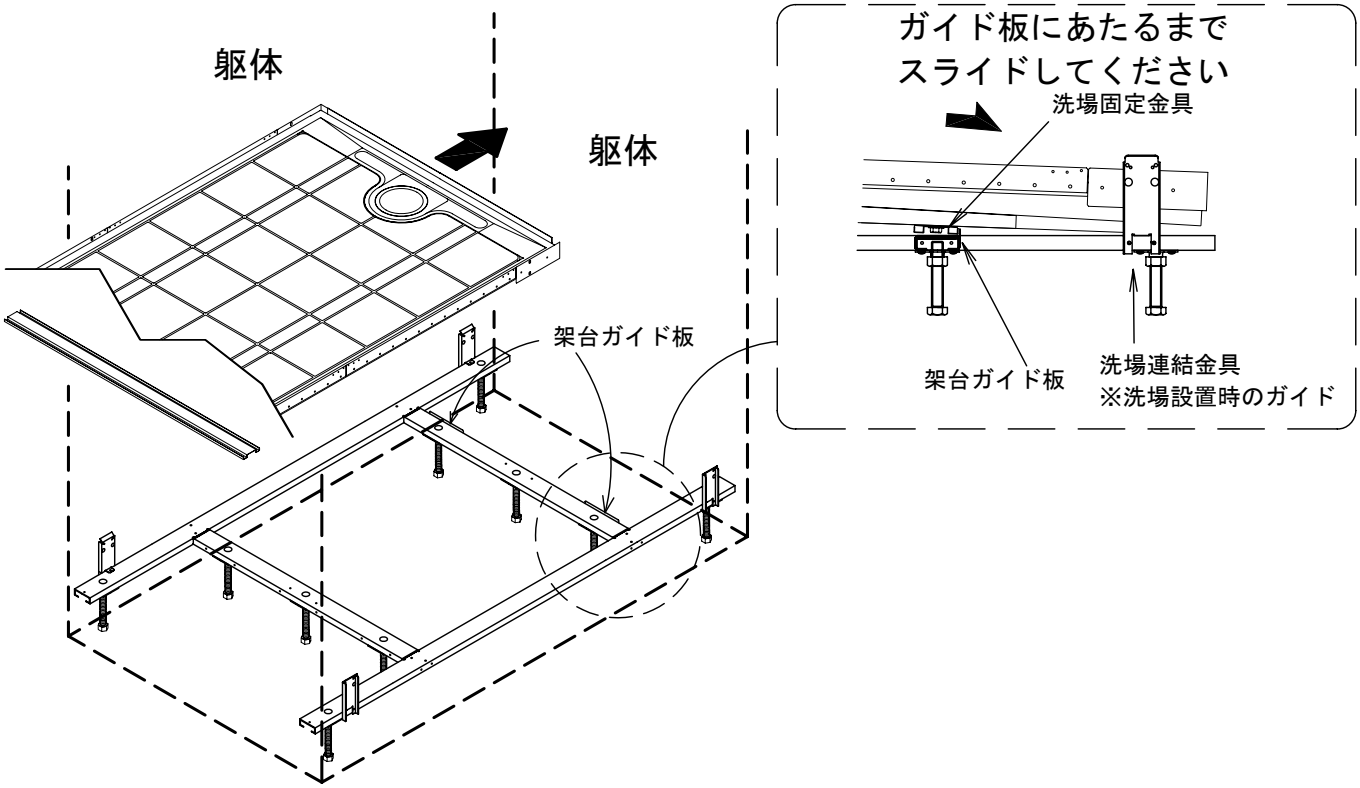
折戸・開き戸・片引戸－４個所 ビス止め
三枚引戸－１２個所 ビス止め

8.洗場パンの設置

AR/ALとBL/BRで設置方法が異なります

AR/ALの場合

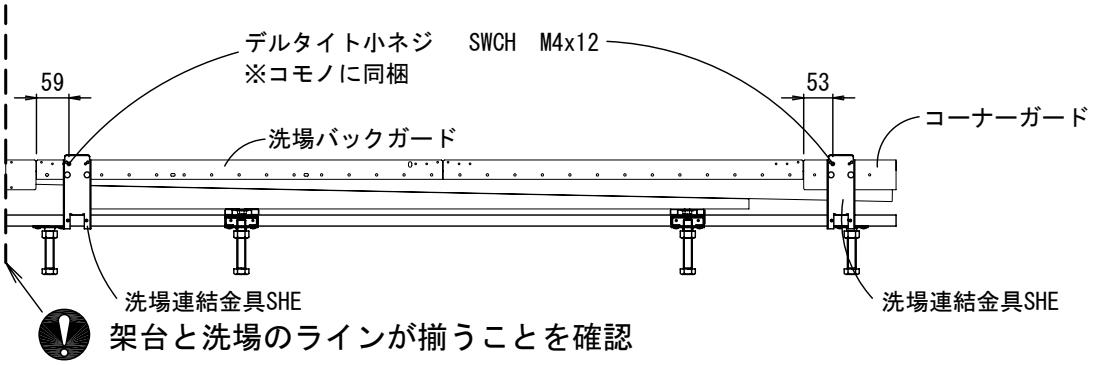
①洗場パンを架台の上に置き、奥側の洗場固定金具が架台ガイド板にあたるまで
　矢印の方向に洗場をスライドさせてください。
②洗場連結金具SHEと洗場バックガードをトラスデルタイト小ネジで固定してください。



ドア開口部

洗場締付け金具をガイドにして洗場を設置してください。

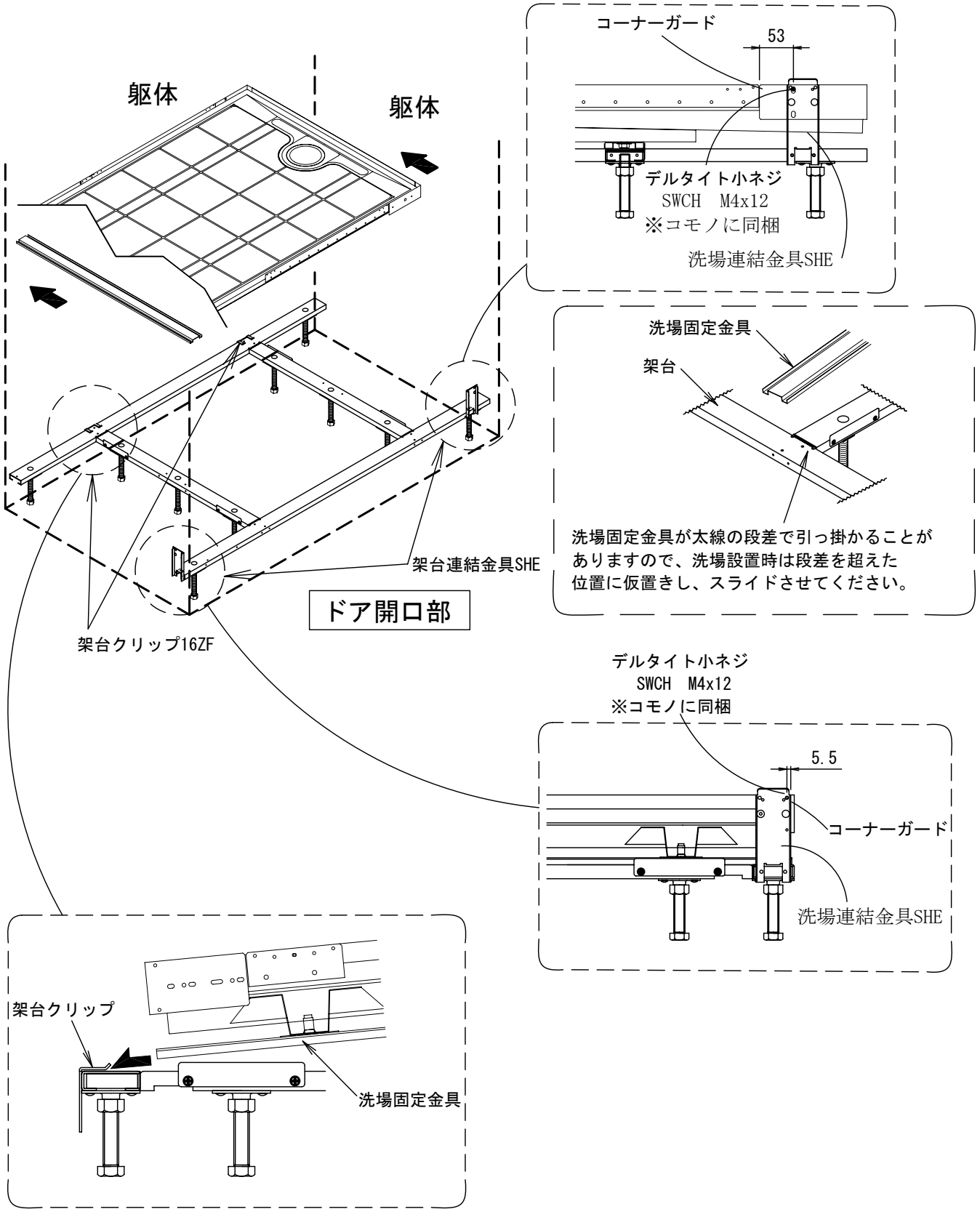
◇洗場締付け金具ネジ止め位置図



架台と洗場のラインが揃うことを確認

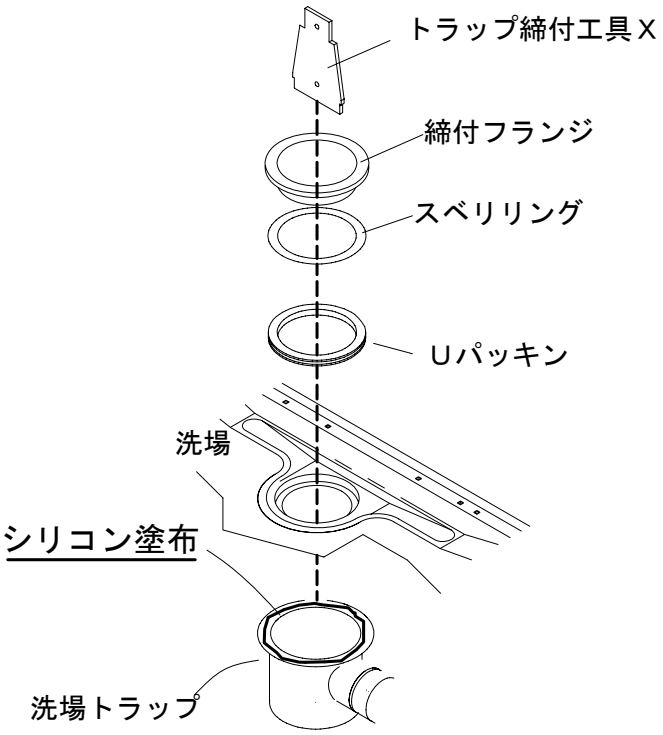
BL/BRの場合

①洗場パンを架台の上に置き、洗場固定金具の奥側が架台クリップに引っ掛かるように
　矢印の方向に洗場をスライドさせてください。
②洗場連結金具SHEとコーナーガードをトラスデルタイト小ネジで固定してください。



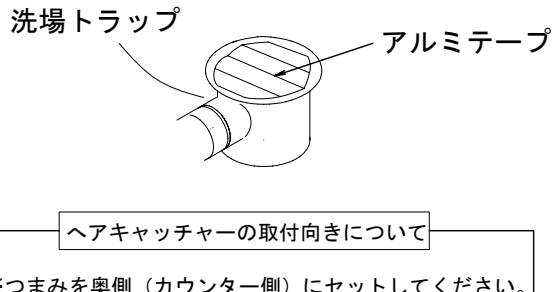
9.洗場トラップの取付

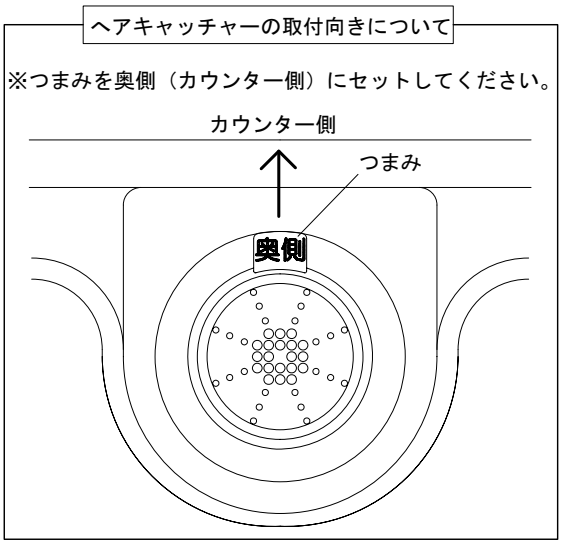
下図に示すように洗場トラップを洗場パンに締付けて下さい。

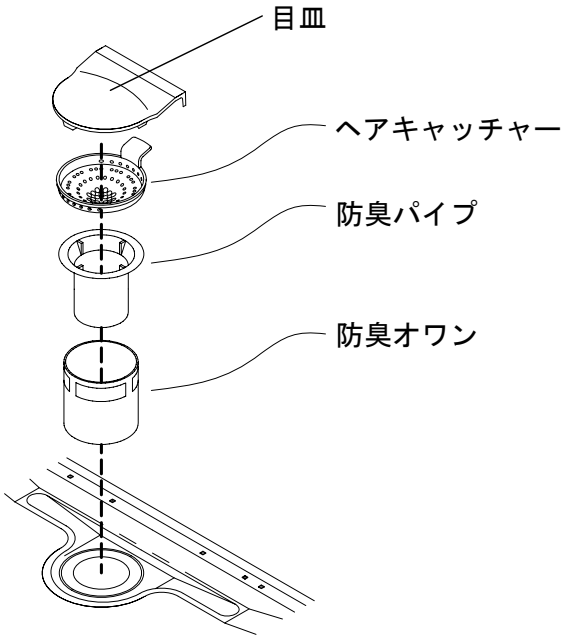


10.洗場トラップ取付部の漏水チェック

・洗場トラップ上面にアルミテープを貼り、洗場トラップ上面が水没する程度の
　水を注水し、漏水確認を行ってください。
・漏水が無ければ、パッキン、防臭パイプ、ヘアキャッチャー、目皿を取付けてください。

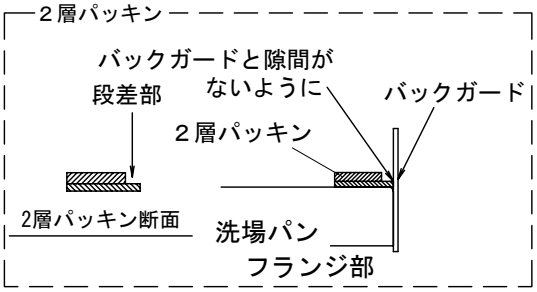




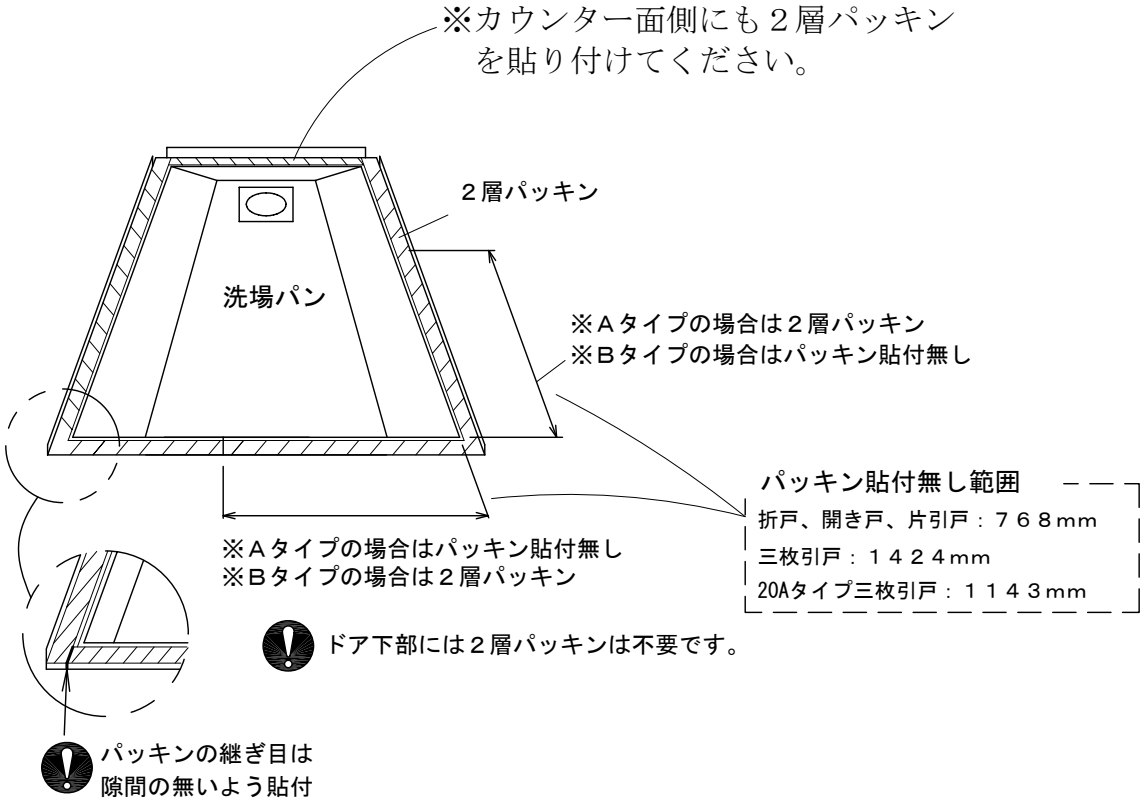


11.パッキンの貼り付け

・ハーフユニット組付け後、洗場パンのパネル載せ面にパッキンを貼り付けてください。
（※下図はARBLタイプを示します。
ALBRタイプは対称です。）



洗場の２層パッキンは段差部が外側を向くように貼り付けてください。

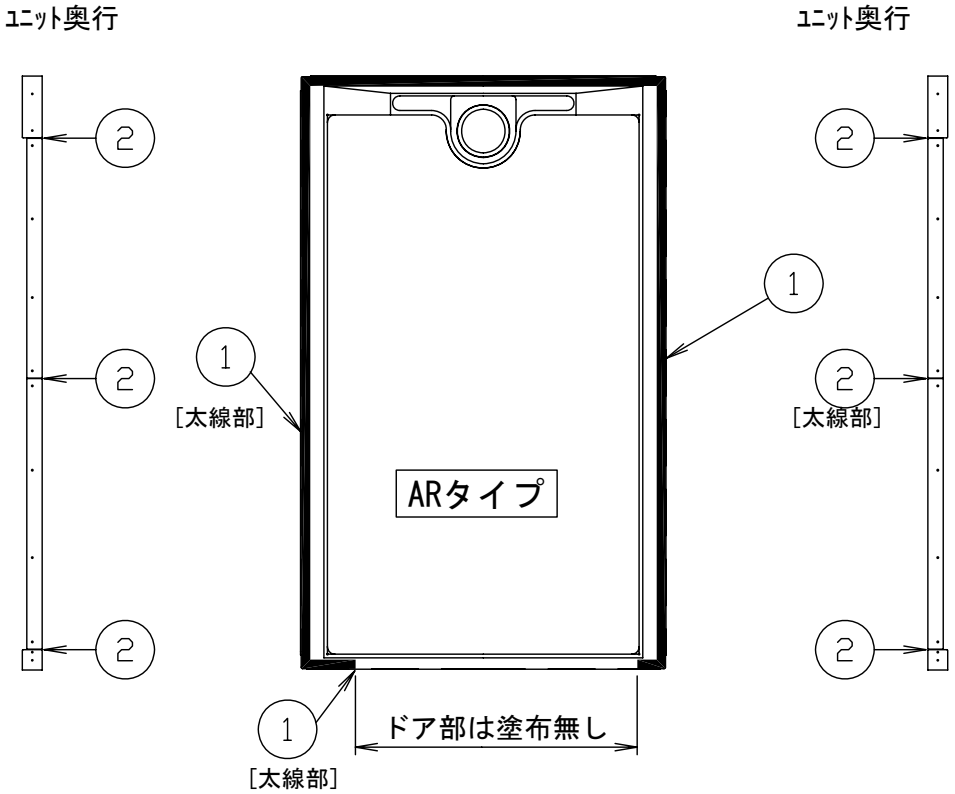


12. 非硬化コーキングの塗布

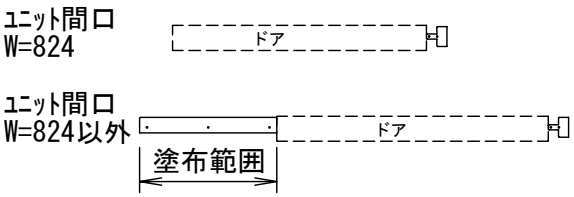
● AR/ALタイプの場合

2層パッキンの段差部①と下図に示すバックガードの隙間②に、非硬化コーキングを充填するように塗布してください。
下記以外の寸法の場合も同様に塗布してください。

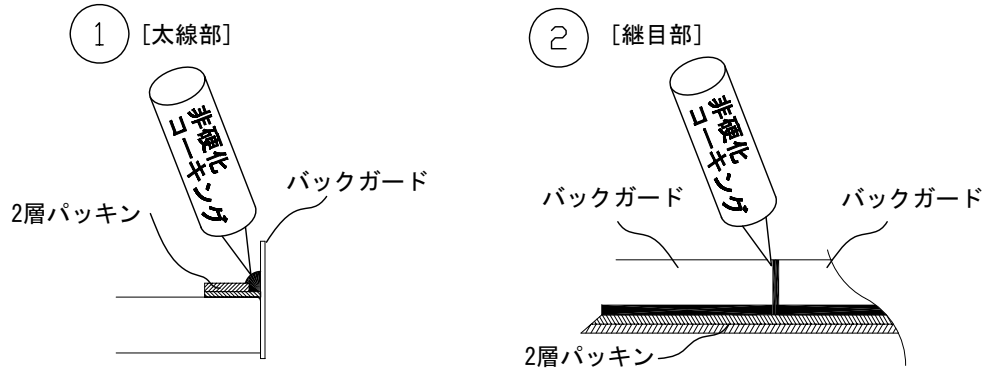
注意 ドア下部の組み付けはドアの設置説明書を参照してください。



※ドア部以外は塗布



※本図はＡＲタイプの場合を示します。
ＡＬタイプの場合は対称です。

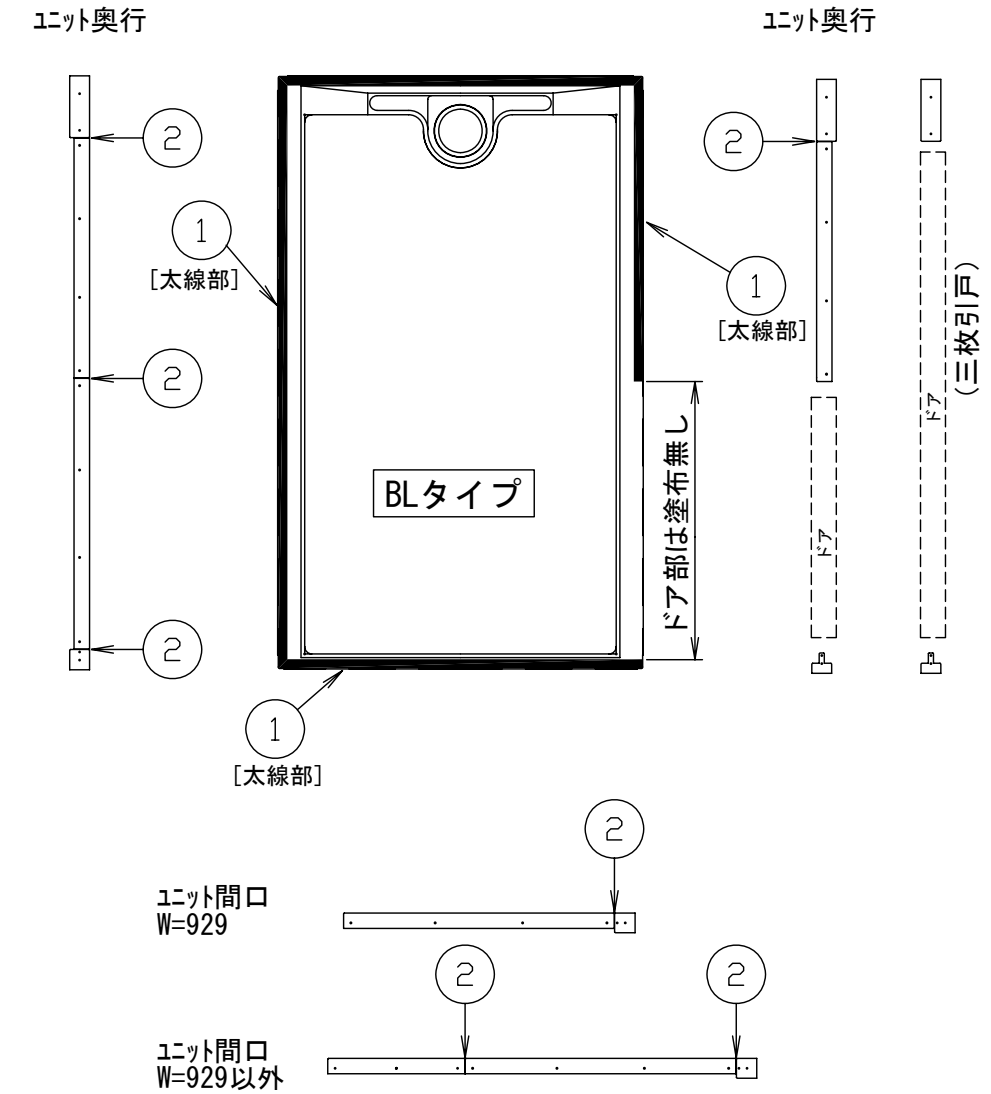


● BL/BRタイプの場合

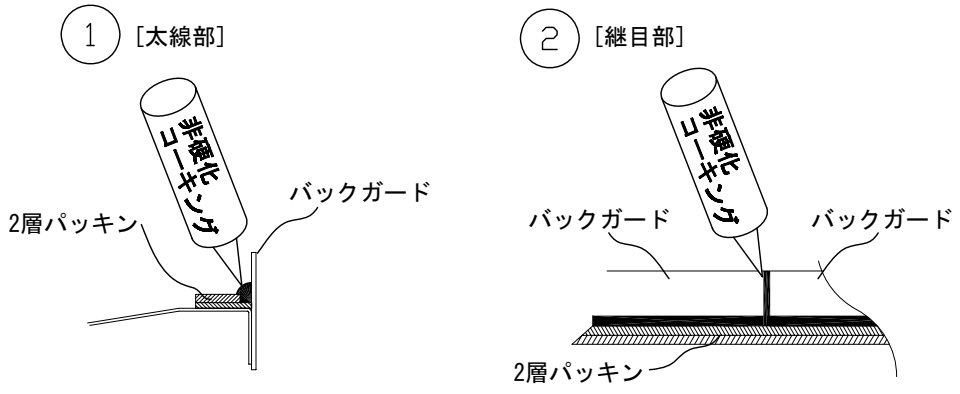
2層パッキンの段差部①と下図に示すバックガードの隙間②に、非硬化コーキングを充填するように塗布してください。

下記以外の寸法の場合も同様に塗布してください。

注意 ドア下部の組み付けはドアの設置説明書を参照してください。



※本図はBLタイプの場合を示します。
BRタイプの場合は対称です。

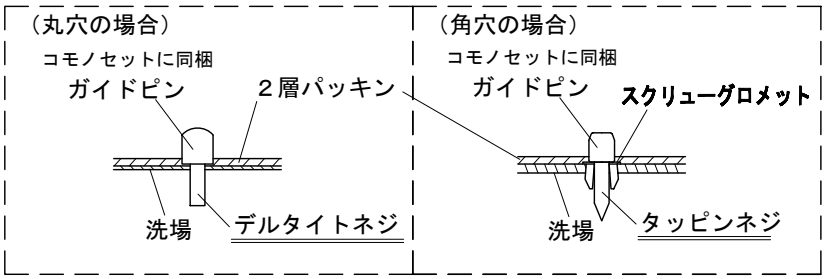


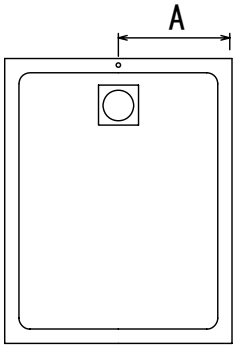
13. 壁パネルの設置手順

①壁パネルの組付準備

(1) ガイドピンの取付

・下図のようにガイドピンを取り付けてください。

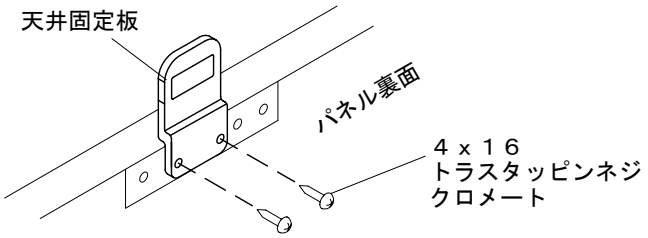




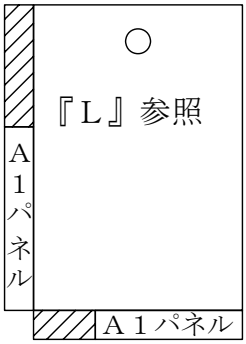
ユニット間口寸法	A寸法
824～1099	355
1124～1574	351.5
1599	696.5
1624	709
1651	722.5
1674	734
1699	746.5
1724	759
1744	769

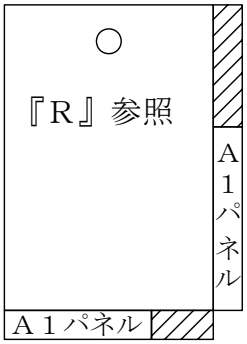
(2) 天井固定板の取付

・パネル上部裏面に天井固定板を取り付けてください。
取り付け位置は各パネルの裏面に貼付いているラベルを参照してください。

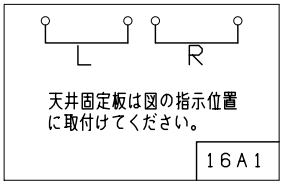


［Ａ１パネルの場合のみ］
Ａ１パネルが下図の位置の場合、固定金具指示シールにしたがって
ＬまたはＲの位置に取り付けてください。





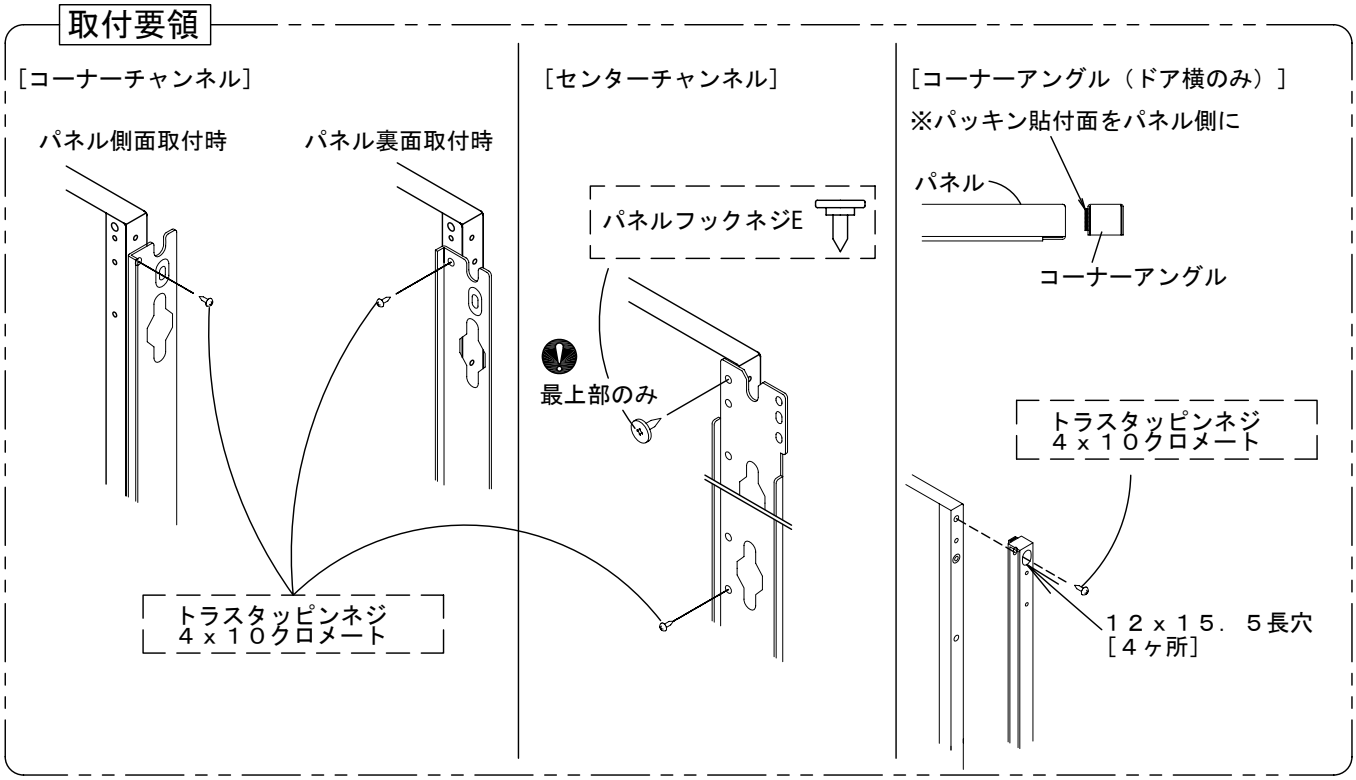
［取付位置指示シール］



(3) センターチャンネル、コーナーアングル/チャンネルの取り付け

・下図のようにチャンネルの向きに注意し、パネルに取り付けてください。
・センターチャンネル最上部はパネルフックネジを取り付けてください。

注）強く締め付けすぎると、ネジが利かなくなります。
※ビス取付け位置・数量は[金具取付位置詳細図]を参照してください。



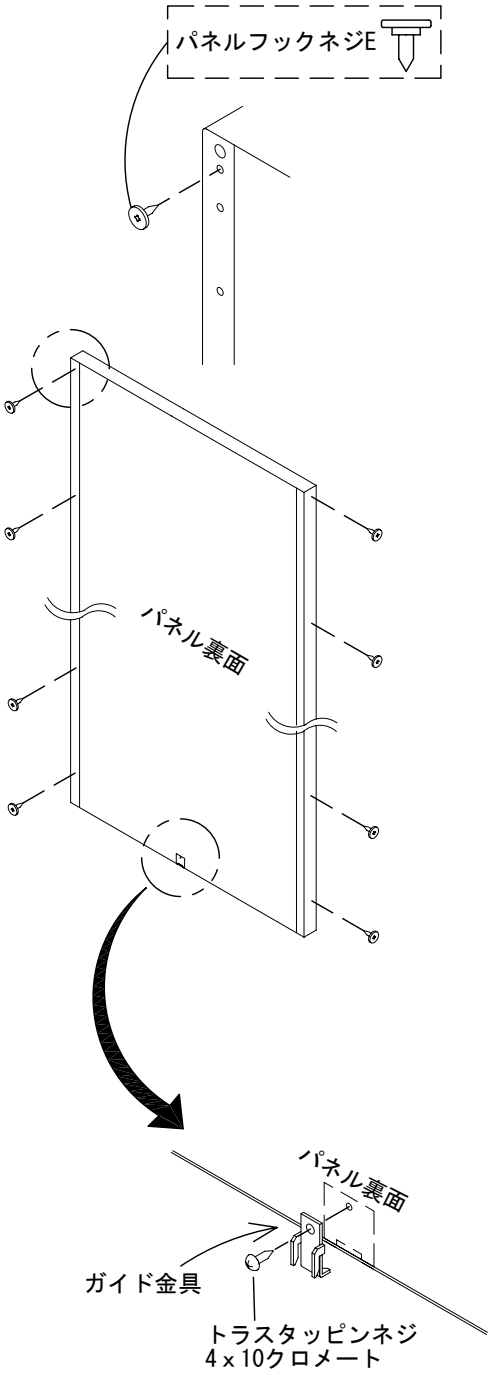
※チャンネルやアングルを図と逆側に取付ける場合は、上下をひっくり返して取付けてください。

(4) パネルフック、ガイドピン、中横桟の取り付け

[周辺パネルの場合]

・下図のようにパネルフックネジ、ガイド金具を取り付けてください。

※取付位置は[金具取付位置詳細図]を参照



[ドア、マド周辺パネルの場合]

・下図のようにパネルフックネジ、中横桟、ガイドピンを取り付けてください。

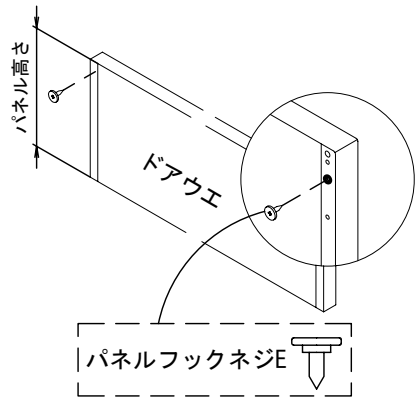
※ドア横パネル部で中横桟の上部にパネルフックネジを
取り付ける場合は、ワッシャーを間に挟み取り付けてください。

※中横桟をパネルに固定する際はトラスタッピンネジを使用してください。

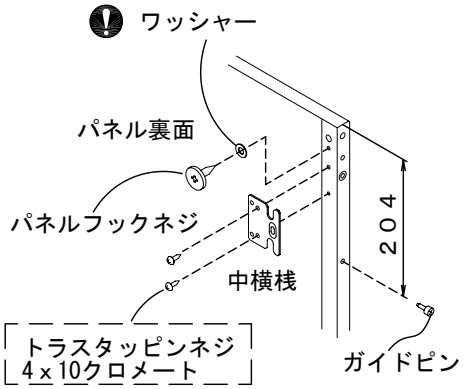
※コーナーアングルに中横桟を取り付ける際はトラスタッピンネジ(4×10　クロメート)を
使用してください。

※取付位置は[金具取付位置詳細図]を参照してください。

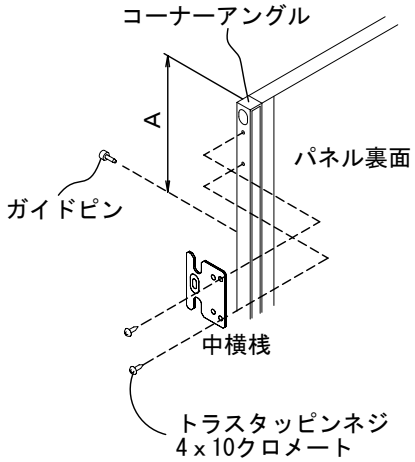
〈ドア上パネル部〉



〈ドア横パネル部〉



〈ドア横コーナーアングル部〉

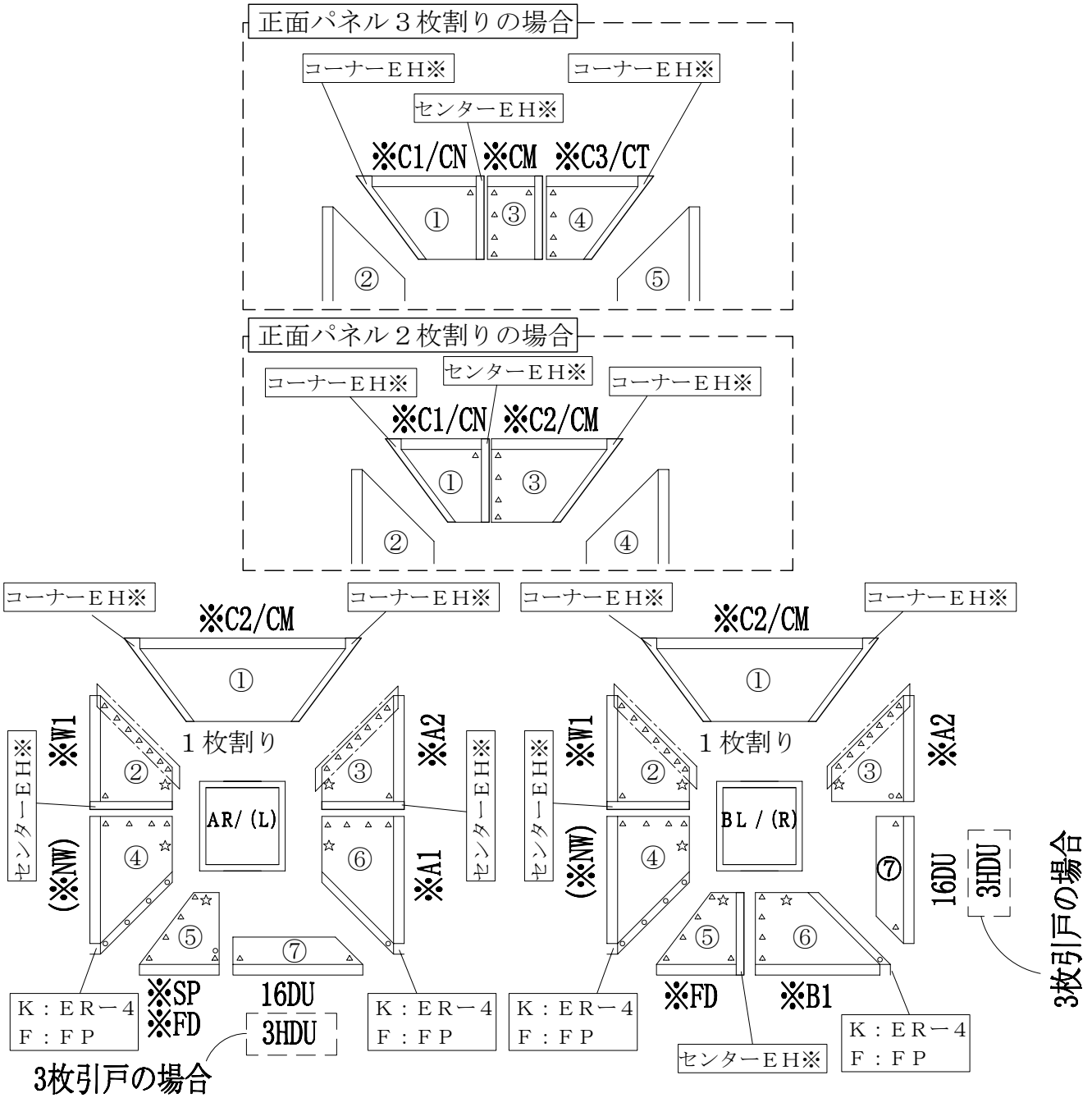


ドア上パネル高さ	A寸法
224	204
84	61
177	157

〈金具、アングル取付位置図及び 組付け順序〉

○：中横桟Ｅ
△：パネルフックネジＥ
☆：ガイド金具

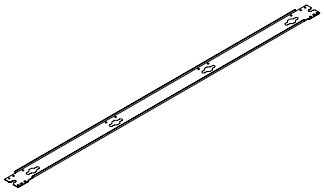
注）．（ ）タイプの場合は図と対称です。
注）．◯ 内の数字はパネルの組付順序を示します。
注）．—·—·— 線で囲まれたパネルフックネジはパネル側面に取り付けます。
注）．正面パネルは勝手により並びは変わりません。

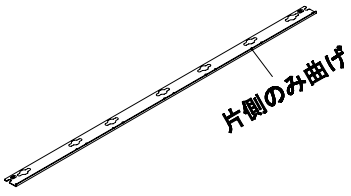


［チャンネル判別図］

センターチャンネルEHK：長さ2130
センターチャンネルEHF：長さ1990

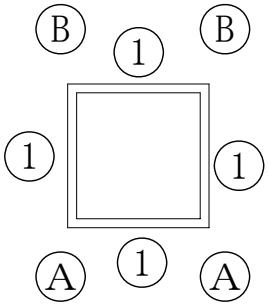
コーナーチャンネルEHK：長さ2090
コーナーチャンネルEHF：長さ1950

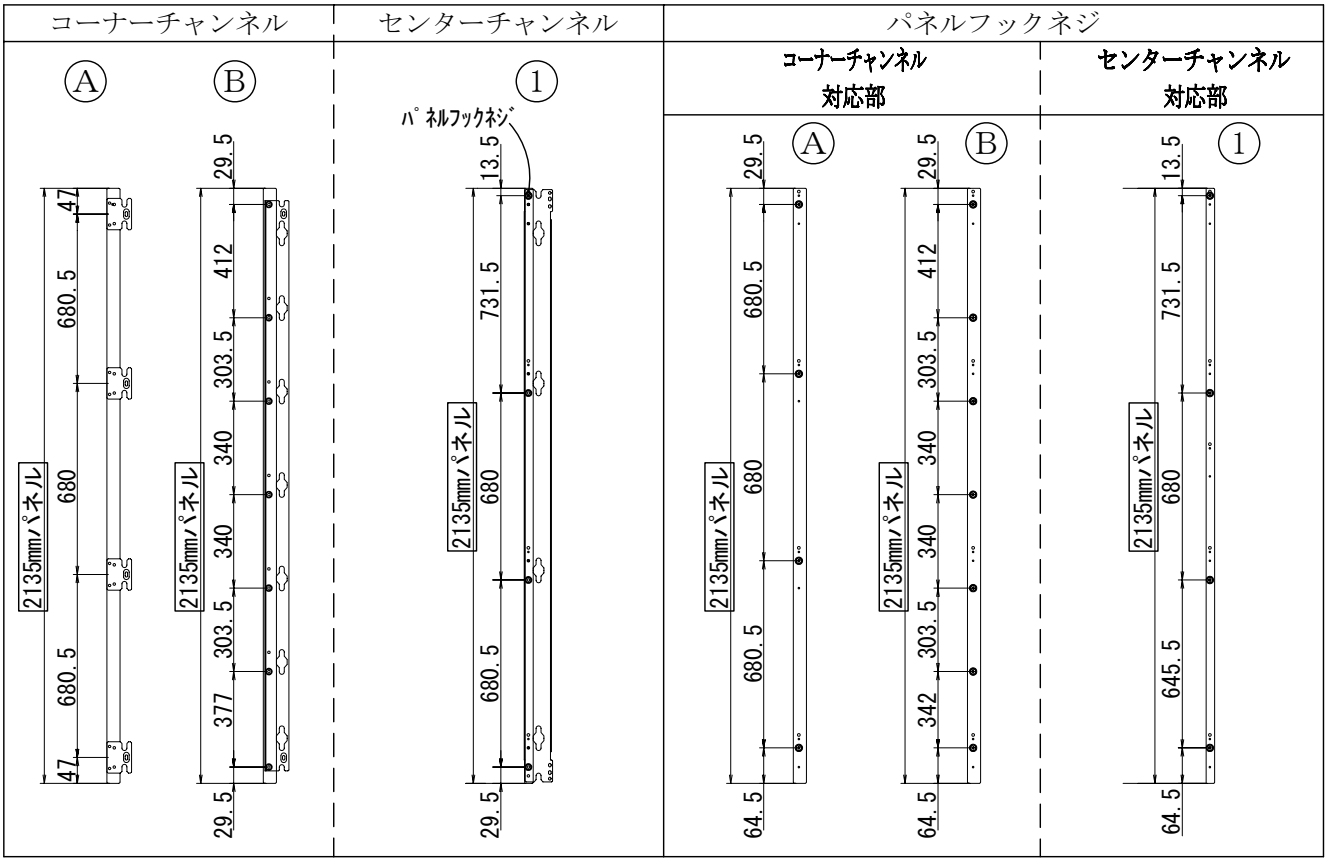




＜Ｋタイプ仕様金具取り付け位置詳細図＞

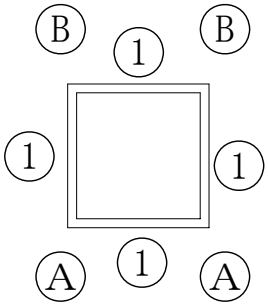
パネルの設置位置、パネル高さ等を確認し、チャンネルおよびパネルフックネジを固定してください。
チャンネルおよびパネルフックネジは、パネル側面に付く場合があり、同寸法位置につきます。
側面に付く場合は、Ａ部（下記指示）と、Ｂ部の1箇所です。

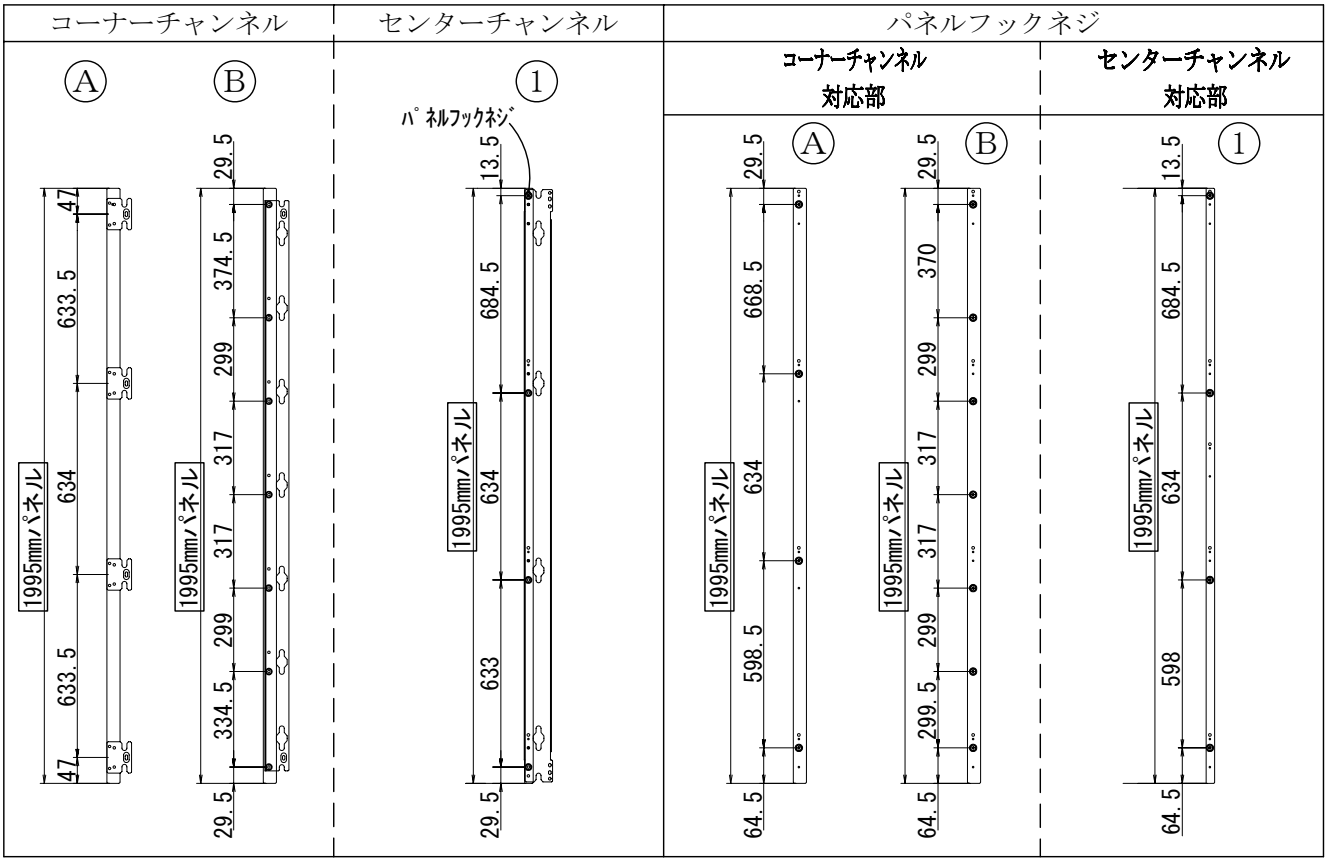




＜Ｆタイプ仕様金具取り付け位置詳細図＞

パネルの設置位置、パネル高さ等を確認し、チャンネルおよびパネルフックネジを固定してください。
チャンネルおよびパネルフックネジは、パネル側面に付く場合があり、同寸法位置につきます。
側面に付く場合は、Ａ部（下記指示）と、Ｂ部の1箇所です。

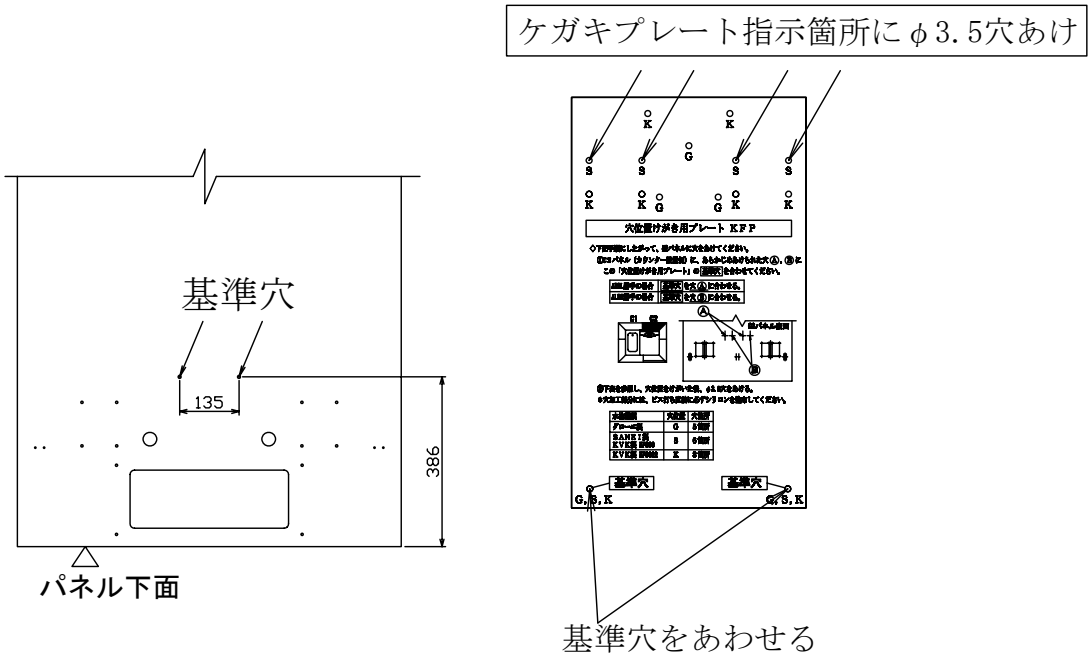




(5)タワー水栓取付用穴加工（カウンター有り仕様の場合のみ）

・壁パネルにあらかじめあけられた穴に穴位置けがき用プレートKFPの基準穴を合わせ、穴位置（4ヶ所または3ヶ所）をけがいてください。

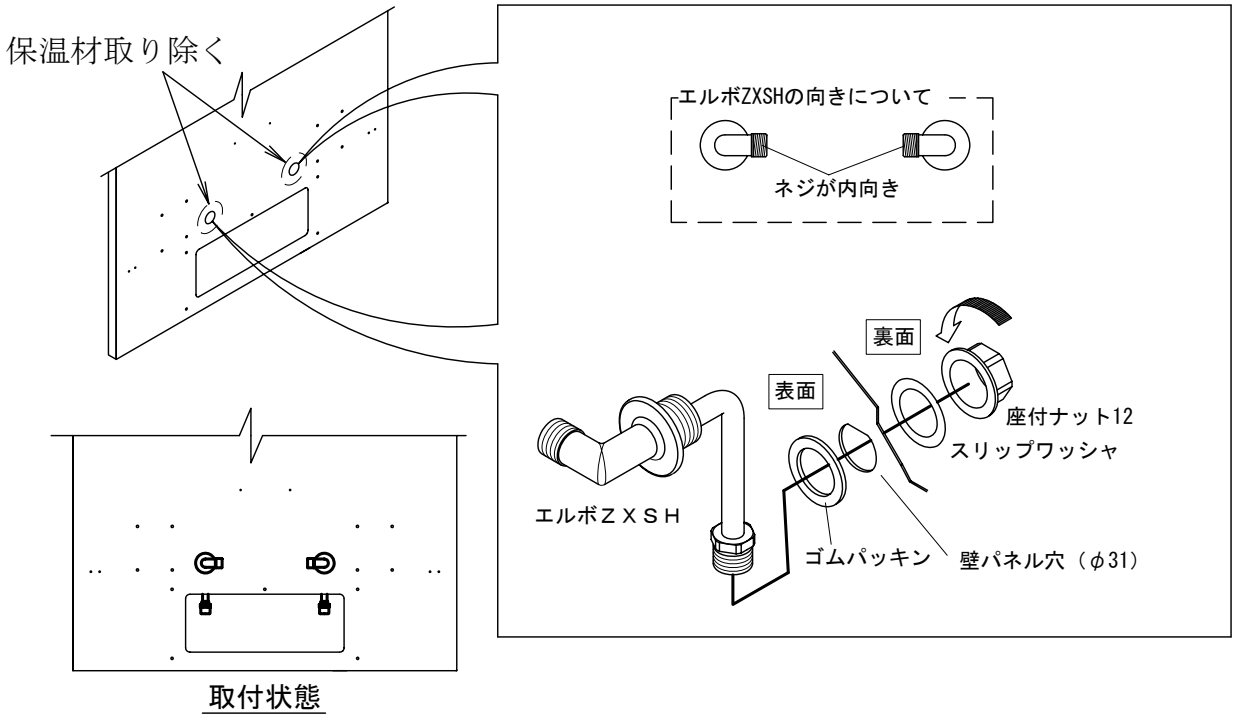
・けがいた穴位置にφ3.5穴をあけてください。



(6)エルボの取付（カウンター有り仕様の場合のみ）

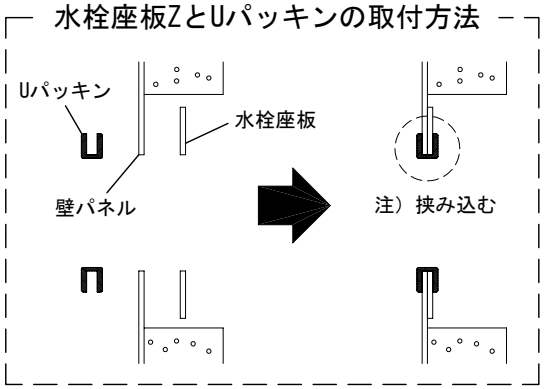
・壁パネルにあらかじめあけられたφ31穴の裏面の保温材を取り除いてください。

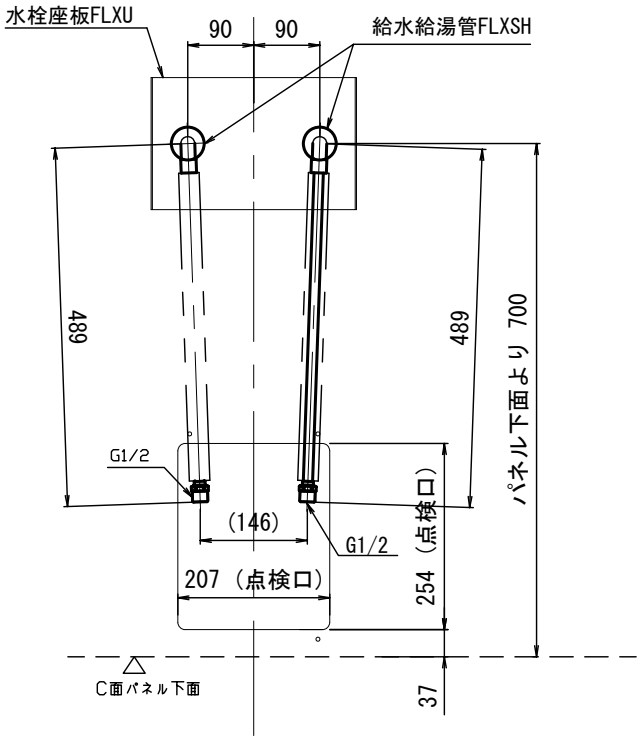
・下図のようにエルボを取り付けてください。

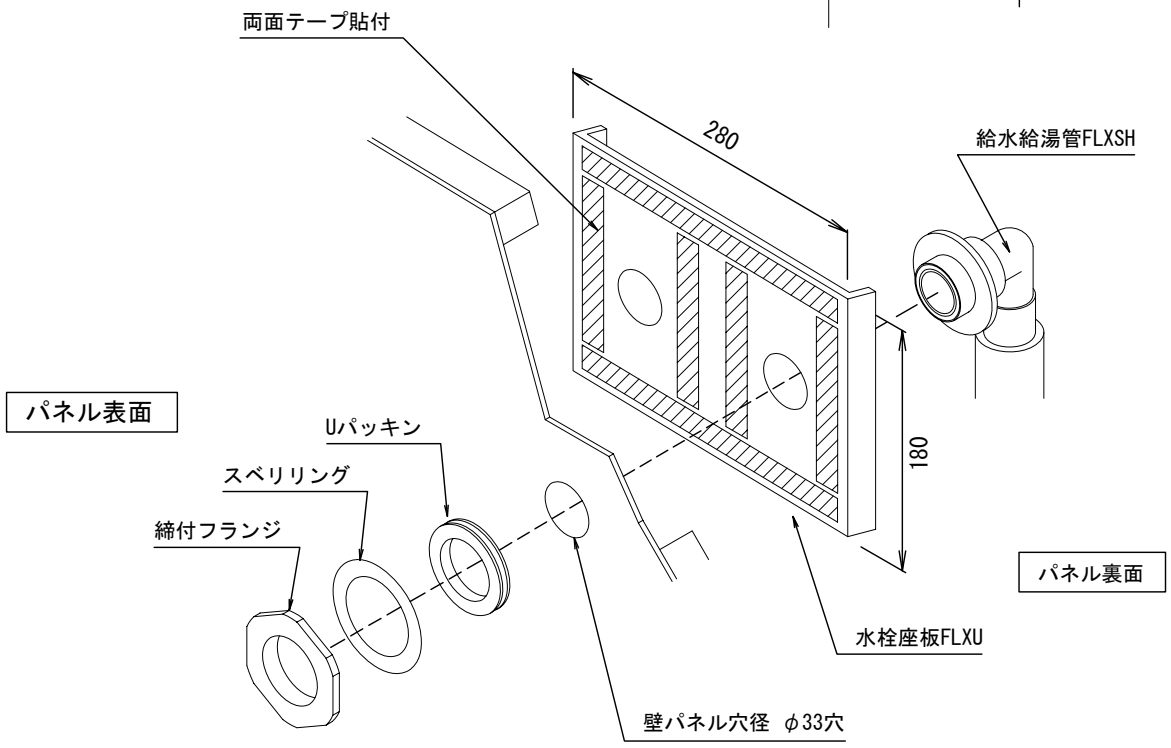


(7)壁付け水栓固定部材の取付(カウンター無し仕様の場合のみ)

1. 壁パネルに φ33㎜の穴をあけてください。
2. 穴を中心に、壁パネル裏面の保温材を、水栓座板分取り除いてください。
3. 水栓座板に両面テープを貼った後、壁パネル裏面より貼り付け固定してください。
4. 壁パネルと 水栓座板を挟むように、Uパッキンを取付けてください。
5. 給水給湯管を壁パネル裏面より差し込み、壁パネル表面よりスベリリングを介して締付フランジで締めこんでください。







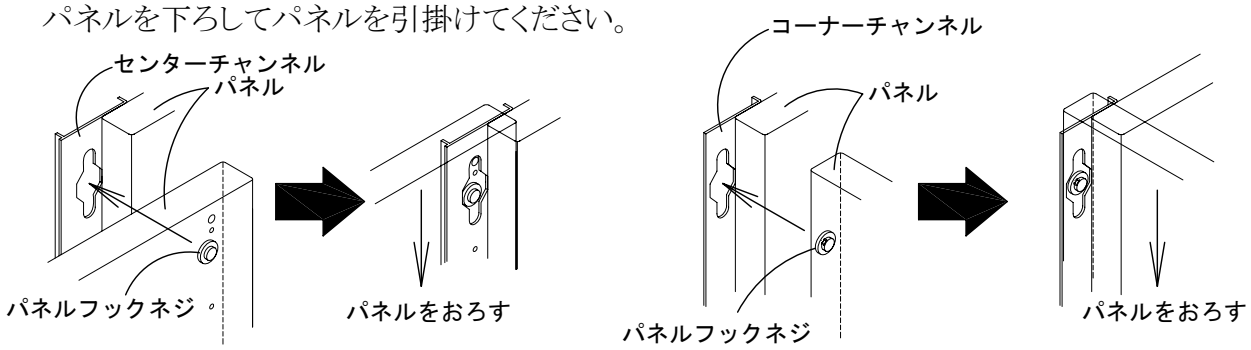
14. 壁パネルの組付

〇パネル組み付け時に必要な部材

Sタイト薄皿ネジ	パネルパッキンE	パネル固定金具EP

〇パネルフックネジの組み付け部断面図

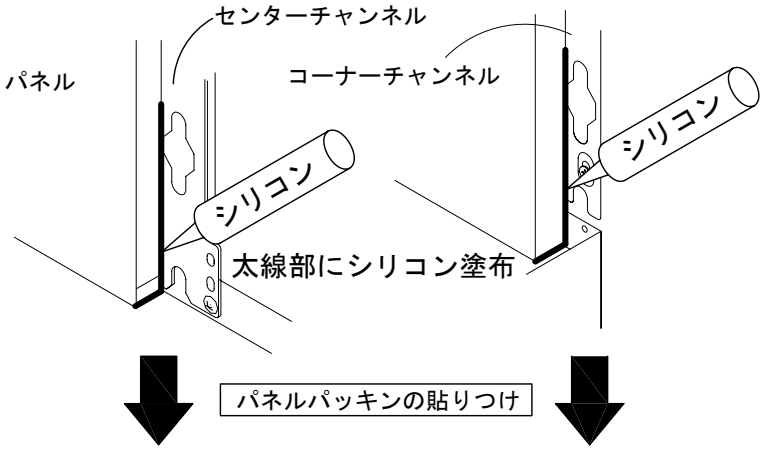
・パネルに取り付けたパネルフックネジ全てをチャンネル切り欠き部に挿入し、
パネルを下ろしてパネルを引掛けてください。



〇パネル組み付け時のシリコン塗布方法および注意点

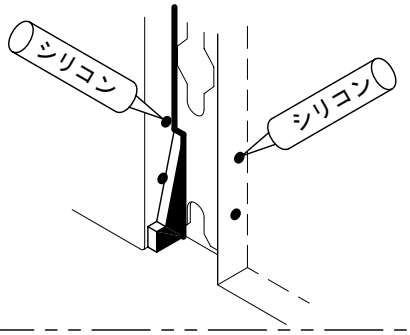
・パネル設置後に太線部に各ページの指定色シリコンを塗布してください。
・パネルパッキン貼付け後にパッキン上部から全体に指定色のシリコンを塗布してください。
・シリコン塗布後は指でならしてください。

パッキン貼付部にシリコンが
付かないように注意してください。

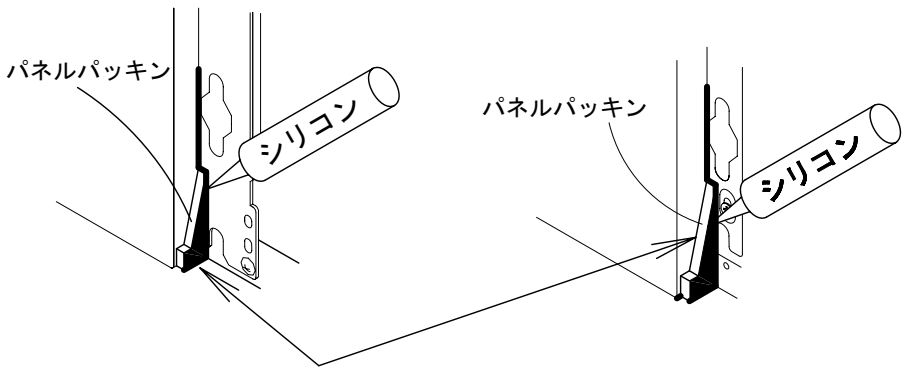


パッキン貼付け後

シリコン塗布範囲で、パネルの側面に穴がある場合は、穴にシリコンを塗布してください。
パネルパッキンを貼るため、穴部以外はシリコンがつかないようにしてください。



パネルパッキンの貼りつけ

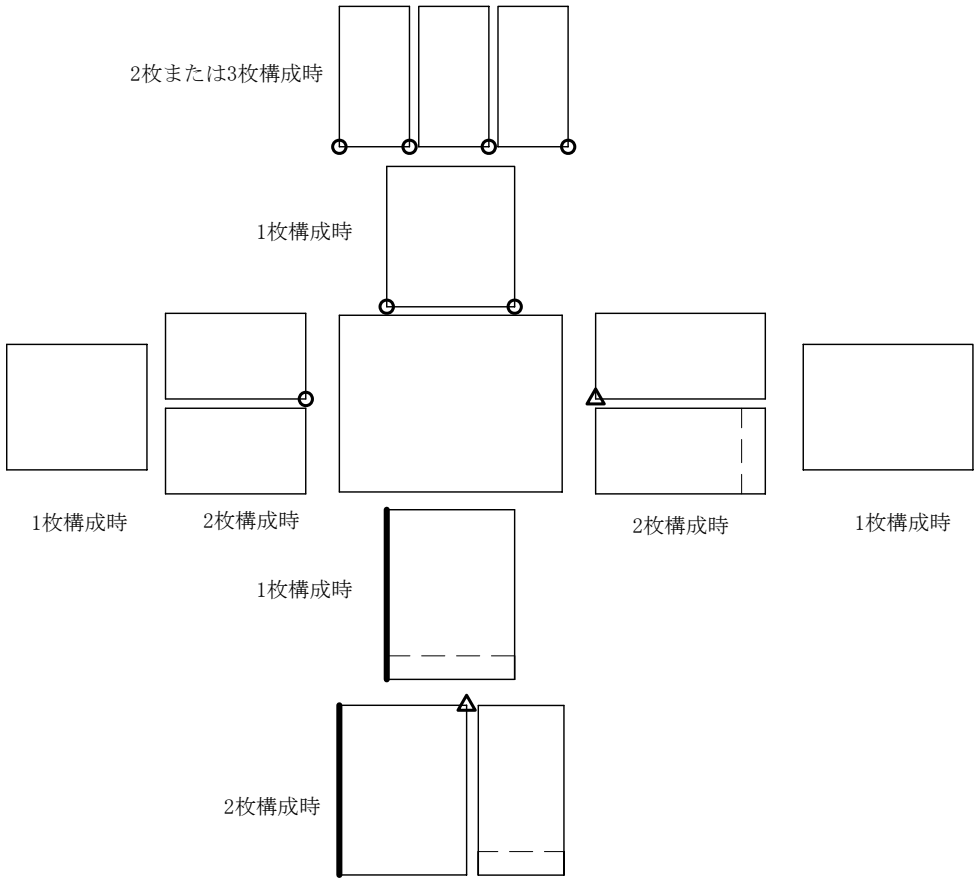


パネルパッキンの側面全体にもシリコン塗布

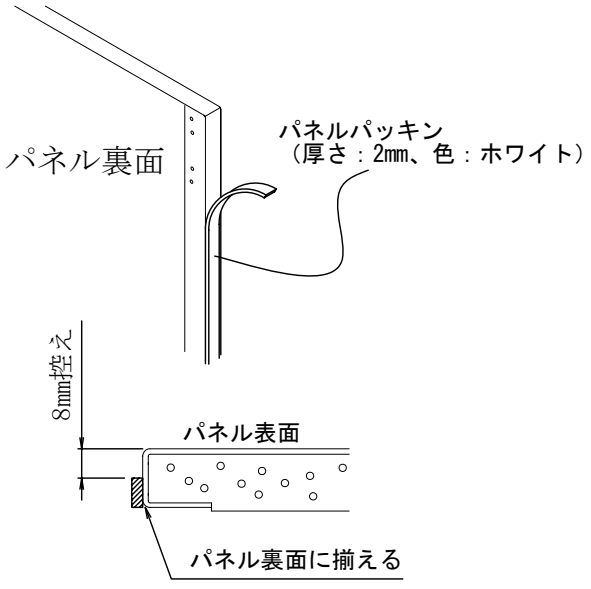
○壁打ち込み目地時のパネルパッキンの貼り付け箇所

・下図の太線部にパッキンを貼り付けてください。
注）図はARBLタイプを示します。ALBRタイプは対称です。

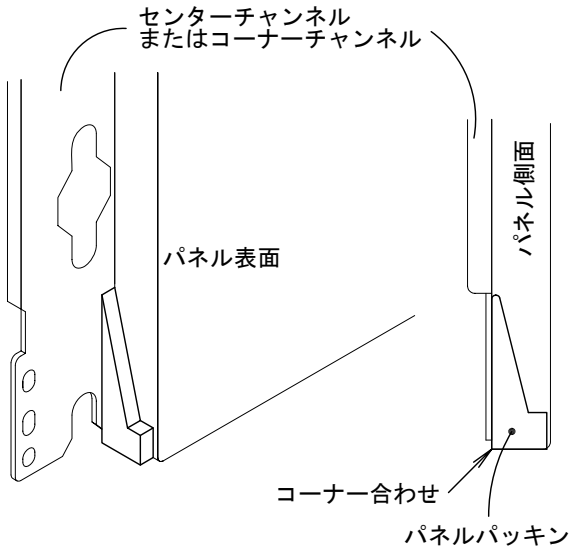
○：必ず貼り付けてください。
△：隣にパネルが設置される場合のみ貼り付けてください。



[太線の部分]

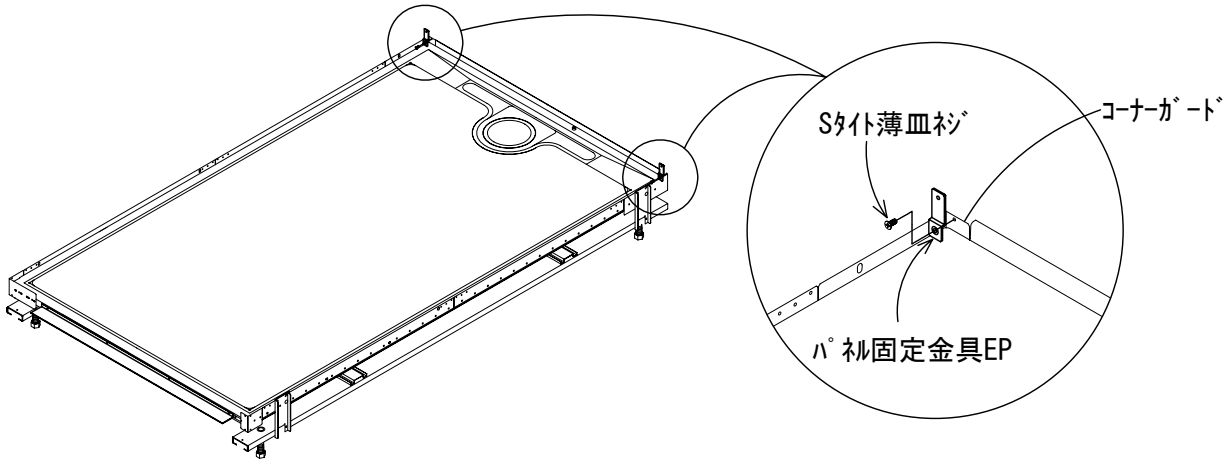


[○および△の部分]

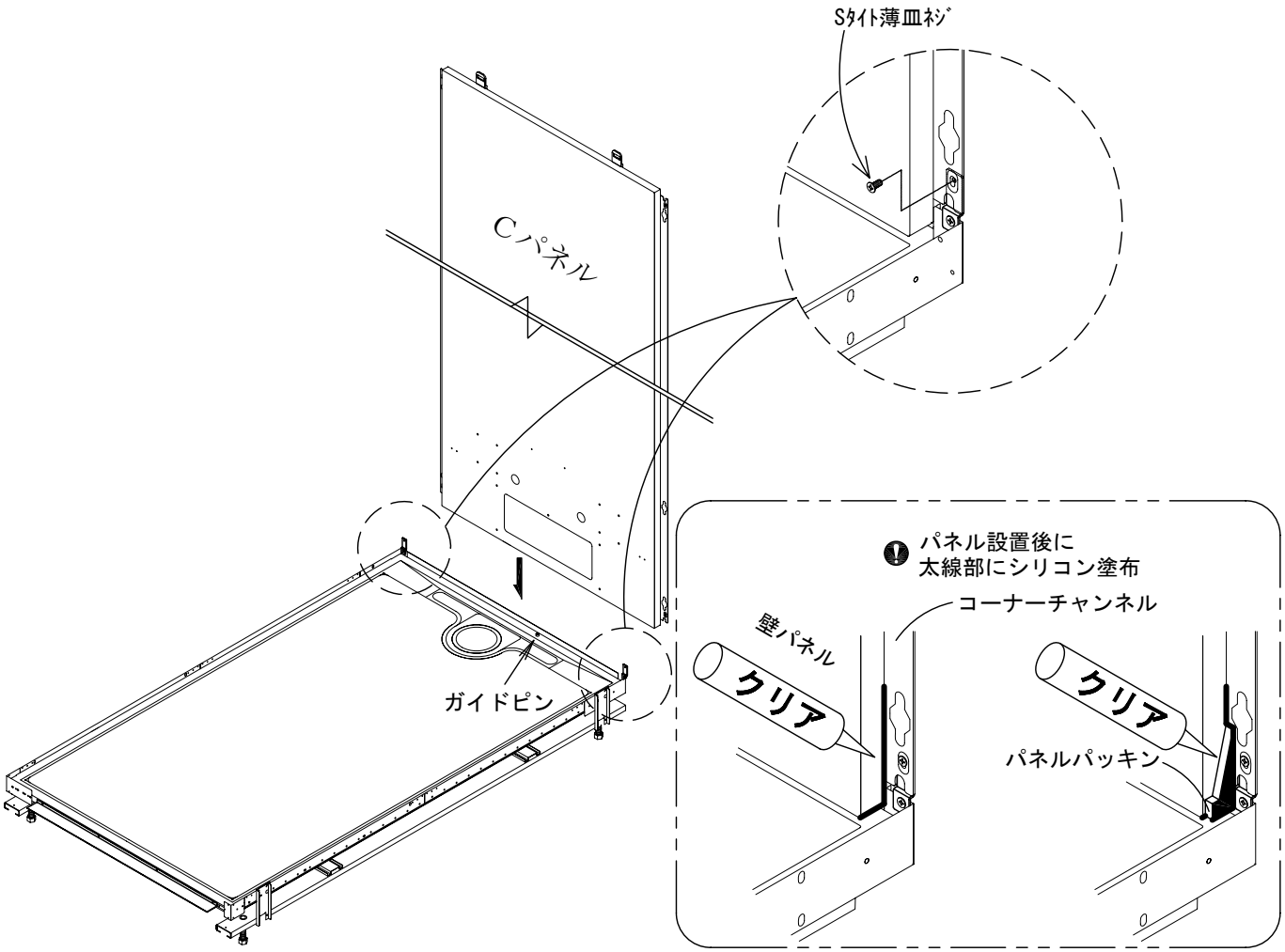


(2) Cパネルの組付

・正面の2ヶ所の角部にあるコーナーガードにパネル固定金具をSタイト薄皿ネジを使用して
　下図のように固定してください。



・Cパネルを洗場フランジの立ち上がり部に沿わせるようにして、設置してください。
　その時にガイドピンがパネル底面の穴に挿入されるようにしてください。
・コーナー下部はコーナーチャンネルをパネル固定金具を用いてコーナーガードに固定してください。
・パネルの固定後に、指定箇所のシリコン塗布およびパネルパッキンの貼り付けを行ってください。

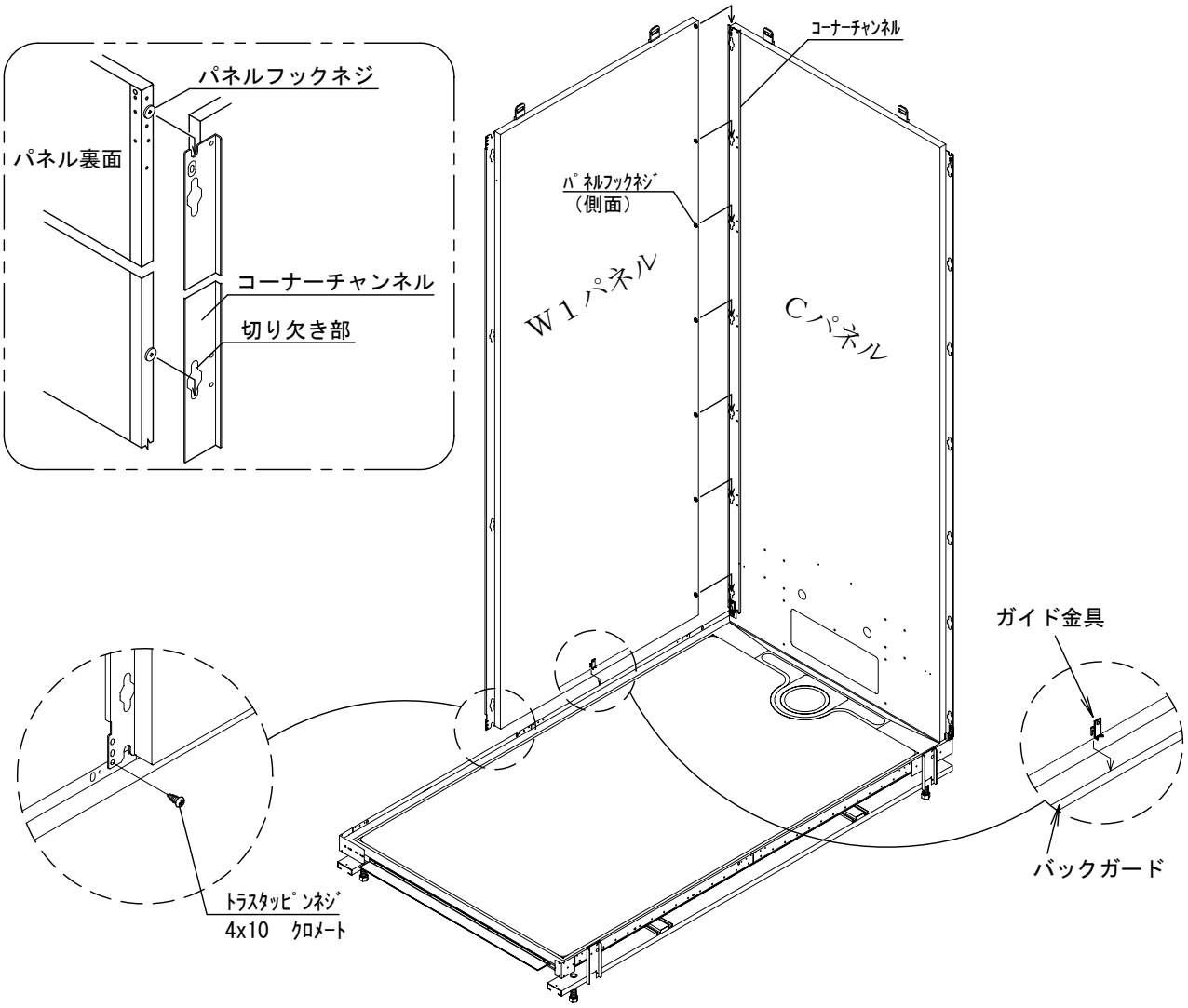


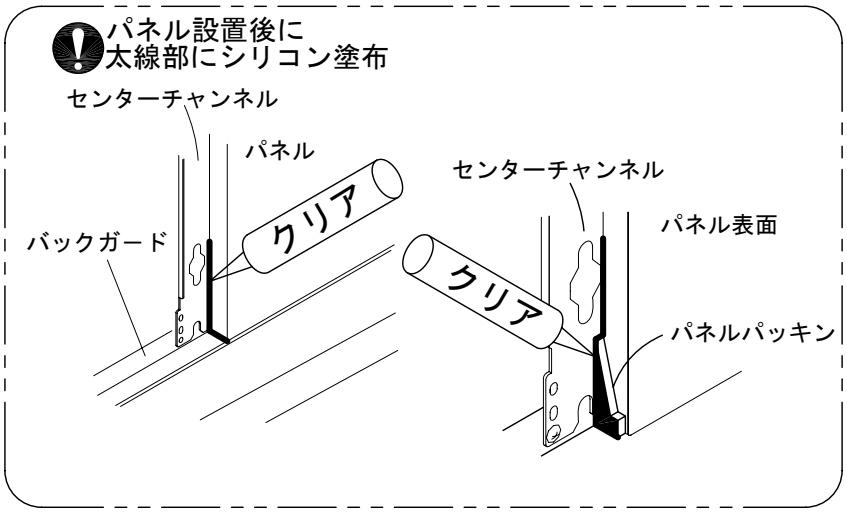
(2)W1パネルの組付

・W1パネル側面のフックネジがCパネルに組み付けたコーナーチャンネルの切り欠き部のすべてに引っかかるように、またガイド金具がバックガードに引っかかるようにパネルをおろしてください。

・センターチャンネル下部をバックガードに固定してください。

> 一度パネルを壁のせ面におき、少し持ち上げてパネルを入れてください。



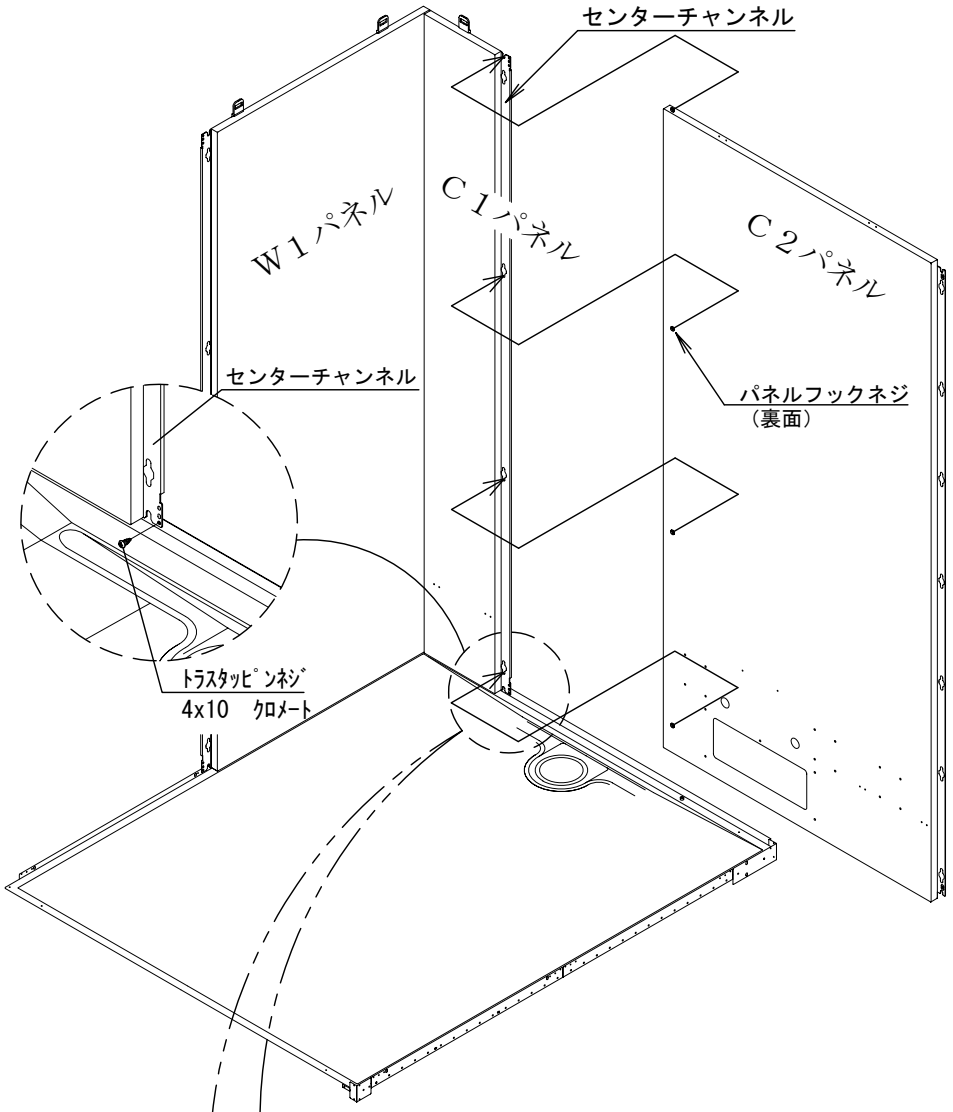


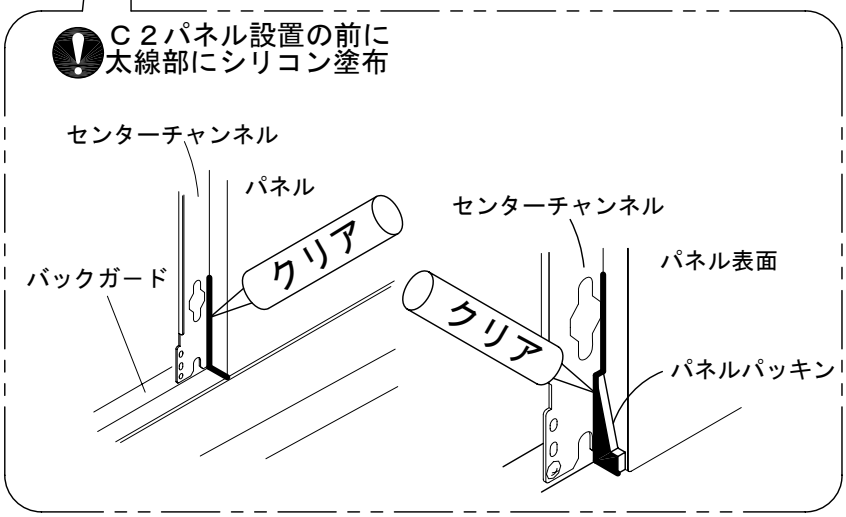
(3) C2パネルの組付(パネル構成が2枚割りおよび3枚割りの場合のみ)

・C1パネルに取り付けたセンターチャンネル下部を下図のように、洗場立ち上がり面に直接ビス固定してください。

・C1パネルに取り付けたセンターチャンネルの切り欠き部のすべてにC2パネル裏面に取り付けたフックネジが引っかかるように、また洗場フランジに取り付けたガイドピンに挿入されるようにパネルを下ろしてください。

一度パネルを壁のせ面におき、少し持ち上げてパネルを入れてください。



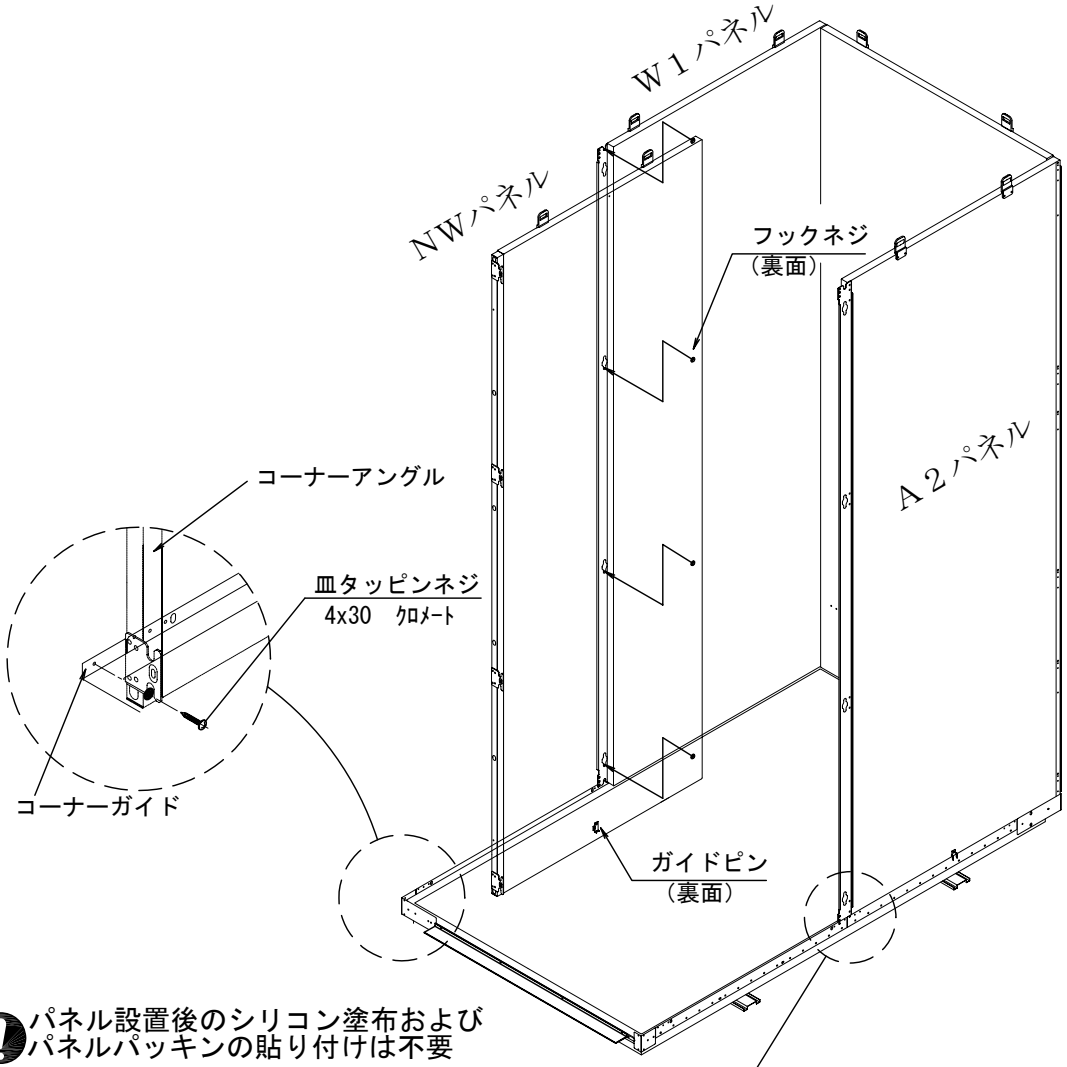


(4) NWパネルの組付

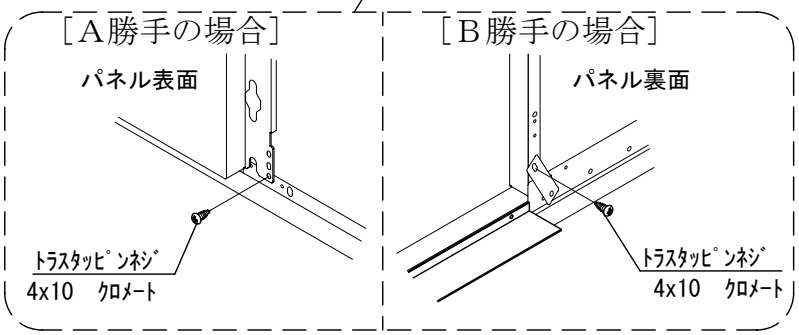
※反対側のA2パネルも同様に設置した後にNWパネルを設置してください。

・A1パネルも同様に裏面のフックネジがセンターチャンネルの切り欠き部にすべて
引っかかるように、またガイド金具がバックガードに引っかかるようにパネルを下ろしてください。

・NWパネル側面に取り付けたコーナーアングルを指定のネジでコーナーガードに
固定してください。



パネル設置後のシリコン塗布および
パネルパッキンの貼り付けは不要

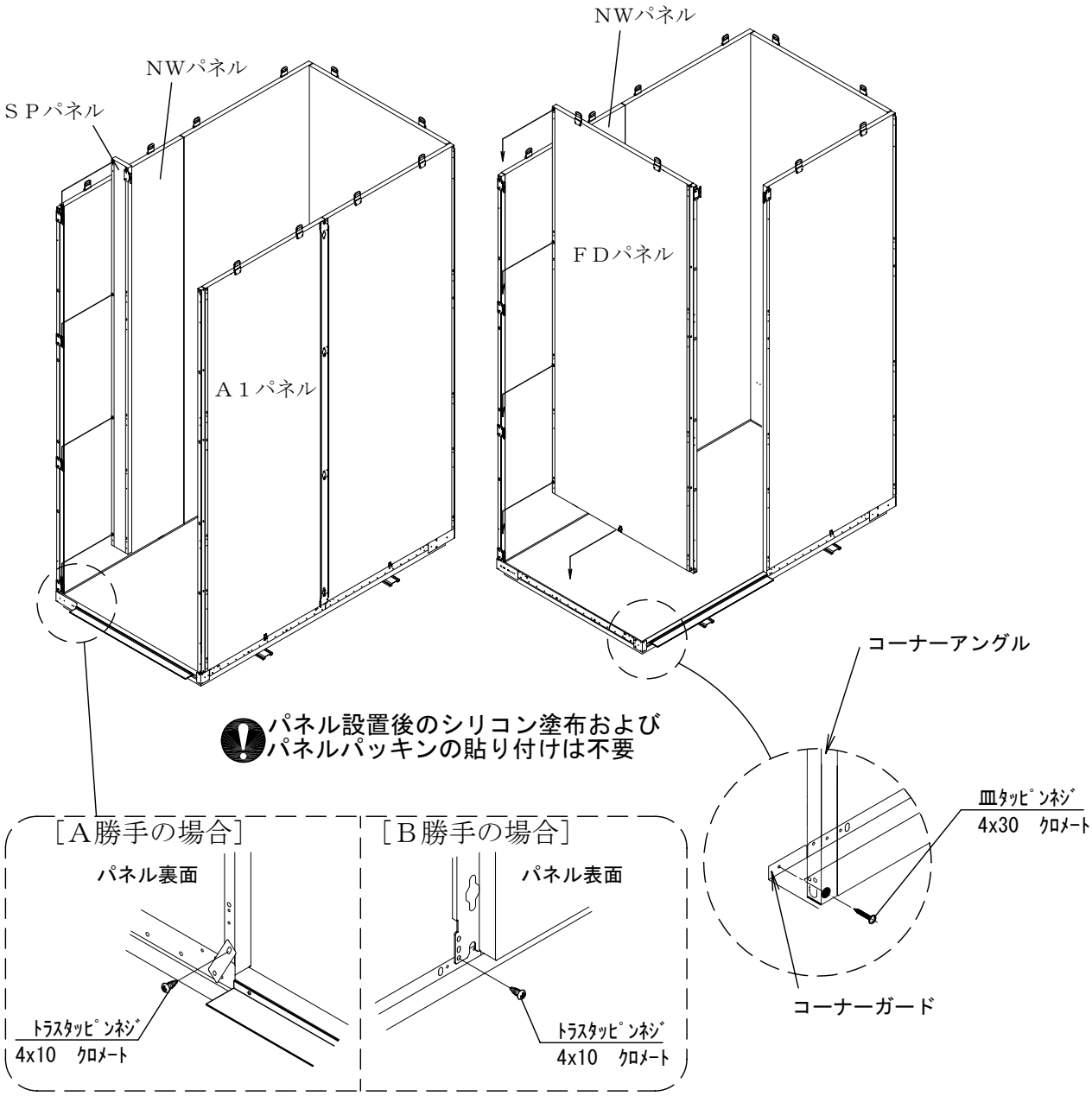


(5) SPパネル/FDパネルの組付

※A勝手の場合は反対側のA1パネルも同様に設置した後にSPパネルを設置してください。

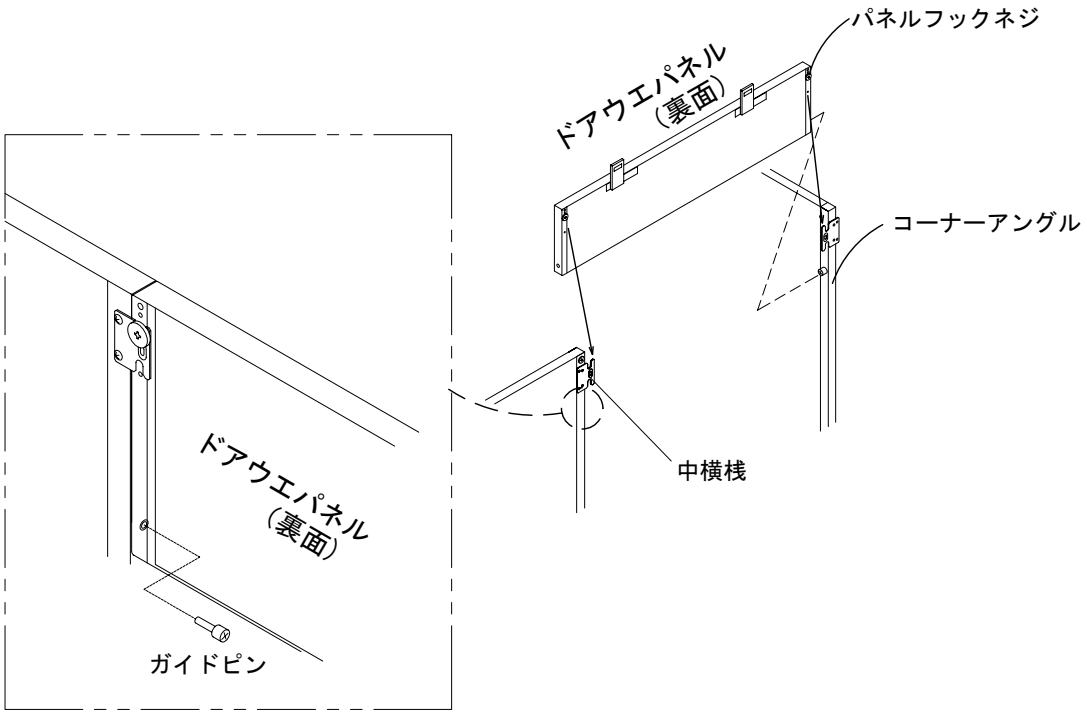
・SPパネルおよびFDパネルの裏面のフックネジがコーナーアングルに取り付けた中横桟に
すべて引っかかるように、またガイド金具がある場合はバックガードに
引っかかるようにパネルを下ろしてください。

・下図を参照し、パネルを固定してください。



(6) ドアウエパネル（DU）の組付け

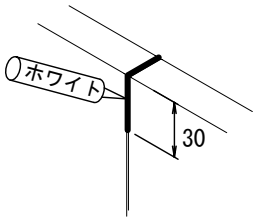
・ドア横のパネルにガイドピンを取り付けてください。
・DUパネルのフックネジを両サイドのパネルに取り付いた中横桟に
引っかかるようにパネルを降ろしてください。
・両サイドのパネルの中横桟にフックネジを引っかけながら、ドアウエパネル側面の穴に
ガイドピンをはめ込んでください。
・ドアウエパネル設置後、パネルのガイドピンをドアウエパネル裏面から固定してください。



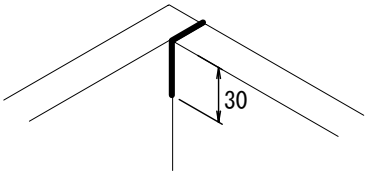
(8) 天井目地材の貼付け

・下図を参照し、パネルとパネルの接合部上部にシリコンを塗布してください。
・天井目地材の裏紙をはがし、壁パネル上面に「天井目地材」を貼り付けてください。
・天井目地材はユニット内寸分の長さを貼り付けてください。
・天井目地材の貼り付け後、コーナー部にシリコン（ホワイト色）を塗布してください。

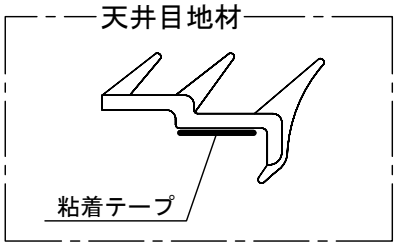
センター目地部



コーナー目地部

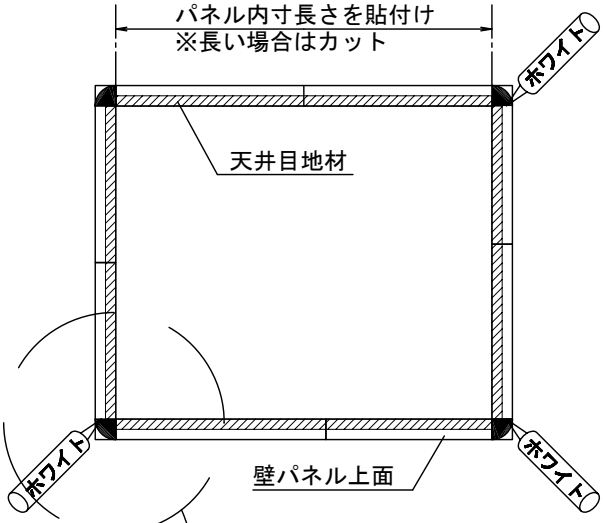


パネル上面が汚れている場合はキレイに清掃し、
粘着テープが接着するようにしてください。



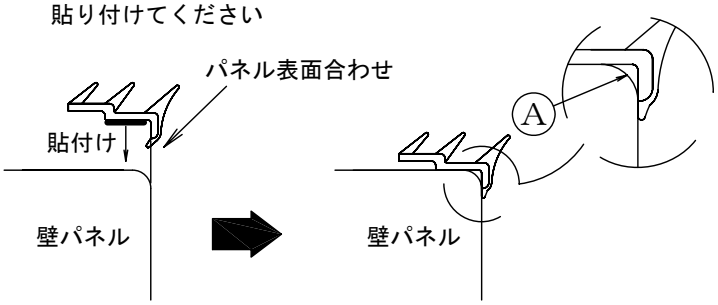
パネル上面

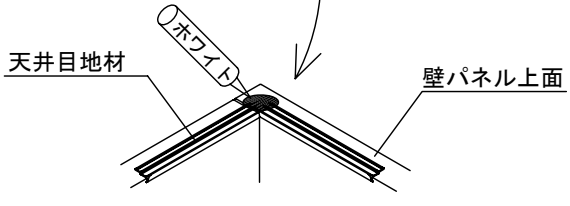
下図の範囲で目地材を貼付け、
指示箇所にシリコンを塗布してください。



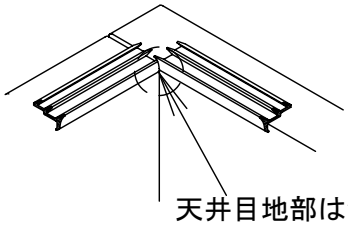
パネル側面

壁パネル角Ⓐに天井目地材のコーナー部を
合わせるように壁パネル上面に「天井目地材」を
貼り付けてください





シリコン塗布が不十分の場合は、
継ぎ目からの漏水の原因になります。

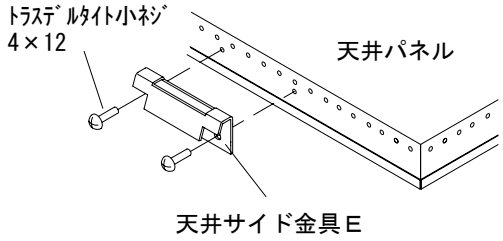


天井目地部は角合わせ

12-3. 天井・ドアの設置手順

1. 天井の組付準備

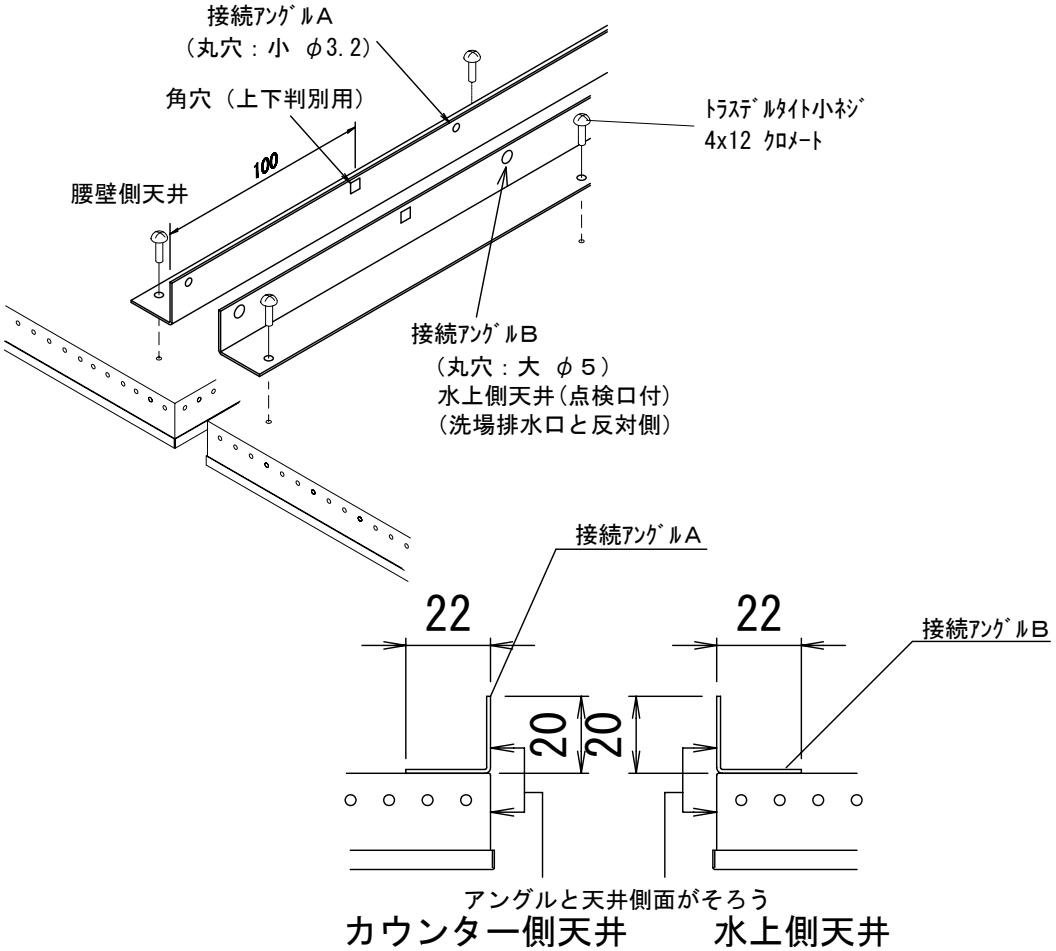
・小物箱内の天井サイド金具Eを、天井側面部の取付穴に
取付けてください。
・取付位置については、天井表面に貼り付いている指示図をご覧ください。



2. 天井接続アングルの取付

ユニット間口寸法W≧1074の場合のみ

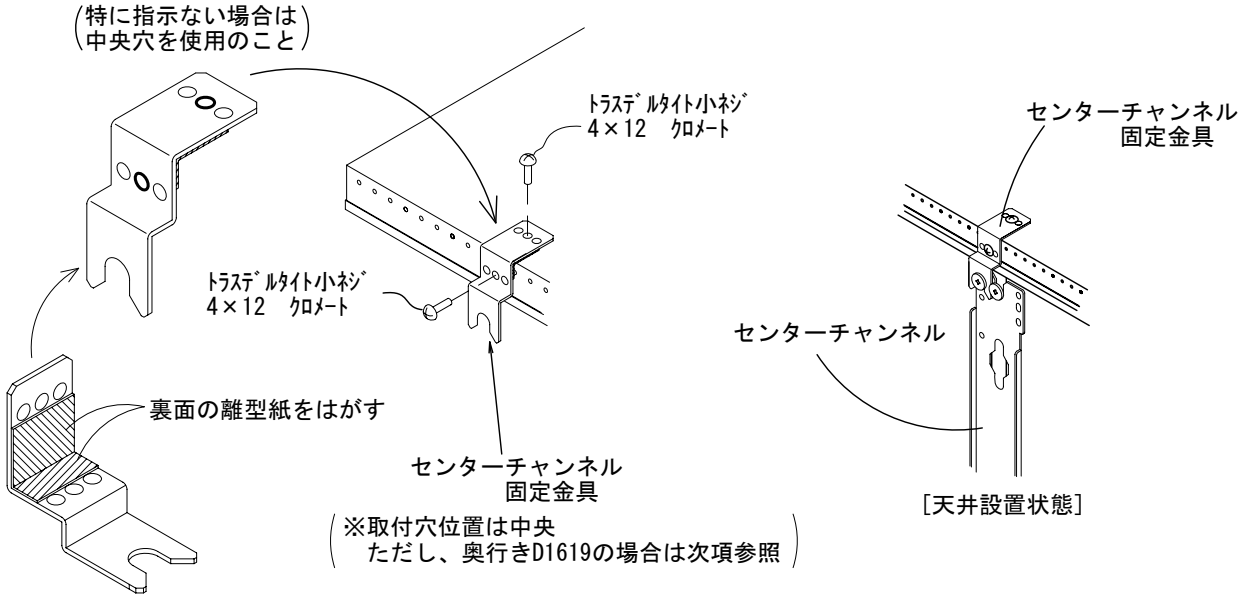
・天井接続アングルを、天井裏面の長辺側の穴に対して、下図のように取付けてください。
・天井接続アングルには上下の判別用の角穴が端から100mmの箇所にあいています。
角穴があいている方が、下図のように向かいあうように取り付けてください。
・点検口蓋がある天井側の天井接続アングルはφ5の穴があいています。(反対側はφ3．2穴)
※天井によっては、2つの長辺の両方ともに穴が開いているものがありますが、その場合は、
天井サイド金具が取付いていない方に取付けてください。



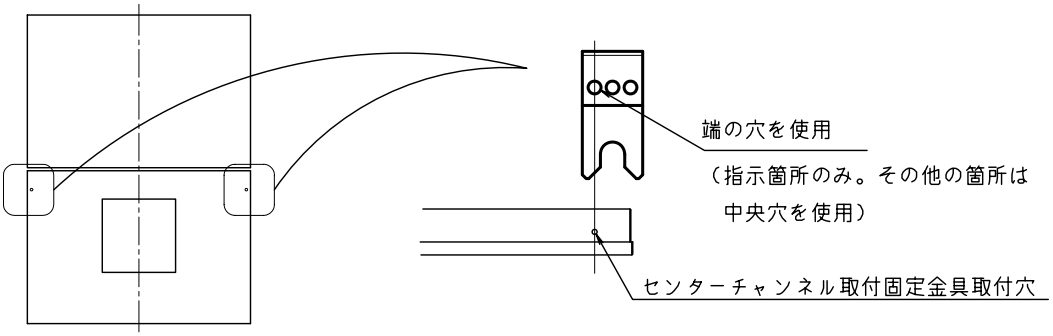
3. センターチャンネル固定金具の取付

・センターチャンネル固定金具を下記に示す位置に指定のネジで取り付けてください。

※全高カットを行う場合、取付は不要です。
※梁欠きを行う場合、センターチャンネルをカットした面の取付は不要です。



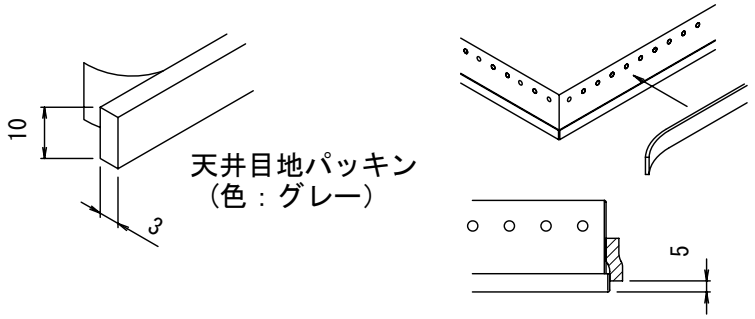
ユニット間口W≧1074、ユニット奥行きD＝1619の場合のみ

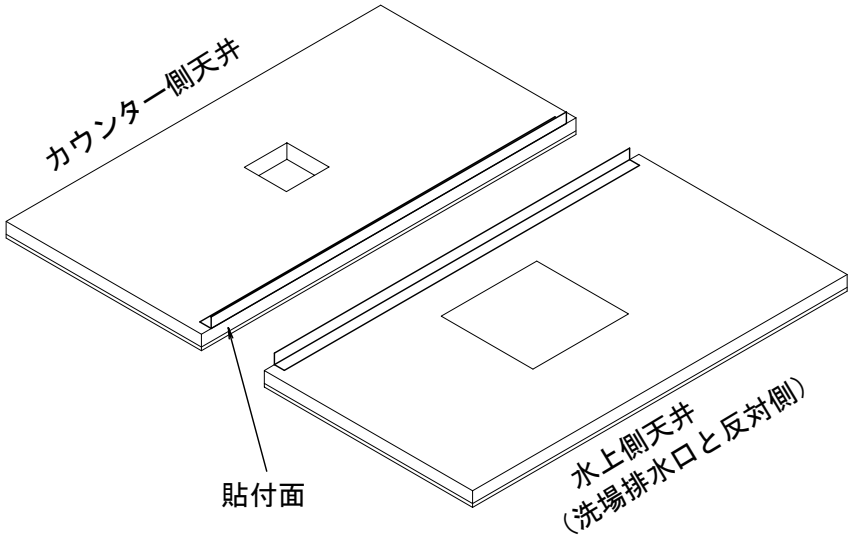


4. 天井目地パッキンの貼付

ユニット間口外寸W≧1074の場合のみ

・下図の要領で、天井パネル側面に「天井目地パッキン」を貼り付けてください。

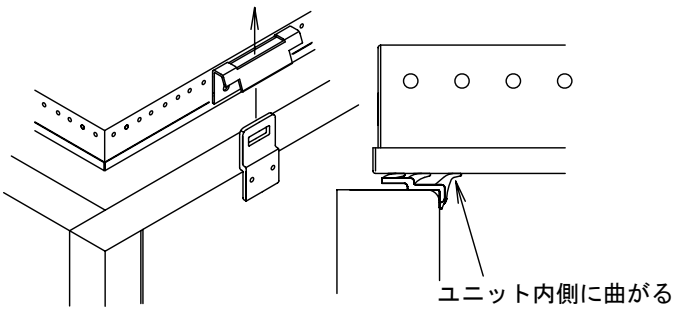




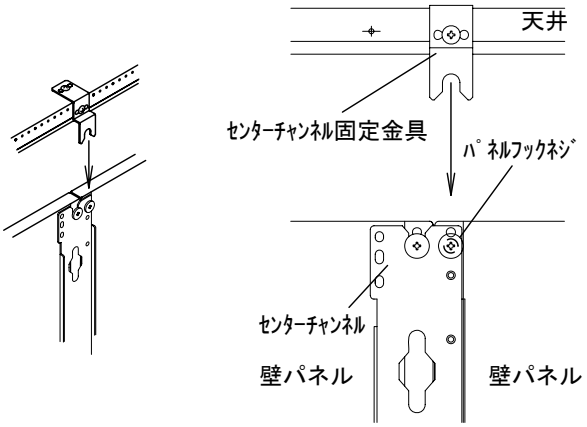
5. 天井の組付

◇ユニット間口外寸W＜1049･･･1枚構成
◇ユニット間口外寸W≧1074･･･2枚構成

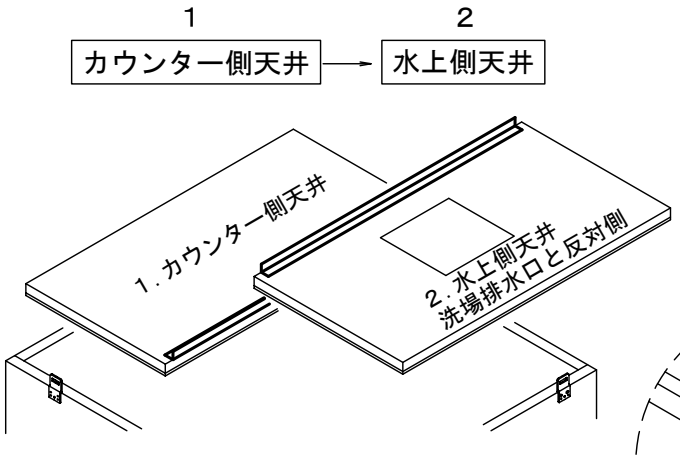
①壁パネルの固定板が天井サイド金具に入り込むように、また天井目地材が下図のようになるように天井パネルをのせてください。

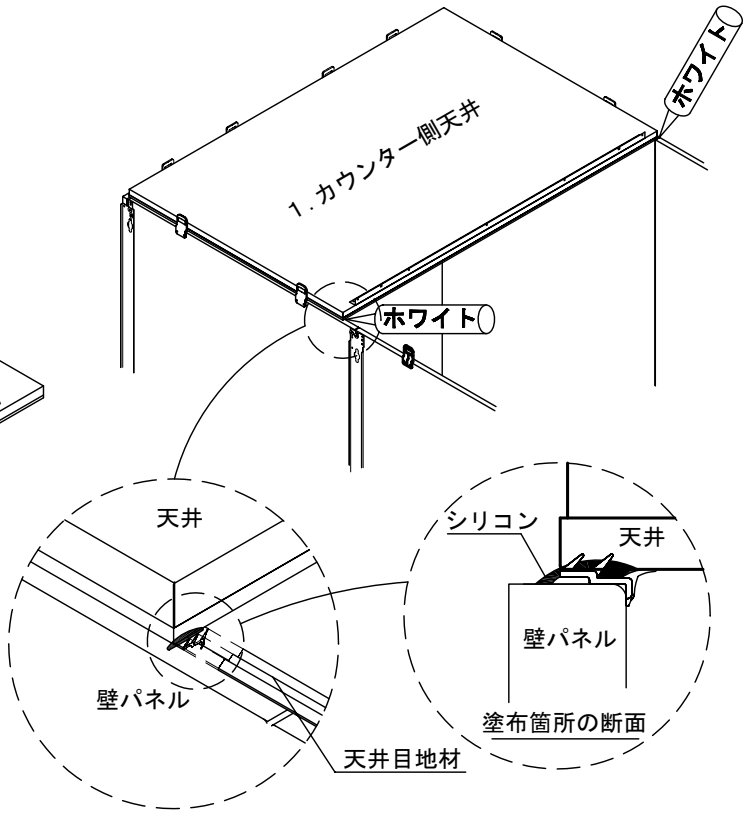


② ①の作業時にセンターチャンネル固定金具下部がセンターチャンネル上部のフックネジが入るようにのせてのください。

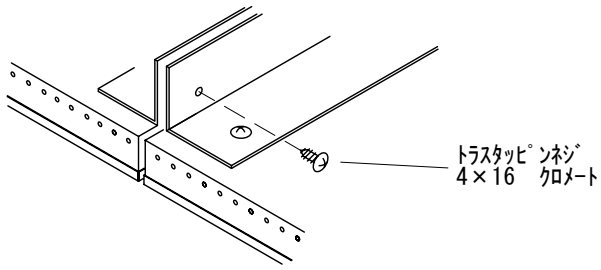


③天井は以下の順序で載せてください。（２枚構成時）
腰壁側天井を設置した段階で、水上側天井の端にシリコンを塗布してください。



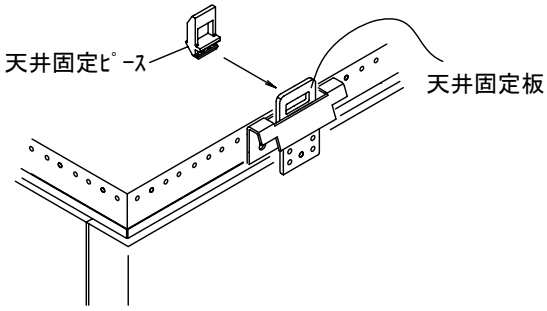


④接続アングル同士をタッピングネジで
接続してください。



接続後、天井の目地が浴室内から見て巾がほぼないことを確認してください。
ネジを締め付けた状態でも、目地巾が広い(1mmより大きい)場合は、目地部にシリコンを塗布してください。

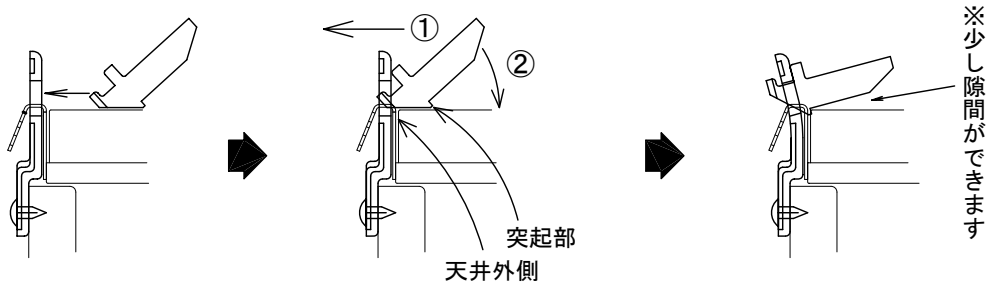
⑤点検口から、天井固定板の開口部に
固定ピースを差し込んでください。



固定ピース先端を
固定板に差し込む

①固定ピースの突起部を
天井外側まで押し込み
②固定ピースを倒す

固定完了



6. 換気扇の取付

・換気扇に同梱の取付説明書を参照してください。

7. ドアの取付

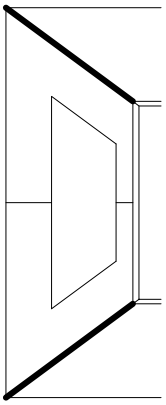
・ドアに設置説明書が同梱されていますので、よく読んで正しく取付けてください。

8. 打ち込み目地の組み付け

8-1. 壁パネルの打ち込み目地範囲

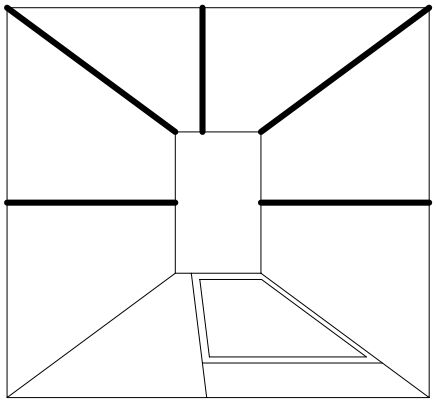
・下図に示す太線部に指定色の目地を打ち込んでください。

目地打ち込み範囲

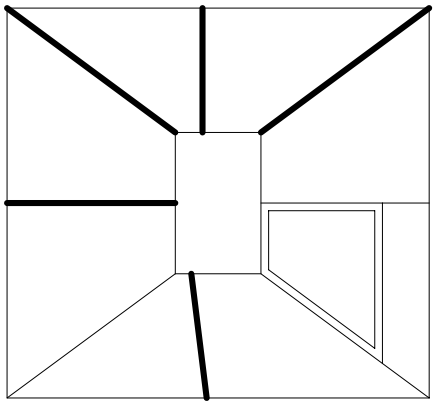


中抜き開口

ＡＲ／（ＡＬ）



ＢＬ／（ＢＲ）

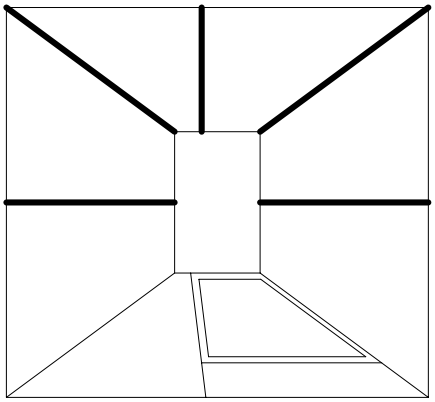


8-2. 壁パネルの打ち込み目地色

線種と目地色

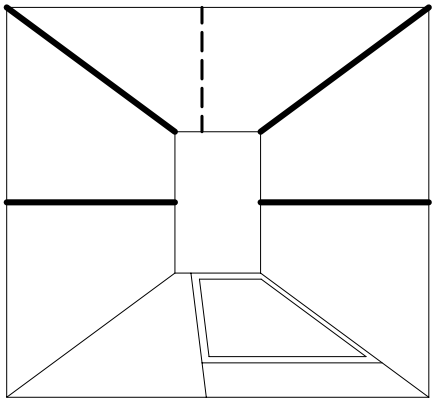
——— : 白
— — — : クリアorブラック

パネルベース色がホワイト



パネルベース色がホワイト以外

正面パネルが濃色パネル、ロッシュパネルの場合



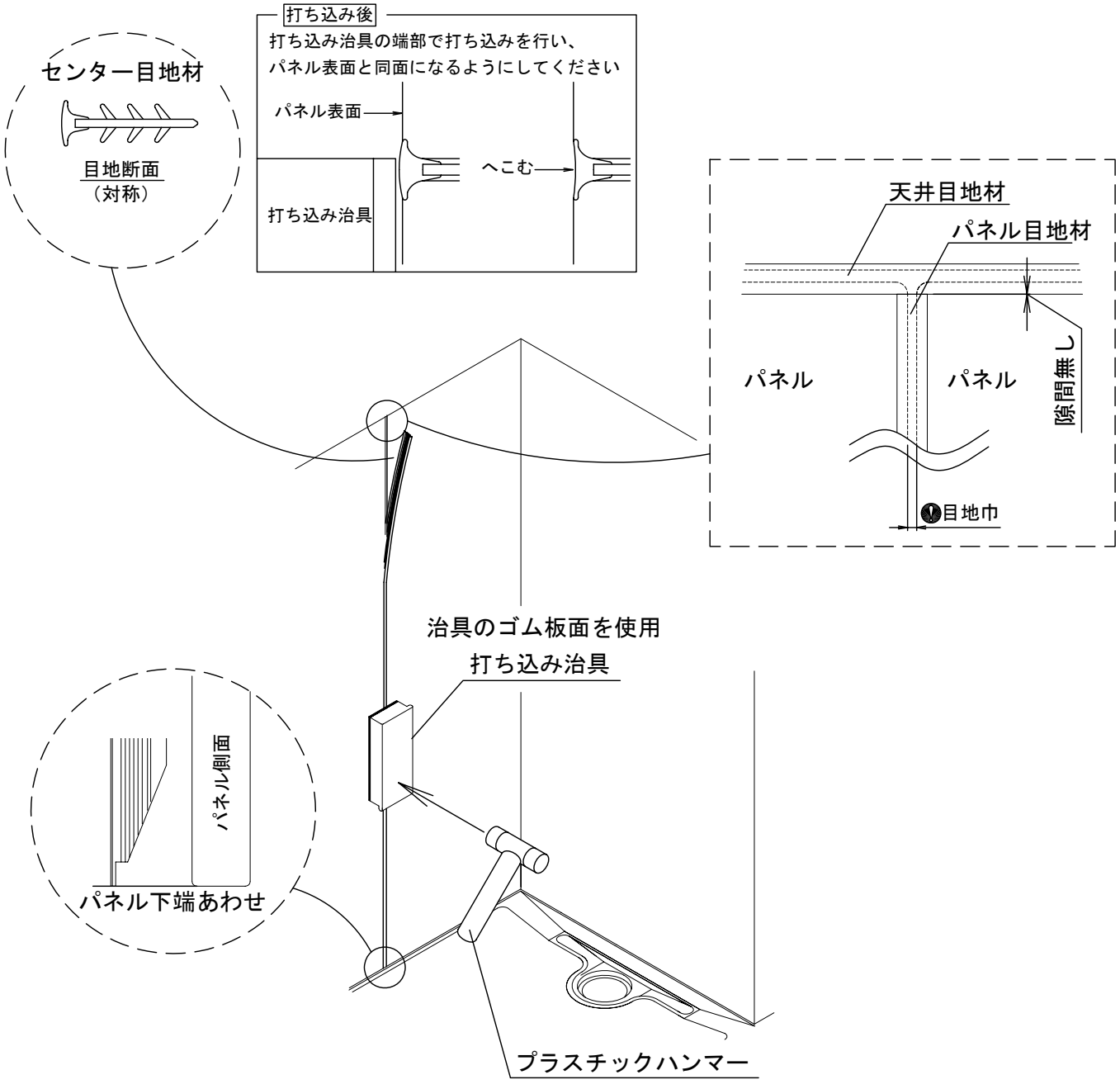
クリア目地のパネルベース色
：ベージュ、ピンク、グリーン

ブラック目地のパネルベース色
：ブラック、ダークブラウン、ダークブルー

打ち込み作業手順（センター目地）

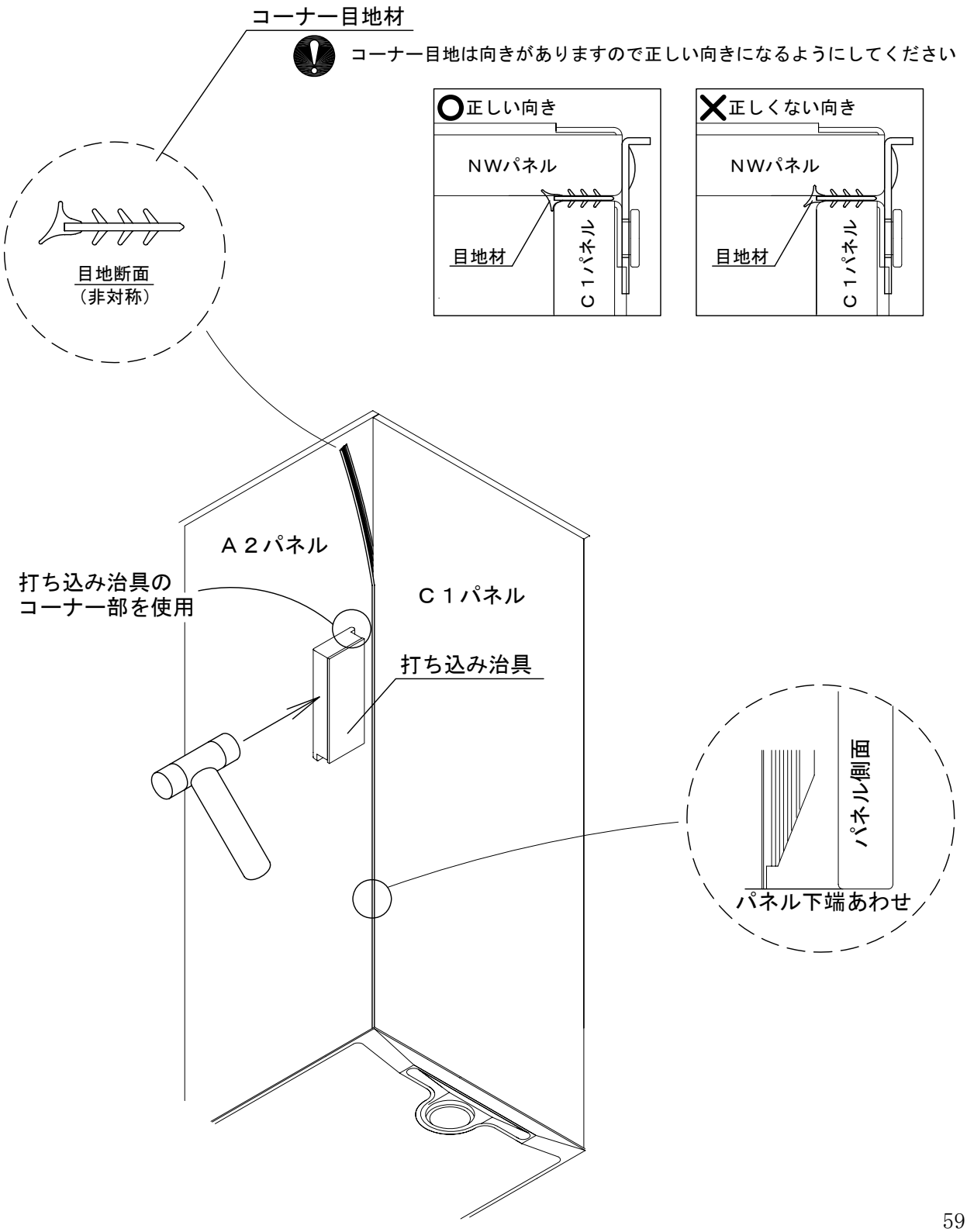
・パネルメジの下端とパネルの下端が揃うように位置を決めてください。
・目地が外れないように軽く手で押し込んで位置決めをしてください。
・目地が入りやすい箇所から打ち込み治具を使用してプラスチックハンマーで打ち込んでください。
　注）目地は一箇所を集中的に打ち込まず、全体が均等に入るように打ち込んでください。
・天井目地と重ならないように目地上部をカットしてください。

・目地材の中央部がへこむ程度まで挿入されていることを確認してください。
　挿入が不十分な場合、漏水の危険があります。
・一度打ち込んだ目地材は引き抜かないでください。
　引き抜いた目地材は変形するため、打ち込むと漏水の危険があります。
・目地巾が広く３ｍｍスペーサーが入る場合は、全体にコーキングを塗布してから
　目地材を打ち込んでください。



打ち込み作業手順（コーナー目地）

・コーナー目地は向きがありますので正しい向きで打ち込むように目地の断面を確認してください。
・パネルメジの下端とパネルの下端が揃うように位置を決めてください。
・目地が外れないように軽く手で押し込んで位置決めをしてください。
・目地が入りやすい箇所から打ち込み治具を使用してプラスチックハンマーで打ち込んでください。
　注）目地は一箇所を集中的に打ち込まず、全体が均等に入るように打ち込んでください。
・センター目地と同様に天井目地と重ならないように目地上部をカットしてください。

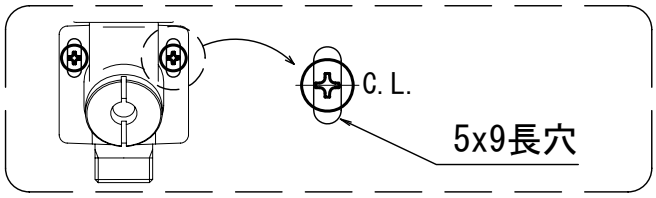


1. 洗面器置きカウンター仕様時　水栓・カウンターの取付

①水栓の取付

※水栓に同梱の設置説明書を参照して壁パネルに水栓本体を取付ける。

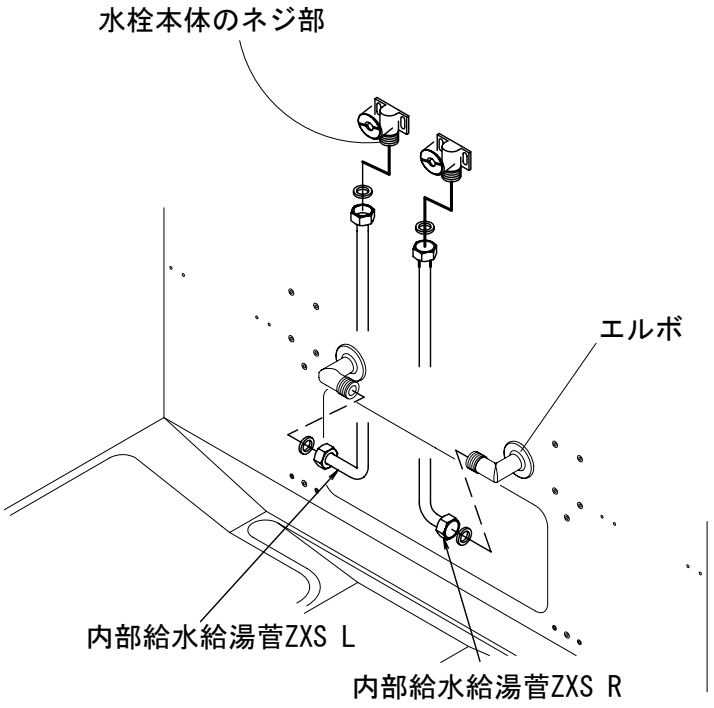
※水栓本体は長穴センターにビス止めしてください。



②内部給水給湯管の取付

・給水給湯管で隠れる壁パネルと腰壁エプロンの接続面（図中太線部）にシリコンを塗布する。

・パッキンを挟んで内部給水給湯管を取付ける。



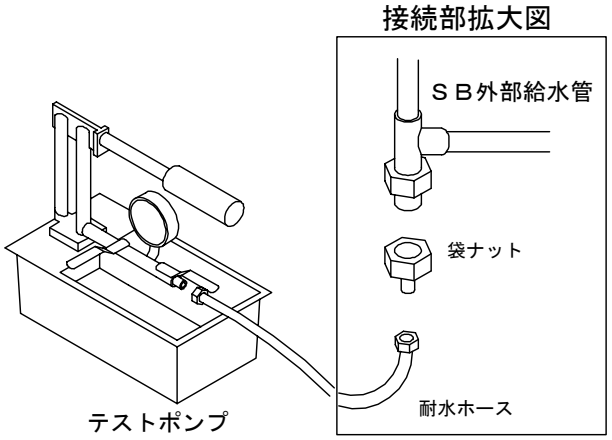
③水栓配管カバー等の取付

・水栓配管カバー等の取付は、水栓に同梱の設置説明書を参照してください。

④給水給湯管の漏水チェック

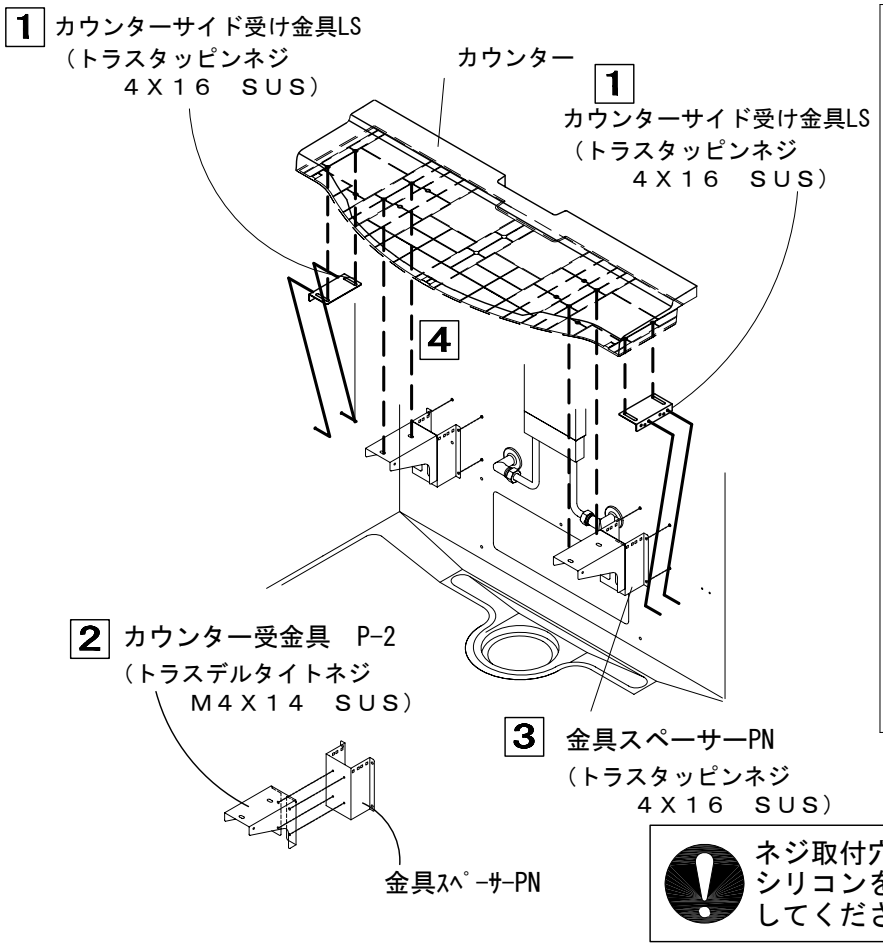
・水圧テストポンプを取付け、給水給湯管の漏水チェックを行ってください。

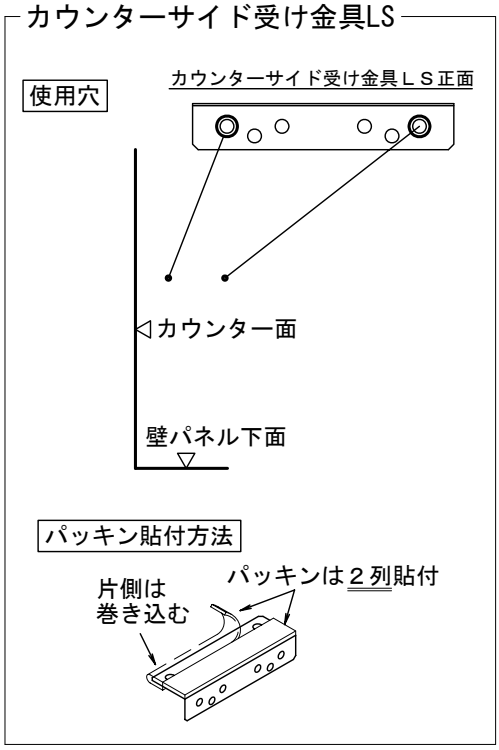
・検査が合格であれば接続部に『水圧検査済証』を貼付けしてください。



⑤カウンターの取付

1 カウンターサイド受け金具ＬＳにパッキン（２mm厚、白、小物に同梱）を貼付け、壁パネルに取り付ける
2 金具スペーサーにカウンター受金具Ｐ－２を取り付ける。
3 金具スペーサーを壁パネルに取り付ける。
4 カウンター受け金具Ｐ－２、カウンターサイド受け金具LSとカウンターを化粧ビス（白頭M４x12）で固定する。

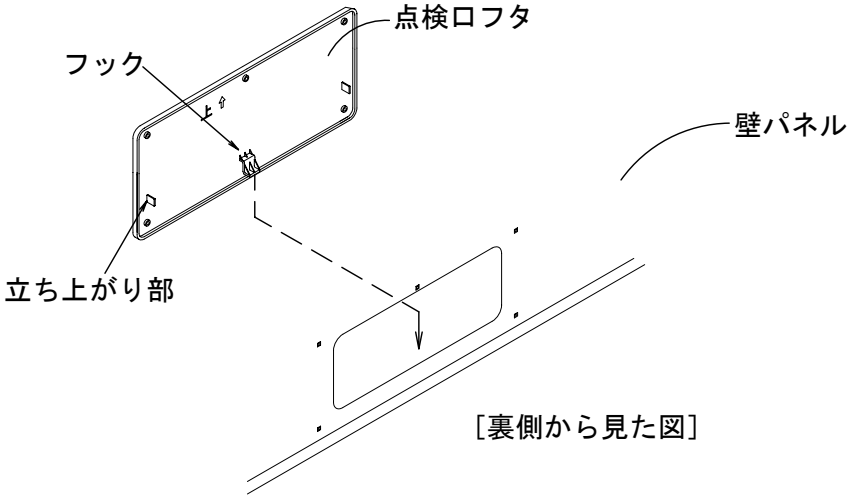




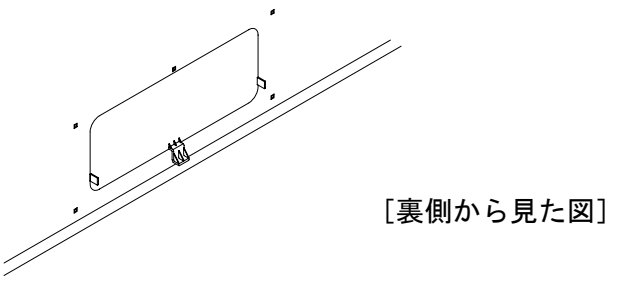
ネジ取付穴には、シリコンを塗布してください。

⑥点検口蓋の取付

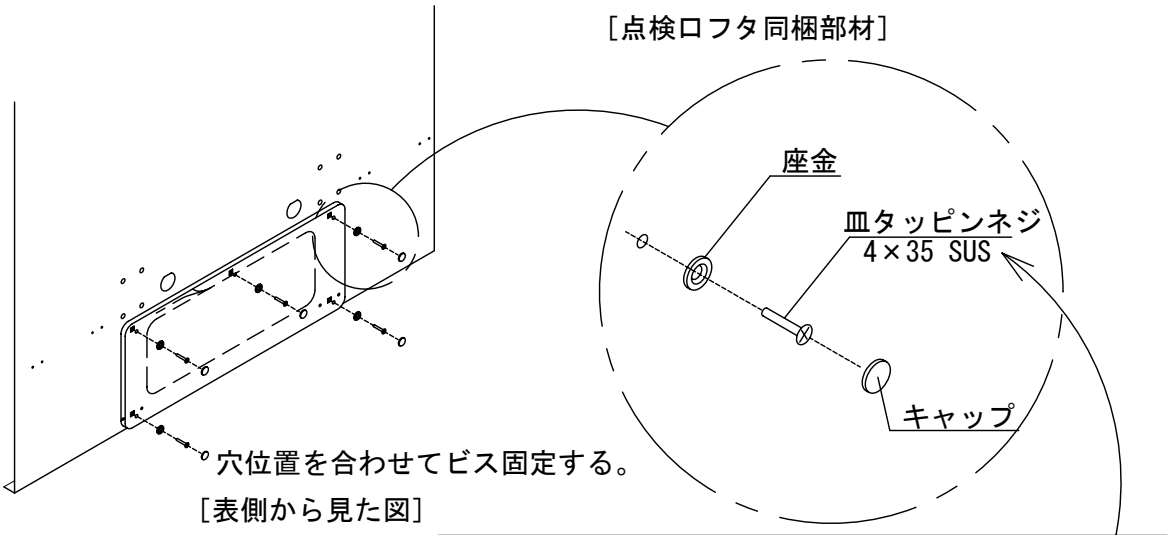
(1)点検口蓋の裏面両サイドにある立ち上がり部をパネルの開口部に合わせて、
点検口蓋裏面のフック(1ヶ所)を引掛けてスライドさせてください。



(2)点検口蓋の周囲に隙間がないことを確認してください。



(3)座金を介し皿タッピンネジで固定した後、キャップを取り付けてください。(5箇所)

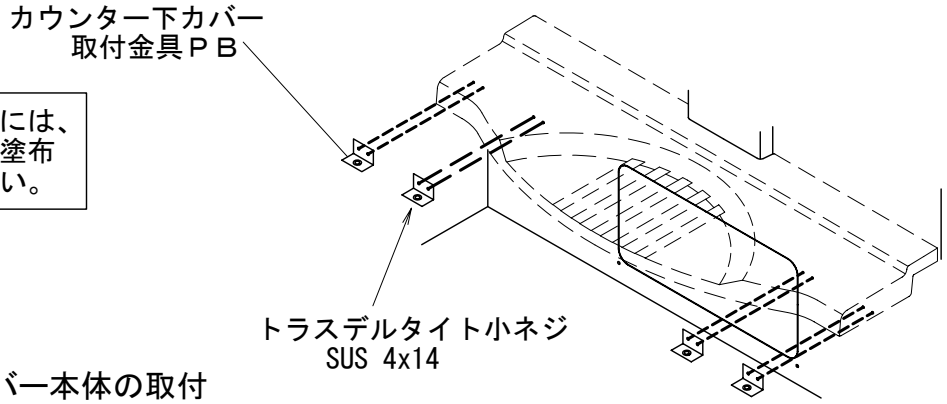


※小物セット同梱のネジを使用してください。
点検口フタ同梱の皿小ネジは使用しないでください。

注意
取り付け後は、点検口ふた周囲に隙間がないことを確認してください。隙間ができると水漏れのおそれがあります。
特にフックが引掛かっていることを確認してください。

⑦カウンター下カバー取付金具PBの取付

・カウンター下カバー取付金具PBを4ヶ所取付ける。

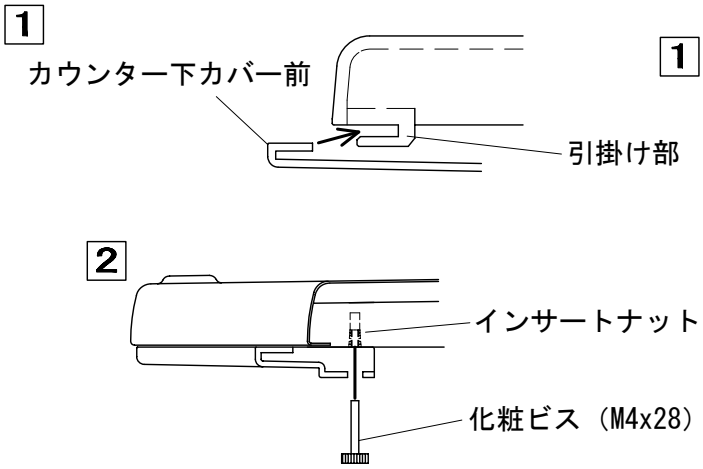


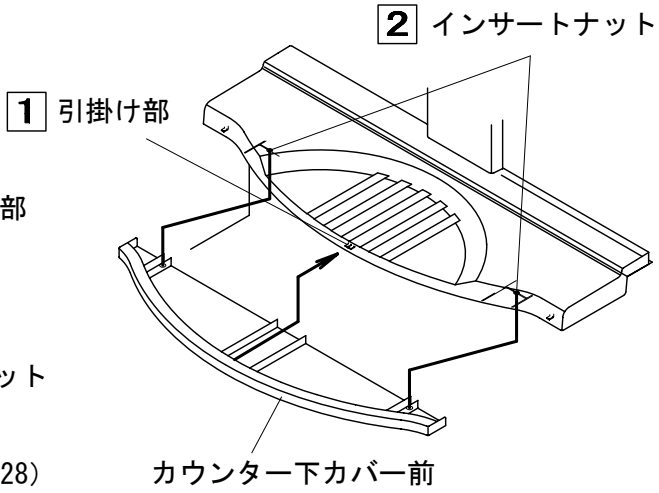
ネジ取付穴には、シリコンを塗布してください。

⑧カウンター下カバー本体の取付

1 カウンター下カバー前の中央部を、カウンターの引掛け部に差し込んでください。

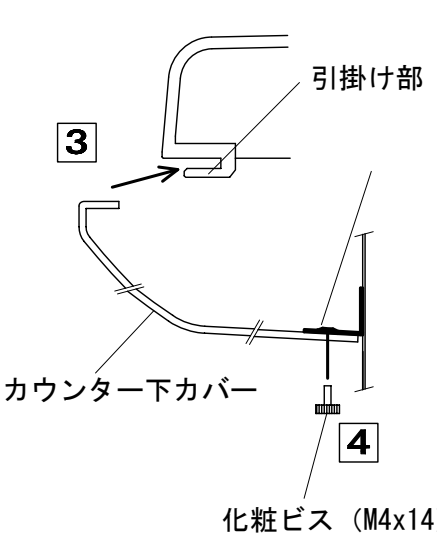
2 カウンター下カバー前の両サイド部をカウンター裏側のインサートナット部に
化粧ビス（M4x28）で固定してください。

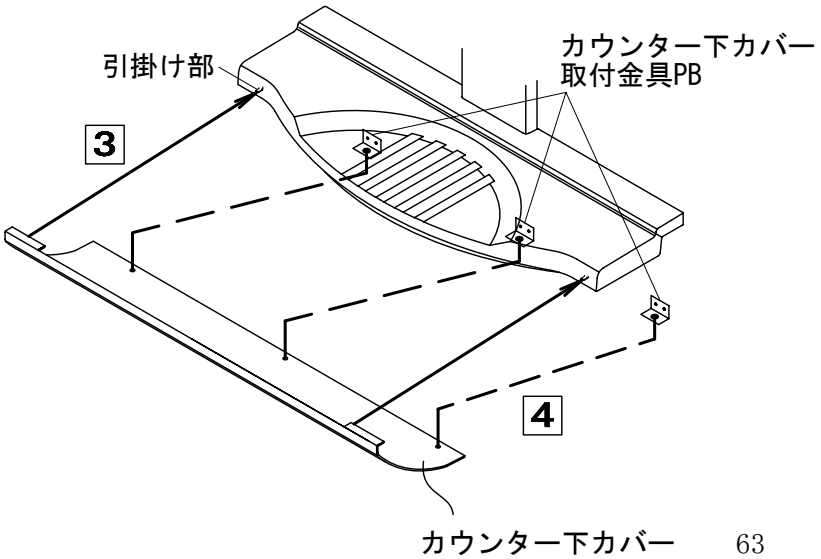




3 カウンター下カバーの両サイド部をカウンターの引掛け部に差し込んでください。

4 カウンター下カバーの下部奥側を取付金具PBに、
化粧ビス（M4x12）で固定してください。

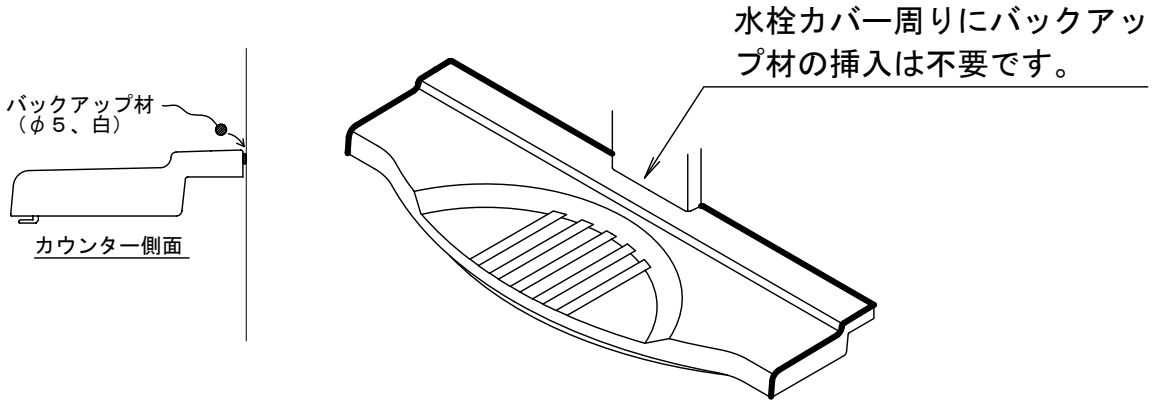




⑨カウンター周りのパッキン挿入

下図の太線で示すカウンター周りにバックアップ材（φ５、白）を挿入後に、シリコンを塗布してください。

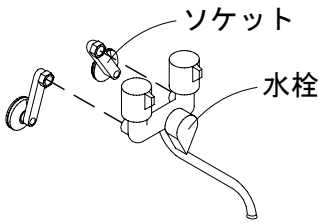
※バックアップ材は５㎜程度挿入して下さい。
※下図の太線部にあらかじめパッキンが貼っている場合は不要です。



2. 壁付け水栓時　水栓・カウンターの取付

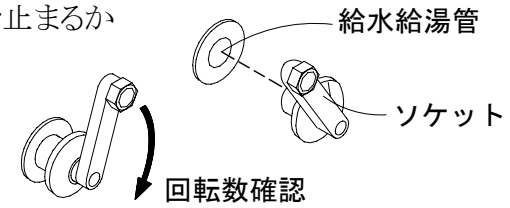
①水栓の取付

・取付ソケットのネジ部にシールテープを巻き、
　水栓に同梱の設置説明書にしたがって水栓を取付けてください。
・シールテープの巻き方については下記手順にしたがってください。
　巻き方が不十分ですと漏水の原因になります。



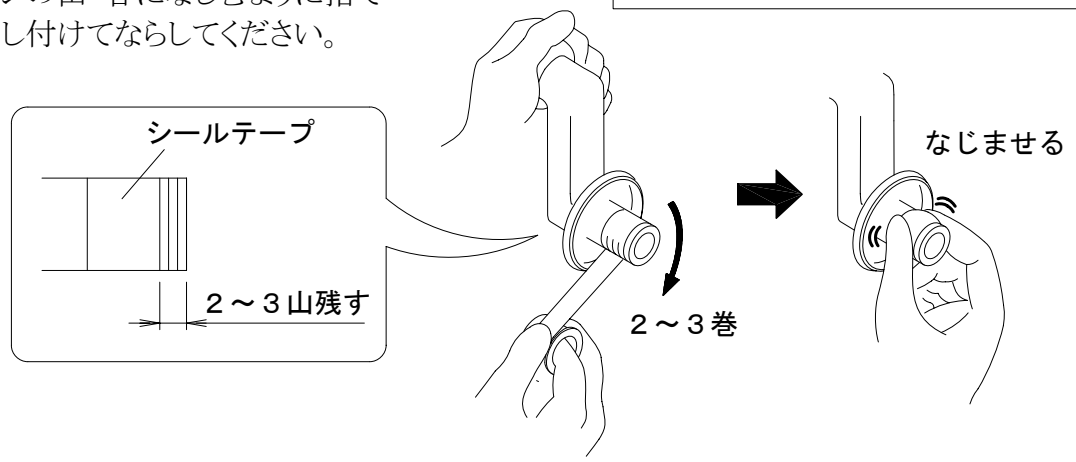
シールテープの巻き方

(1)ソケットを給水給湯管に接続し、何回転で止まるか
　回転数を確認します。



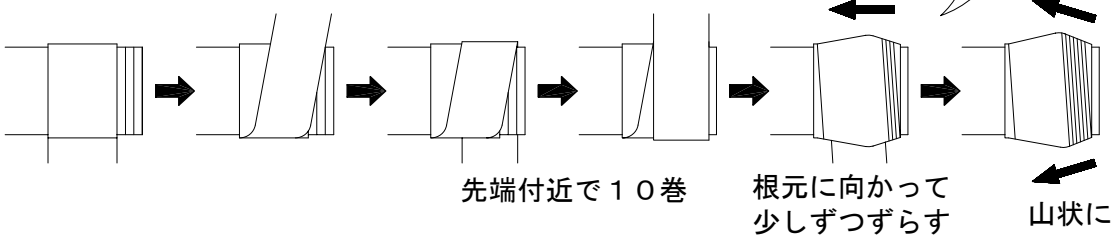
(2)ソケットのネジ部を2～3山残した位置から
　矢印の方向にシールテープを巻き始め、
　2～3巻 きつく巻きつけた後、シールテープが
　ネジの山・谷になじむように指で
　押し付けてならしてください。

巻く向きに注意してください。
逆に巻くと、シールテープが
ゆるみ、漏水の原因となります。

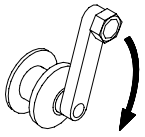


(3)ネジ部の先端付近で10巻程度 巻きつけた後、
　根元に向かって少しずつ位置をずらし、
　シールテープが山状になるように巻きつけてください。
　なお、シールテープはたびたび指で押し付け、
　ネジの山・谷になじませながら巻いてください。

山状になるようになじませることで、
ねじ込みの際にシールテープがほどけ
にくくなり、ネジの奥までシールする
ことができます。



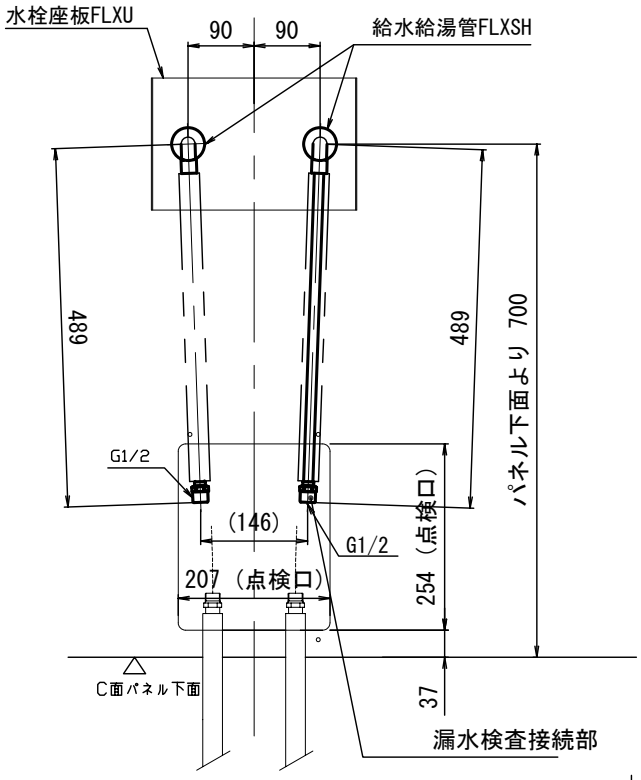
(4)ソケットを給水給湯管に接続してください。
　まず(1)で確認した回転数より1回転少ない位置まで回した後、
　ソケットに水栓を取り付け、ソケットの角度を調整してください。



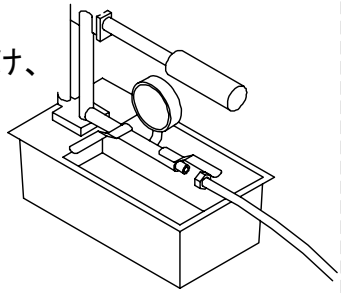
１度 締め込んだソケットを
ゆるめないでください。
テープが切れて水漏れの原因になります。

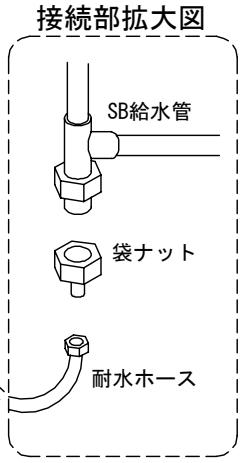
②外部給水給湯管の取付及び漏水検査

・点検口より給水給湯管を下図のように取付けてあることを確認してください。



・上記の漏水検査接続部に水圧テストポンプを取付け、給水給湯管の漏水チェックを行ってください。

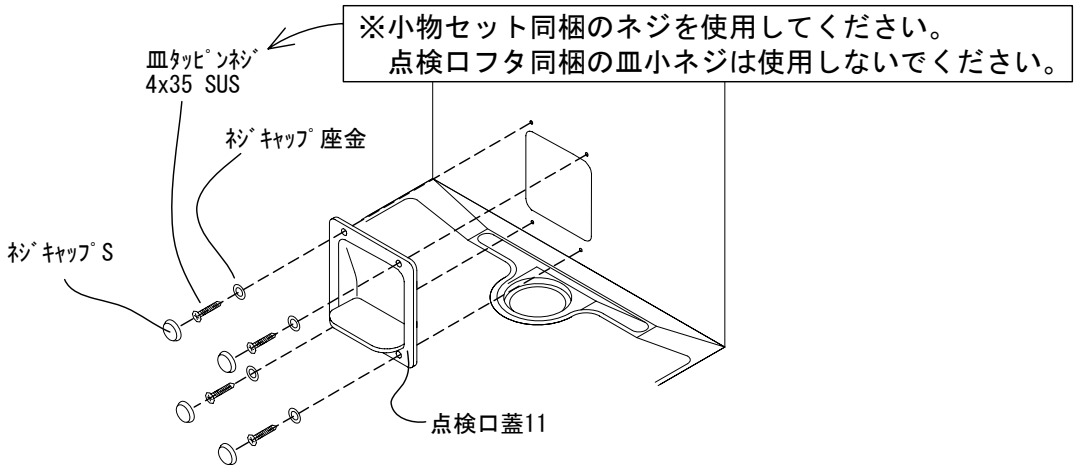




・検査が合格であれば接続部に『水圧検査済証』を貼付けしてください。

③点検口蓋11TNの取付

・壁パネルに、点検口蓋を取付けてください。

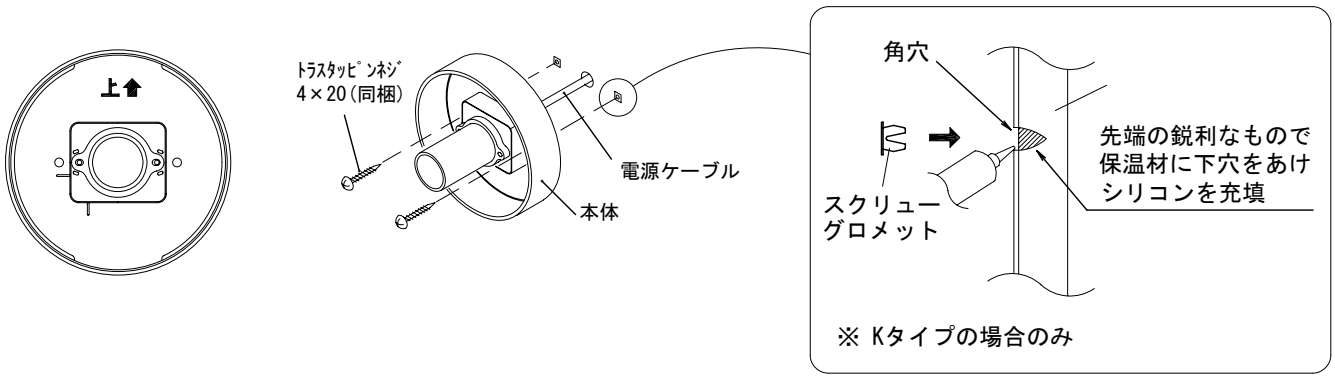


12-5. 照明・シャワーフックの取付

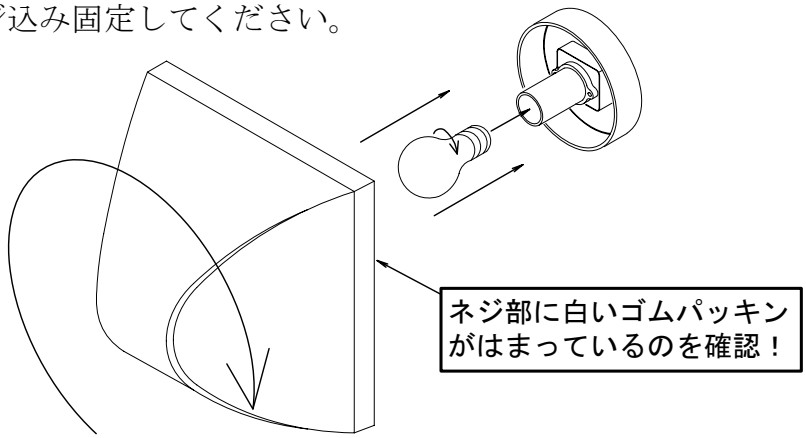
1.照明の取付

(1) 照明を箱から取り出し、本体からグローブと電球を取り外してください。
又、電源ケーブルに貼り付けてあるネジを取り外しておいてください。

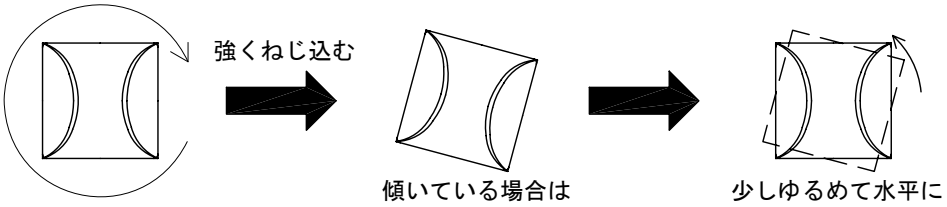
(2) 電源ケーブルを壁パネルの穴に通し、「上」矢印が上に向く様にして、
本体を付属のネジで固定してください。
固定の際、あらかじめ下図の要領で角穴にスクリューグロメットを取付けてください。



(3) グローブのネジ部にゴムパッキンが有るのを確認した上で、電球・グローブを
ネジ込み固定してください。

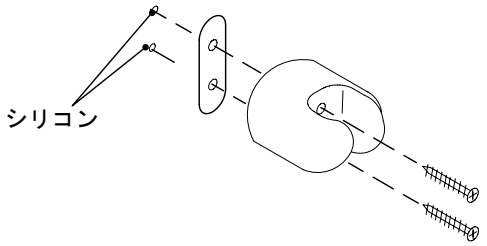


(4) グローブは、それ以上回らなくなるまで、強くネジ込んでください。
この時、グローブが傾いている場合は、少し戻して水平になるようにしてください。



2. シャワーフックの取付

・シャワーフック本体にパッキンを貼付け、付属のビスにて取付けてください。



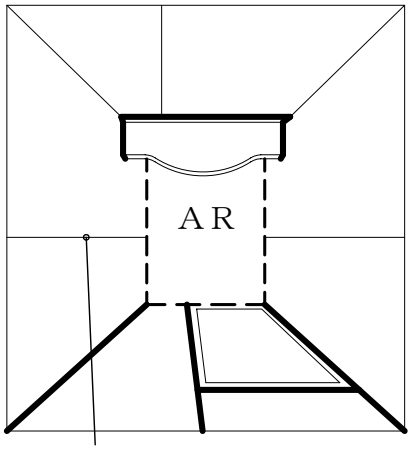
12-7. 最終シリコン仕上げ

線種とシリコン色

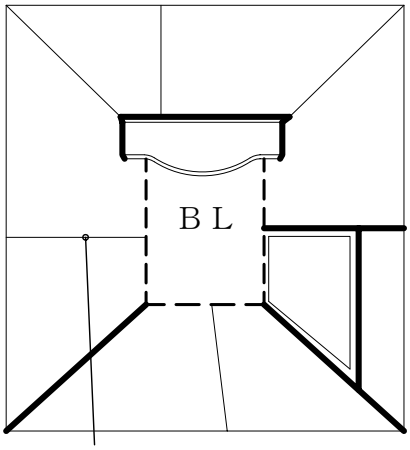
——— : 白
— — — : クリア

・室内を清掃し、ホコリ等を取り除いてください。
・目地から1～2㎜はなれた部分にマスキングテープを貼付けてください。
・下図に示す太線部にシリコンを塗布してください。
・最後にマスキングテープをはがしてください。

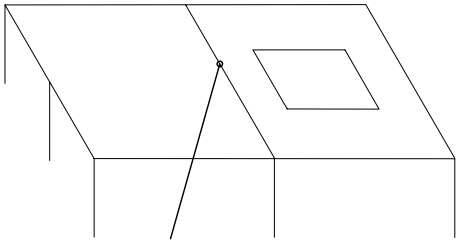
全体図　　※ＡＲＢＬの場合を示しています。ＡＬＢＲは対称です。



目地材の挿入部は不要です。

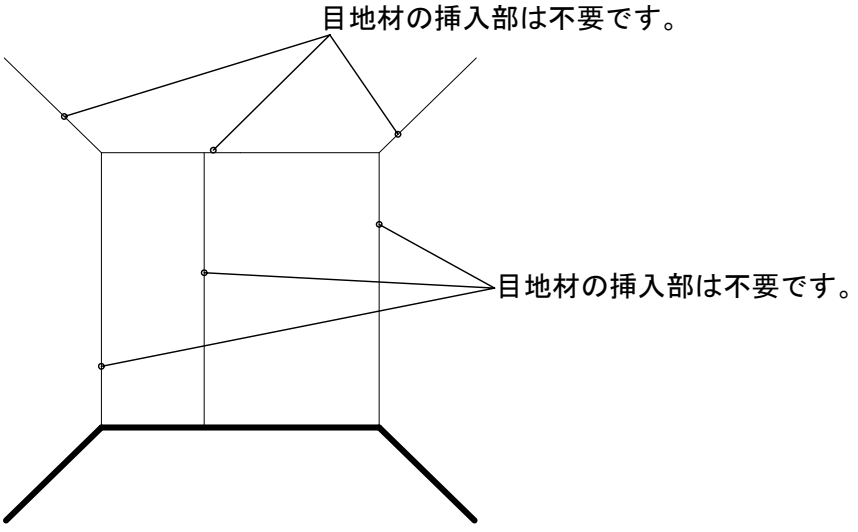


目地材の挿入部は不要です。



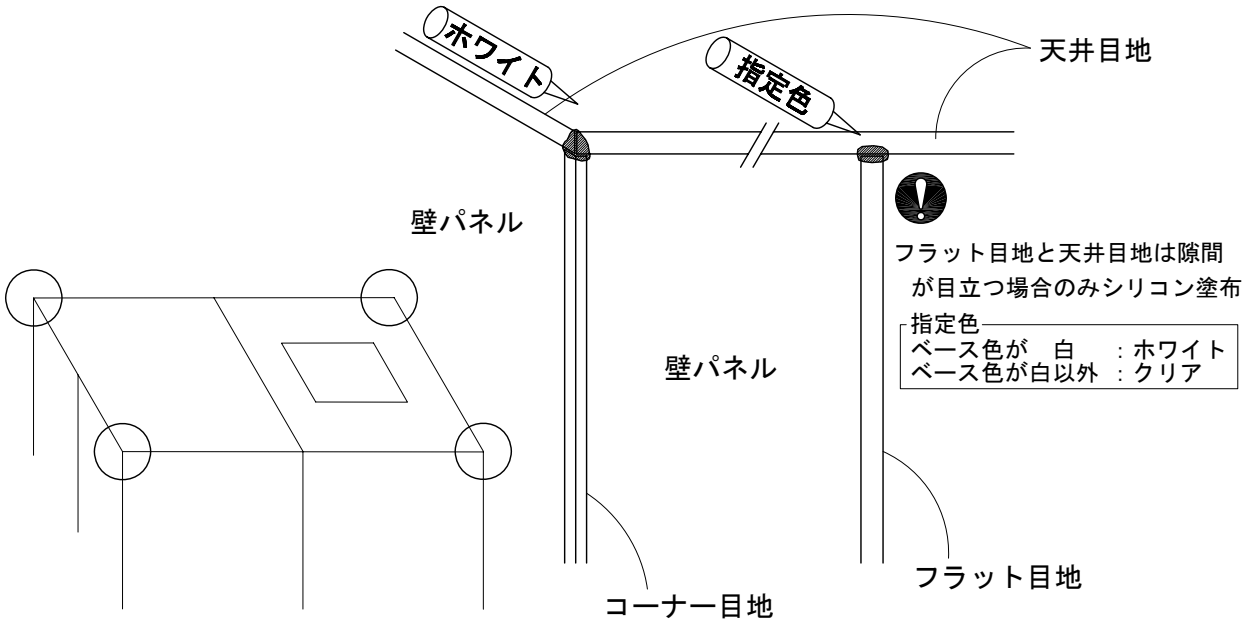
天井目地は不要です。
※天井目地の巾が1㎜より大きい場合は、
シリコン(白)を塗布してください。

壁パネル（正面パネルの場合）

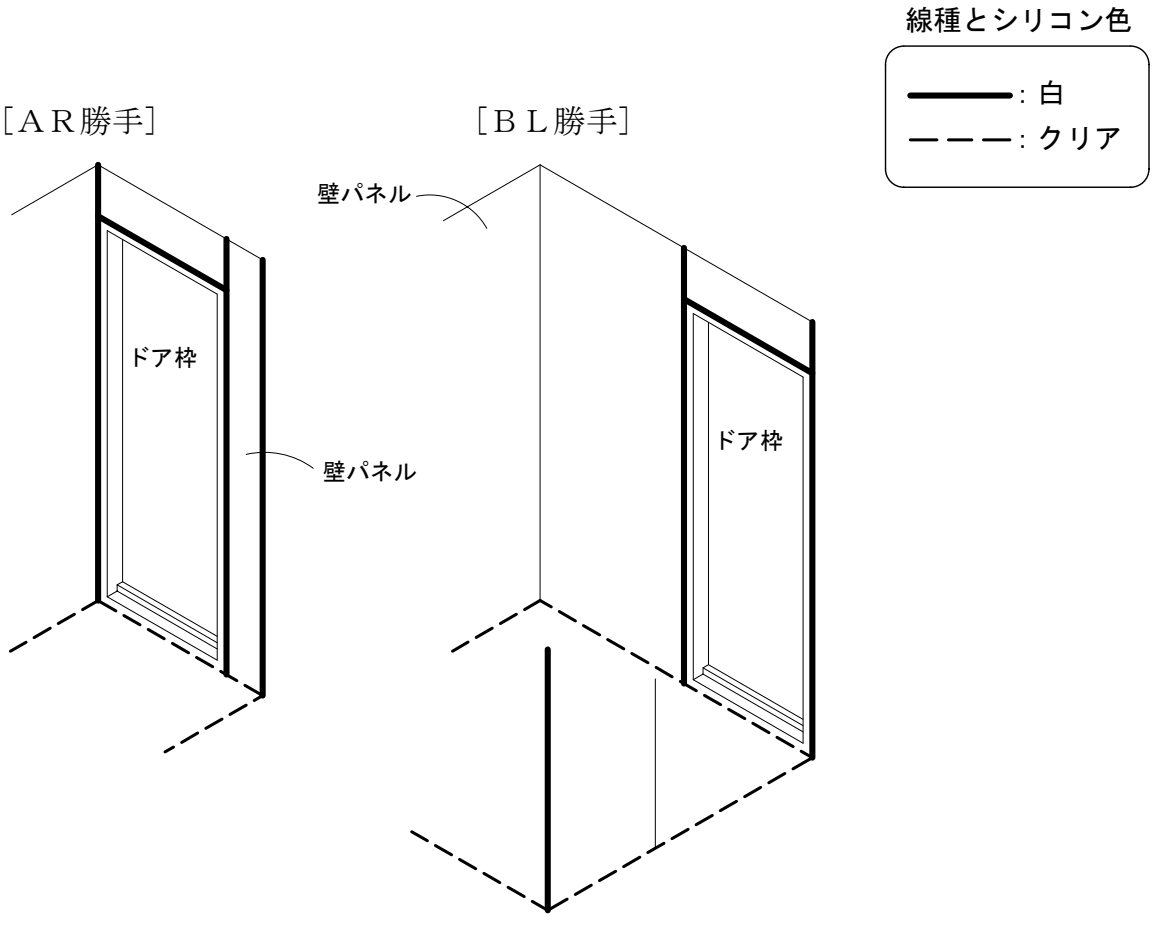


天井

・コーナー４箇所の目地の隙間にシリコンを塗布してください。



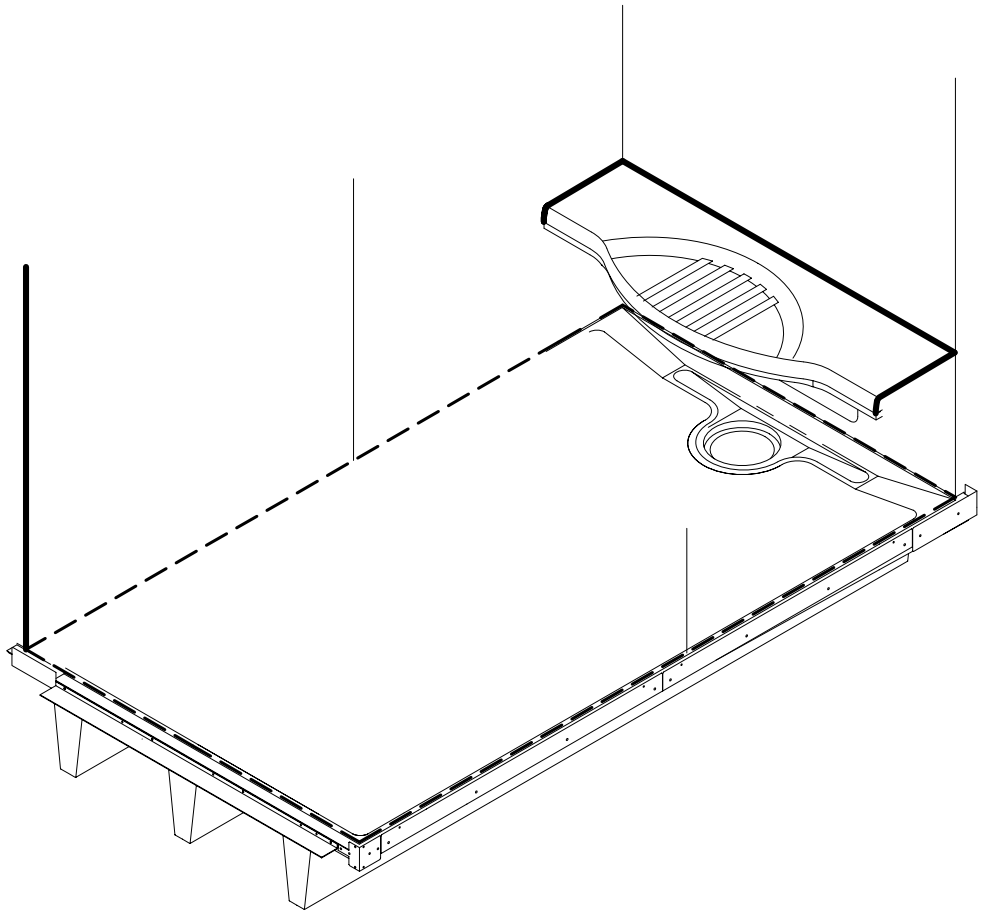
ドア周り



④ 下台周り

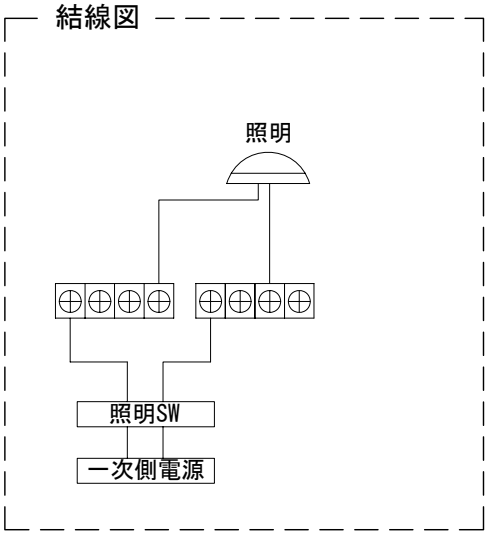
線種とシリコン色

: 白
: クリア



12-7 配線の固定及び結線

・電気設備に関する技術基準及び内線規定に基づき、指定工事業者による施工が必要です。
・照明器具及び換気扇のリード線を下図のように端子台に結線してください。
・配線は、天井点検口の上を通らないように、天井に固定してください。



12-8 設置完了

最後に、天井点検口フタをはめてください。

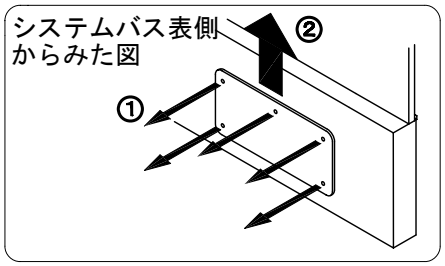
設備業者が給水給湯を接続を行うために、下記のような点検口取付注意書が点検口蓋に貼り付けてありますので、はがさないでください。

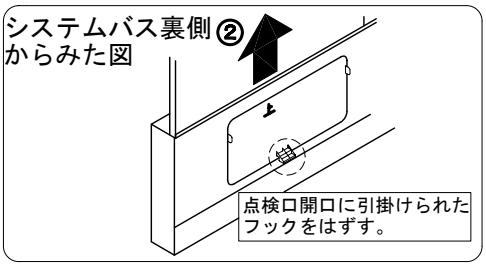
＜ 設備業者様へ ＞　　点検口ふた　取付説明書

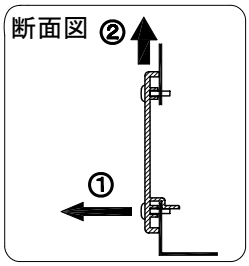
○ 点検口ふたは、<u>カウンター下カバーをはずした後</u>（カウンター下カバー取付説明書参照）、
下記手順にしたがって取りはずしてください。
取り付けは点検口ふたの上下に注意し、下記と逆の手順（文中＜＞内に記載）で行ってください。

① ビス（３または５ヶ所）をはずす。　＜ビス（３または５ヶ所）を取付ける。＞

② 点検口ふたを上にスライドさせて、点検口開口に引っ掛けられたフックをはずす。
＜点検口ふたを下にスライドさせて、点検口開口にフックを引っ掛ける。＞



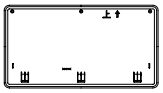




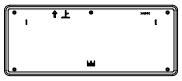
注意 取り付け後は、点検口ふた周囲に隙間がないことを確認してください。隙間ができると水漏れのおそれがあります。特にフックが引掛かっていることを確認してください。

※点検口ふたは浴槽パン有仕様・無仕様で異なります。
上図は浴槽パン無仕様の場合を記載しています。

浴槽パン有仕様



浴槽パン無仕様



12-9. 内部清掃（仕上げ）

(1) 清　掃

① 汚れ、ゴミはスポンジ又は柔らかい布で空拭きか、中性洗剤でぬぐい取ってください。

② 鉄粉は錆の発生原因となりますので、完全にぬぐい取ってください。

特に、トラップや排水管内に入った鉄粉は、掃除機で完全に取除いてください。

③ シリコン部はきれいに仕上げてください。

④ 関連工事業者の出入りがありますので、養生シートは最後まではがさないでください。

(2)使 用 説 明

シャワーユニット取扱説明書、照明器具説明書、水栓及び器具説明書は同梱の使用説明書袋に入れ、上部のシャワーフックに掛けておいてください。

(3)扉 の 施 錠

扉は施錠しておいてください。施錠方法はドアの設置説明書を参照してください。

(4)養　生

① 段ボールをドアの外側と窓の外側にテープで貼り付けておいてください。

② シャワーユニットは雨水などのかからないように養生シートを被せておいてください。

(5)残 材 の 処 理

シャワーユニットの梱包資材などは現場責任者の指示に従って、適切な処置をお願いします。

12-10. 検査・引渡し

(1)別紙完成検査報告書の点検項目による据付時及び仕上後の自主検査をしてください。

(2)据付時及び仕上後の自主検査結果を現場責任者に提出し、引渡し時の点検チェックを受けてから引渡しをしてください。

(3)完成検査報告書は現場責任者の捺印をもらって提出してください。

(4)なお、検査項目のチェックについては通水通電の時期がズレますので、現場責任者の方で実施していただくようお願いしてください。